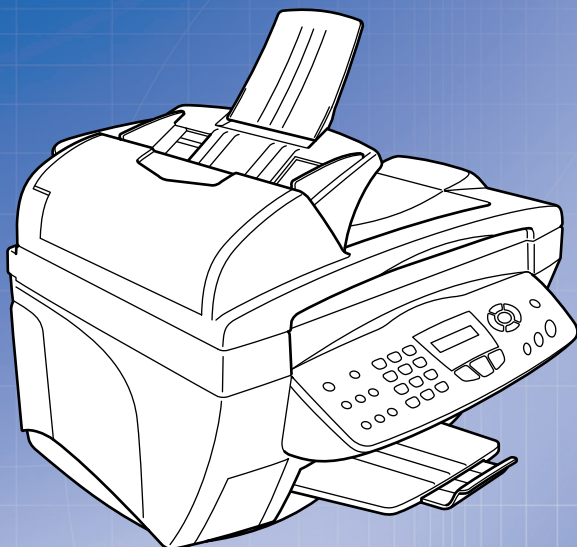
brother

# MFC-3420J
## 取扱説明書

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

本書の使い方・目次
各部の名称とはたらき
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクスの送信
ファクスの受信
ファクスの応用機能
レポート・リスト
コピー
日常のお手入れ
困ったときには
付録

**お客様相談窓口（コールセンター）**

**0120-143410**

この商品の取り扱い・操作についてのご不明な点がございましたら、
上記お客様相談窓口にお気軽に申しつけください。

●受付時間／9:00〜18:00（土曜日のみ17:00まで）
●営業日／月曜日〜土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）

**Presto!® PageManager®（添付ソフトウェア）**
**テクニカルサポート窓口**
**TEL/03-5472-7008　FAX/03-5472-7009**

ニューソフトジャパン株式会社　ニューソフトカスタマーサポートセンター
●受付時間／午前10:00〜12:00 ・ 午後1:00〜5:00（土日・祝日を除く）

やりたいことがすぐ探せる! **やりたいこと目次** 17p

VersionA

## 国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発･普及させることを目的としています。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

## VCCI規格

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

## 電源高調波

本機器は社団法人ビジネス機械･情報システム産業協会が定めた複写機および類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電･汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

**MFC** **1年間無償保証**

ブラザーMFCは下記のアフターサービスメニューをご用意致しております。

**故障かな？と思ったら．．．**

**お客様相談窓口へお電話ください。**

取扱説明書の表紙に記載された、フリーダイヤル［お客様相談窓口］へお電話ください。
お客様の製品の状態を、お電話による質疑応答により診断。

E-mailでのお問い合わせ：http://www.brother.co.jp/jp/mail_service_id/index.html
http://solutions.brother.co.jp/contact/index.html

**修理が必要と判断された場合、48時間以内に、故障機の回収手配。**

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便による故障機の回収を手配します。
お客様によるサービスセンターへの持ち込みは不用です。

**ご希望に応じて、**
**貸出機のサービスもご用意** *2

引き取り料は無料。お客様によるサービスセンターへの持ち込みは不用です。
お送りした代替機をそのままお使いいただくか、またはお客様の機械の修理を行った上で返却するかはご選択頂けます。

**7日以内に修理品を返送。**

弊社到着後、7日以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

*1　一部地域を除く
*2　正常動作の確認・整備をした機械

## ブラザーサービスパック

1年間の無償保証期間“Service Express”に加え、さらに充実した保守サービスメニューをご用意しております。（有料）

### サービスパック

製品購入と同時に購入して頂けるサービスプログラムです。
2年もしくは3年間の長期保証契約ですので、割安にサービスを受けられるメリットがあります。

### 年間保守サービス

製品ご購入後、いつでもご契約できる1年単位のサービスプログラムです。

※各保守契約については、［出張修理］か［引取修理］を選択していただけます。

・上記2つの保守契約には、技術料／部品代が含まれます。
・出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応します。
　出張修理契約には、出張料が含まれております。
・引取修理は、宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送します。引取修理契約には、送料も含まれております。
・サービス提供時間：月～金（除く祝祭日、弊社休業日）9:00～17:00

各保守契約についての料金体系・サービス内容の詳細は、下記の窓口へお問い合わせください。
**TEL：052-824-3253**
**http://www.brother-hanbai.co.jp/brother_support/index.html**

# 安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 特定しない禁止事項 | | 分解してはいけません | | 水に濡らしてはいけません | | 火気に近づけてはいけません |
| | 特定しない義務行為 | | 電源プラグを抜いてください | | アースをつないでください | | |
| | 特定しない危険通告 | | 感電の危険があります | | 火災の危険があります | | |

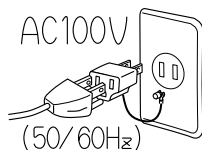
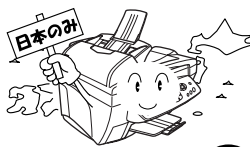
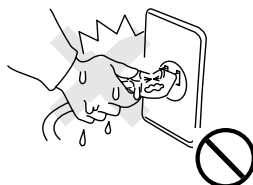
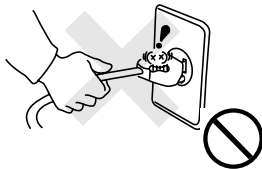
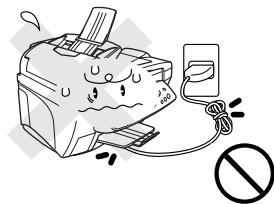
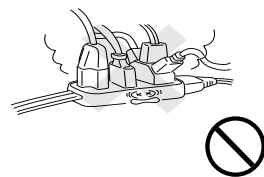
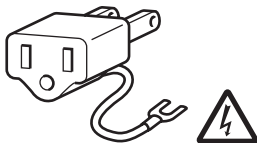
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お客様相談窓口 0120-143410 へご連絡ください。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- このファクシミリの設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。
- 取扱説明書等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へ申し出ていただければ購入できます。

ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

## 電源について

火災や感電、やけどの原因になります。

**警告**

電源は AC100V、50Hz または 60Hz でご使用ください。

国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。

ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本機（金属でない部分）を持って抜いてください。

電源コードの上に重い物をのせたり、引っぱったり、たばねたりしないでください。

タコ足配線はしないでください。

感電防止のため必ず保護接地を行ってください。電源コンセントの保護接地端子にアース線を確実に接続してください。

保護接地線のない延長用コードを使用しないでください。保護動作が無効になります。

**アース線を取り付けてください**

万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本機を守るため、アース端子にアース線を取り付けてください。

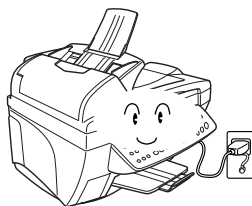
■取り付けられるところ

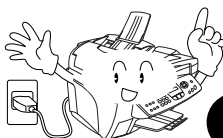
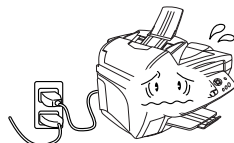
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
- 設置工事（第 3 種）が行われている設置端子

■絶対に取り付けてはいけないところ

- 電話専用アース線
- 避雷針

## 注意

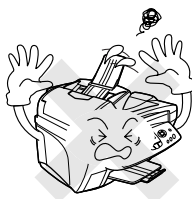
## お願い

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
また、電話機コードも本機から抜いてください。

電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。

電源コンセントの共用にはご注意ください。
複写機などと同じ電源はさけてください。

## このような場所に置かないで

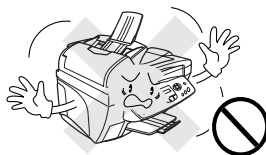
以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

## 警告

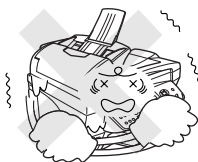
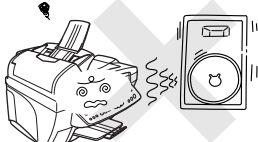
**湿度の高い場所**

ふろ場や加湿器のそばなどに置かないでください。

## 注意

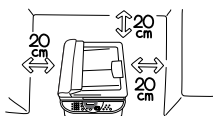
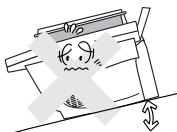
### 温度の高い場所
直射日光の当たるところ、
暖房設備のそばなど

### 不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いたところなど

### 油飛びや湯気の当たる場所
調理台のそばなど

## お願い

### いちじるしく低温な場所
製氷倉庫など

### 磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど

### 高温、多湿、低温の場所
本機をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度：10 ～ 35 ℃
湿度：20 ～ 80％
（結露なし）

### 壁のそば
本機を正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。

### 傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。

◎急激に温度が変化する場所
◎風が直接あたる場所（クーラー、換気口など）
◎ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
◎換気の悪い場所
◎揮発性可燃物やカーテンに近い場所
◎じゅうたんやカーペットの上

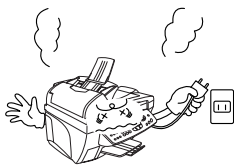
### 電波障害時の対処
近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
・本機をテレビから遠ざける。
・本機またはテレビなどの向きを変える。
・本機をコードレス電話の親機から遠ざける。

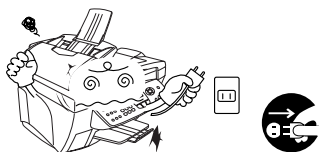
## もしもこんなときには

下記の状況でそのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

**警告**

**煙が出たり、異臭がしたとき**

すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

**本機を落としたり、キャビネットを破損したとき**

電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

**内部に水が入ったとき**

電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

**内部に異物が入ったとき**

電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

## その他のご注意

故障や火災、感電、けがの原因となります。

**警告**

**分解しないでください。**

法律で罰せられることがあります。

**改造しないでください。**

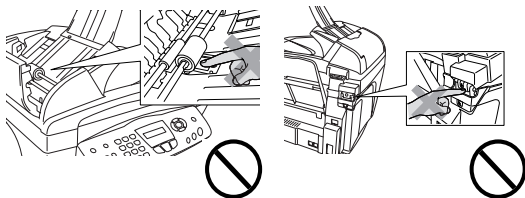
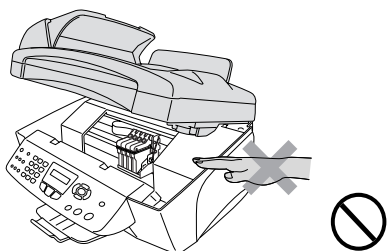
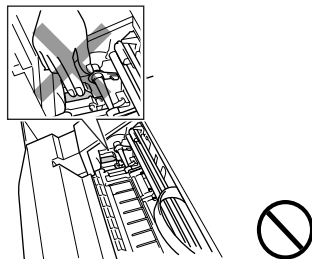
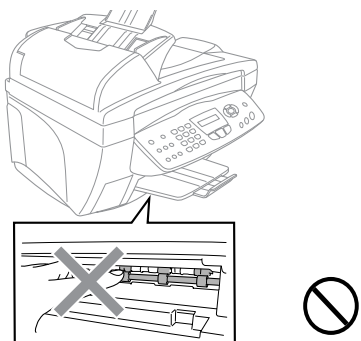
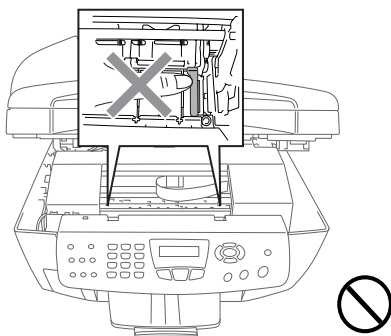
修理などは販売店にご相談ください。法律で罰せられることがあります。

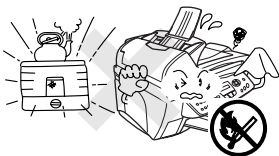
専門サービスマンへ!

**本機の上に水、薬品などを置かないでください。**

# 警告

図に示す所に指を入れないでください。

本機を動かすときは、図に示した場所をもってください。本製品の底部を持って移動しないでください。

本体カバーのはしで手をはさまないようにしてください。

本機の使用後は、図に示す部分が熱くなります。触らないでください。

図に示す場所は触らないでください。

図に示す金属部分のエッジには触らないでください。

## 注意

**火気を近づけないでください。**
故障や火災・感電の原因となります。

## お願い

**落下、衝撃を与えないでください。**

**動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。**

**記録紙の排出の妨げになりますので本機前方には物を置かないでください。**

**本機の上に重い物を置かないでください。**

**室内温度を急激に変えないでください。**
装置内部が結露するおそれがあります。

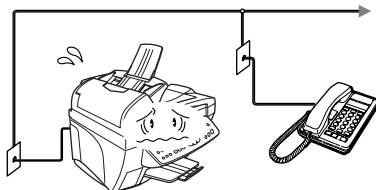
**指定以外の部品は使用しないでください。**

**本機に貼られているラベル類ははがさないでください。**

**梱包されている部品は必ず取り付けてください。**

**海外通信をご利用になるとき**
回線の状況により正常な通信ができない場合があります。

**NTT の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りの NTT の支店、営業所へご相談ください（116 番）。**

1つの電話回線に並列接続すると通信エラーなどの原因になりますのでおやめください。

## 停電がおきたときは

**! お願い**

停電時にはデータの種類によって、消去されるデータがあります。

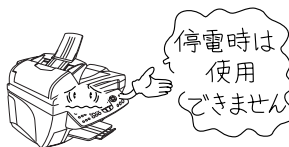
●消去されないデータ
・短縮ダイヤル
・グループダイヤル
・各種登録・設定の内容

●消去されるデータ
・送信メモリー文書
・通信管理レポート
・受信メモリー文書

停電復旧時について

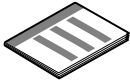
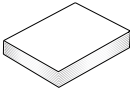
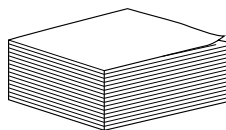
1 時間以上停電が続いた場合は、日付の再設定をしてください。

停電中はファクスの送受信ができません。

本機の機能はすべて使用できなくなります。外付電話機は使用できる機器もあります(外付電話機の取扱説明書をご覧ください)。

## 記録紙について

**! お願い**

使用する記録紙にはご注意ください。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、カールした紙などは使用しないでください。

保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。

# 取扱説明書の構成

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

| | |
|---|---|
| | **かんたん設置ガイド**<br>本機を使用するための準備について記載しています。 |
| | **取扱説明書（本書）**<br>ファクス、コピー、本機のお手入れ、困ったときの対処法などについて記載しています。 |
| | **CD-ROM**<br>**取扱説明書～パソコン活用編～**<br>付属の CD-ROM に収録されている「PDF マニュアル」です。プリンタ、スキャナなど、パソコンと接続して使う機能について説明しています。 |

- 取扱説明書はスタートメニューからも閲覧できます。
  ［スタート］－［プログラム］－［Brother］－［MFC_DCP MFC-3420J］－［取扱説明書］の順にクリックします。

# 本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

## マークについて

| | |
|---|---|
| 注意 | 本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。 |
| 補足 | 本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。 |
| P. XXX | 参照先を記載しています（XXX はページ）。 |
| P. XXX | CD-ROM に収録の「PDF マニュアル」の参照先を記載しています。 |

## 商標について

Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft 、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Photoshop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

# 本書の読みかた

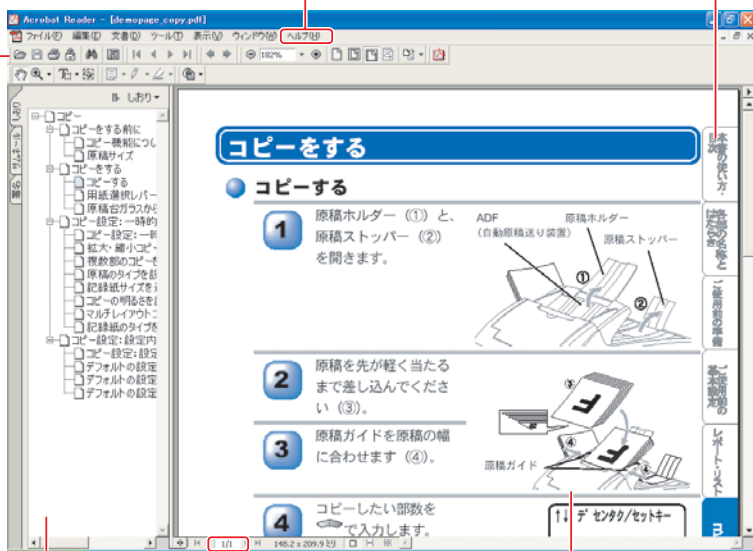
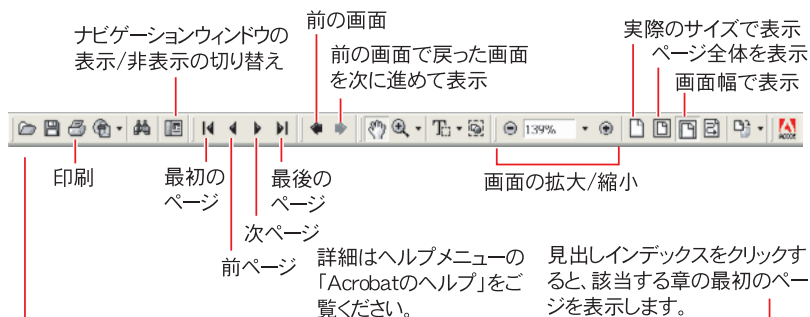
本書は次のようなレイアウトで説明しています。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

# Acrobat Readerの表示画面と操作

付属CD-ROMに収録のPDFマニュアルをお読みになるためのAcrobat Readerの表示画面と操作を簡潔に説明します。

補足

● 取扱説明書はスタートメニューからも閲覧できます。
[スタート] − [プログラム] − [Brother] − [MFC_DCP MFC-3420J] − [取扱説明書] の順にクリックします。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

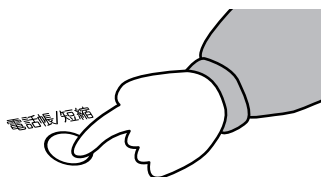
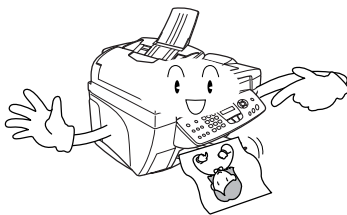
補足

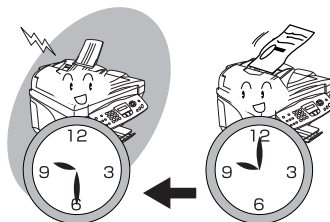
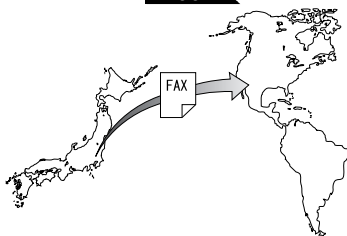
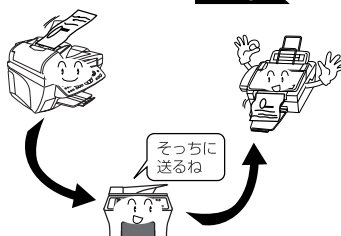
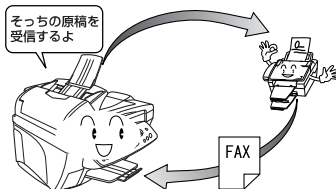
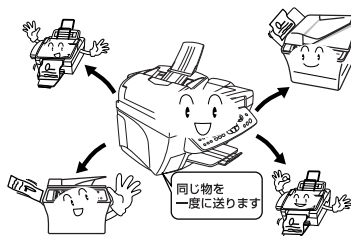
- Acrobat® Reader 5.0 または Acrobat® 5.0 をお使いの方は、画面上の PDF の線をなめらかにして見ることができます。下記の手順で操作してください。
  ① PDF を開きます。
  ② ツールバーの［編集］メニューから［環境設定］を選択します。
  （Acrobat 5.0 の場合は、ツールバーの［編集］メニューから［環境設定］－［一般］を選択します。）
  ③ 画面右側の項目から［表示］を選択します。
  ④［スムージング］の「ラインアートのスムージング」チェックボックスをチェックします。
  ⑤［OK］をクリックします。

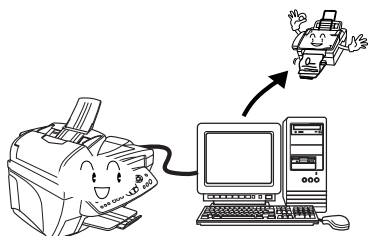
# やりたいこと目次

あなたの「〇〇したい」から該当ページを参照できます。
各機能をご利用になる前に「第２章　ご使用前の準備」を必ずお読みください。

## ファクス

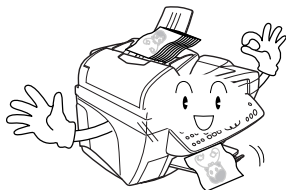
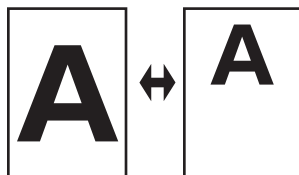
簡単に送信したい。
（短縮ダイヤル、電話帳）P. 82

自動で受信したい。
（自動受信）P. 106

画質を調整したりカラーで送信したい。
（画質調整）P. 91
（カラーファクス）P. 90

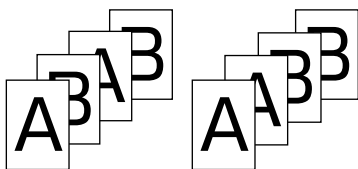
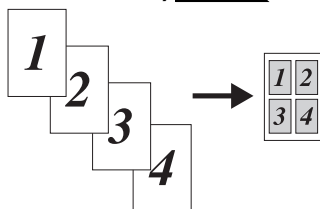
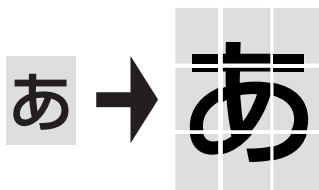
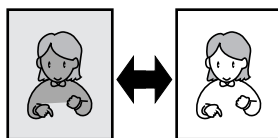
指定した時刻に送信したい。
（タイマー送信）P. 97

海外に送信したい。
（海外送信）P. 96

外出先で受信したい。
（ファクス転送）P. 123

受信側ファクシミリからの操作で原稿を受け取りたい。
(ポーリング)P. 117

複数の相手に同じ文書をまとめて送信したい。
(同報送信)P. 93

パソコンからファクスを送信したい。

「パソコン活用編」P. 85

パソコンを使って短縮ダイヤルなどの設定を簡単に行いたい。

「パソコン活用編」P. 86

# コピー

たくさんの文書を連続コピーしたい。（ADF：自動原稿送り装置）P. 144

拡大 / 縮小コピーしたい。P. 150

効率よく複数部コピーしたい。P. 157

ソートコピー　スタックコピー

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙にまとめてコピーしたい。（2 in 1、4 in 1）P. 159

ポスターサイズにコピーしたい。P. 159

画質を明るく（暗く）したい。P. 155

画質をきれいにコピーしたい。P. 151 P. 152

色を調整したい。（カラー調整）P. 156

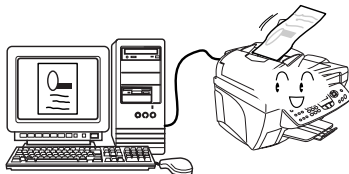
赤　R:− □■□□□ +

緑　G:− □□□■□ +

青　B:− □■□□□ +

## プリンタ

プリンタとして使いたい。
「パソコン活用編」P. 12
プリンタとして
使えます
あらかじめ登録されている設定を使って簡単に印刷したい。
「パソコン活用編」P. 15

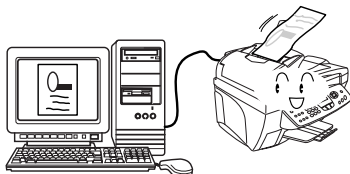

画像の色補正や画質調整をしたい。
「パソコン活用編」P. 22
色補正をする
画質調整をする

## スキャナ

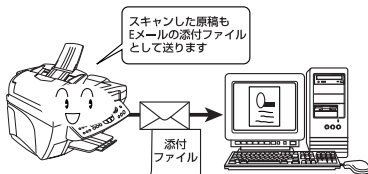
### 文字や写真をそのままパソコンに保存したい。

（スキャンイメージ）

「パソコン活用編」P. 47

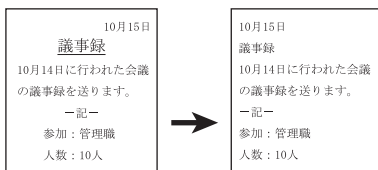
（スキャンファイル）

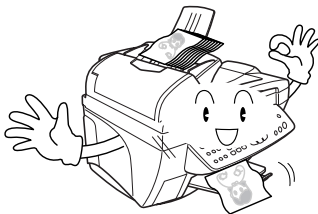
「パソコン活用編」P. 49

### 画像データを E メールに添付して送りたい。

「パソコン活用編」P. 46

### 画像データをテキストファイルに変換したい。

「パソコン活用編」P. 48

10月15日
議事録
10月14日に行われた会議
の議事録を送ります。
－記－
参加：管理職
人数：10人

10月15日
議事録
10月14日に行われた会議
の議事録を送ります。
－記－
参加：管理職
人数：10人

### 複数の原稿をまとめてスキャンしたい。

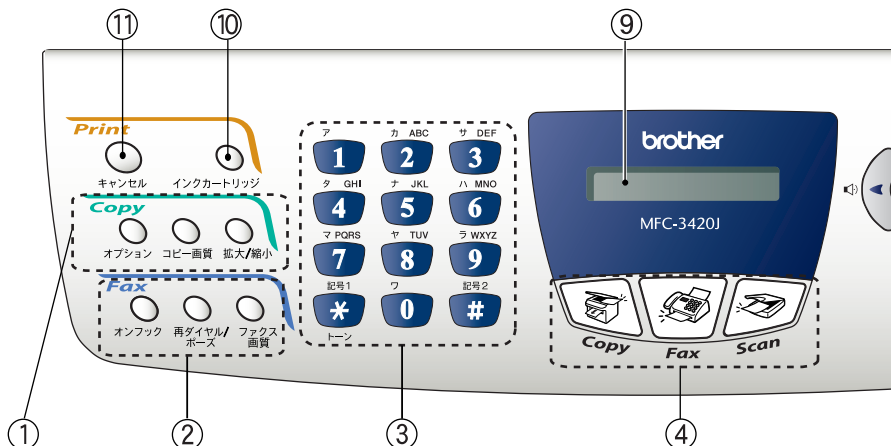
「パソコン活用編」
P. 45 P. 57 P. 68

## その他

### ナンバー・ディスプレイを使いたい。P. 68

6. ﾅﾝﾊﾞｰ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ

# 目　次

# 各部の名称とはたらき

# 操作パネルの名称とはたらき

## ①コピー機能ボタン

- オプションボタン
  コピーの設定を一時的に変更するときに押します。P. 148
- コピー画質ボタン
  コピーの画質を一時的に変更するときに押します。P. 151
- 拡大 / 縮小ボタン
  コピーの倍率を一時的に変更するときに押します。P. 150

## ②ファクス / 電話機能ボタン

- オンフックボタン
  ファクスを手動送信するときに押します。P. 78
- 再ダイヤル / ポーズボタン
  最後にダイヤルした番号を再びダイヤルするときや、ダイヤル番号の入力時にハイフンを入れるときに押します。P. 81
- ファクス画質ボタン
  ファクスを送信する原稿に合わせて、解像度を一時的に設定するときに押します。P. 89

## ③ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、発信元データなどの文字を入力するときに押します。P. 80

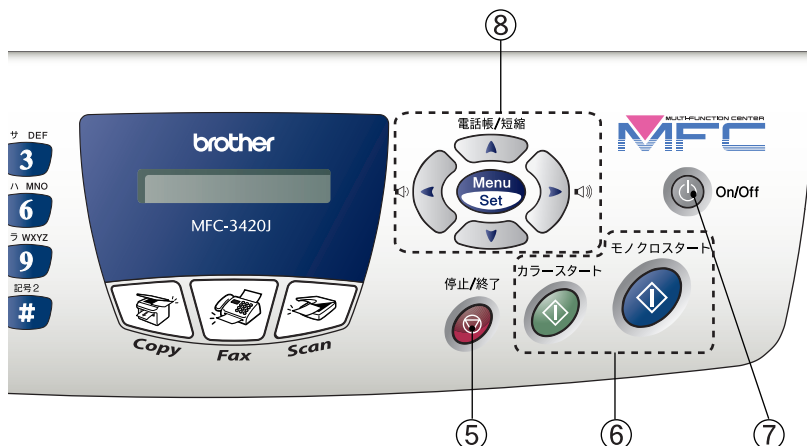
## ④モードボタン

- コピー
  コピーモードに切り替えるときに押します。
- ファクス
  ファクスモードに切り替えるときに押します。
- スキャン
  スキャンモードに切り替えるときに押します。

## ⑤停止 / 終了ボタン

操作を中止するときや、機能設定を解除するときに押します。

## ⑥モノクロ / カラースタートボタン

- モノクロスタートボタン
  モノクロでファクス送信するときや、原稿をコピーまたはスキャンするときに押します。( カラースキャンかモノクロスキャンかはパソコンで設定します。)

- カラースタートボタン
  カラーでファクス送信するときや、原稿をコピーまたはスキャンするときに押します。(カラースキャンかモノクロスキャンかはパソコンで設定します。)

⑦電源ボタン

電源を切るときに押します。ボタンが Off でも作動します。P. 32

⑧ナビゲーションキー P. 53

- Menu Set
  各種機能の設定に入るときや、各種データを登録するときに押します。
- 電話帳 / 短縮ボタン
  電話帳に登録されている電話番号を検索するときに押します。また短縮ダイヤルでダイヤルするときは＊を押し 2 桁の番号を押します。
-  
  1 つ前のメニューに戻るときに押します。（右キーは無効です。）
  また、スピーカやベルの音量を調節するときや、短縮ダイヤルとして登録されている名称をアルファベット順に検索するときにも使用します。
- 
  メニューや選択項目をスクロールするときに押します。

⑨液晶ディスプレイ

月日、時刻、宛先、電話番号、各動作の状態やエラーメッセージを表示します。

⑩インクカートリッジボタン

ヘッドクリーニングおよびインクカートリッジを交換するときに押します。インク残量を確認することもできます。

⑪キャンセルボタン

処理中のジョブをキャンセルして、メモリーからデータを削除します。

## 電源ボタンについて

電源ボタンを押して、本機を On/Off にできます。電源を Off にした場合でも、印刷品質を維持するために本機は定期的にヘッドのクリーニングを行います。

●電源ボタンを Off にする

電源ボタンを 2 秒以上押します。液晶ディスプレイに右のメッセージが表示されます。

ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｵﾌﾆｼﾏｽ

液晶ディスプレイの表示が消え、本機の電源が Off になります。

●電源ボタンを On にする

電源ボタンを 2 秒以上押します。液晶ディスプレイに右のメッセージが表示されます。

ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

電源が On になり液晶ディスプレイに日時が表示されます。(ファクスモード)

電源 Off の場合でも、On/Off 設定を変更することで、ファクスや電話を受信できます。P. 69

| On/Off 設定 | 受信モード | 電源 Off 時に操作可能な機能 |
|---|---|---|
| ﾌｧｸｽｦ ｼﾞｭｼﾝ ｼﾅｲ | | 何も動作しません。 |
| ﾌｧｸｽｦ ｼﾞｭｼﾝ ｽﾙ | ファクス専用モード<br>自動切替モード<br>外付留守電モード | • ファクス受信<br>• 親切受信<br>• タイマー送信<br>• リモートアクセス機能を使った本機のリモートコントロール |
| | 電話モード | • 親切受信<br>• タイマー送信 |

* モノクロスタートボタンまたはカラースタートボタンでの手動ファクス受信はできません。
* タイマー送信、ファクス転送は、電源 On 時にあらかじめ設定しておく必要があります。

# 各部の名称

外付電話端子（EXT.）
今までお使いになっていた電話機などを接続して、使用します。

原稿台カバー
原稿ガイド
原稿をセットするとき
は、ガイドの▶マークに
合わせて、原稿台の中央
に置きます。
原稿台ガラス
原稿をセットします。

2章

# ご使用前の準備

# 記録紙について

プリントの印字品質は記録紙によって大きく左右されます。以下の説明をよくお読みになり、目的に合った記録紙を選択してください。どんな記録紙を使ったら良いのかわからないときは、推奨紙をご利用ください。
最新の推奨紙、およびインクジェット紙、光沢紙、ラベル紙の推奨紙については、以下のサイトを参照してください。

**http://solutions.brother.co.jp**

## 推奨紙

| 記録紙種類 | 記録紙名 | 型番 / 品番 |
|---|---|---|
| 普通紙 | （株）NBS リコー<br>My Paper　68g | 90-1311 |
| インクジェット紙 | KOKUYO®<br>インクジェット用紙<br>ウルトラハイグレード<br>A4　　30 枚<br>A4　　100 枚 | KJ-1310<br>KJ-1315 |
| 光沢紙 | KOKUYO®<br>インクジェット用紙<br>光沢紙厚手<br>A4　　30 枚<br>A4　　100 枚<br>L 判　60 枚<br>L 判　120 枚 | KJ-AG1315<br>KJ-AG1317<br>KJ-AG1376<br>KJ-AG1378 |
| ラベル紙 | ヒサゴ（株）<br>あて名用ラベル<br>A4 タックシール 12 面<br>A4 タックシール 12 面（連続給紙） | OP861<br>OP861DX |
| OHP フィルム | 3M®<br>OHP フィルム<br>インクジェットプリンタ用 | CG3410 |

## 記録紙トレイ用記録紙の規格

| 項目 | 規格 |
|---|---|
| 坪量 | 普通紙：$64g/m^2$ ～ $120g/m^2$<br>インクジェット紙：$64g/m^2$ ～ $200g/m^2$<br>光沢紙：$220g/m^2$ 以下 |
| 厚さ | 普通紙：0.08mm ～ 0.15mm<br>インクジェット紙：0.08mm ～ 0.25mm<br>光沢紙：0.25mm 以下<br>はがき：0.23mm 以下<br>L 判 ,2L 判：0.42mm 以下<br>封筒：0.52mm 以下 |

## セットできる最大枚数

記録紙トレイの最大積載は、厚さ 10mm（記録紙ガイドの▼マークまで）です。

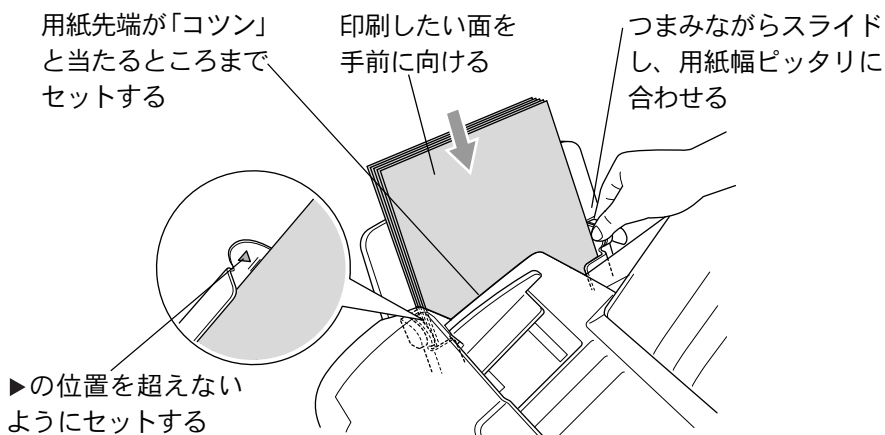
| 種類 | 記録紙枚数 |
|---|---|
| 普通紙（$80g/m^2$） | 約 100 枚 |
| インクジェット紙 | 約 20 枚 |
| 光沢紙 | 約 20 枚 |
| はがき | 約 30 枚 |
| L 判 , 2L 判 | 約 20 枚 |
| 封筒 | 約 10 枚 |
| OHP フィルム | 約 10 枚 |

## 記録紙のセットのしかた

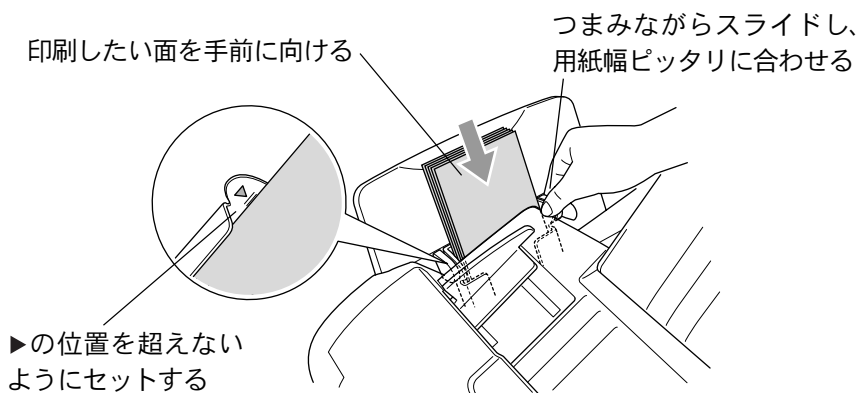
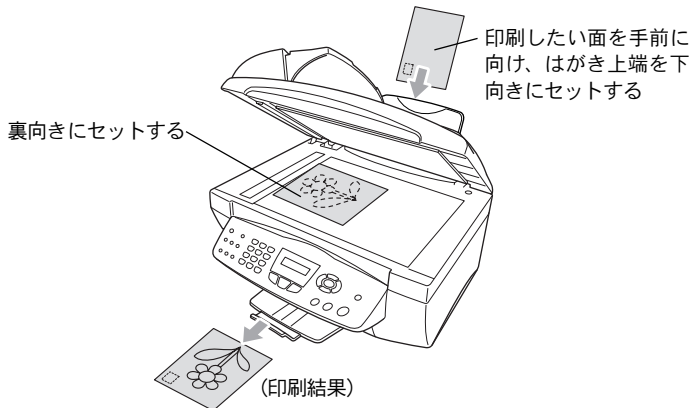
記録紙トレイの記録紙ガイドを記録紙の幅にぴったり合わせ、記録紙をセットします。

- ■ 光沢紙は当社推奨紙をお使いください。推奨紙以外の光沢紙をお使いになると、高画質な印刷ができない場合があります。
- ■ 光沢紙をセットするときは、印刷面に直接手を触れないようにしてください。
- ■ インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。
- ■ 記録紙トレイにセットできる記録紙は、矢印の位置までです。矢印の位置より少ないことを確認してください。
- ■ 記録紙を強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。
- ■ 1 ～ 10 枚程度の少数の用紙をセットする場合は、記録紙トレイ中央の青いレバー ( 記録紙リリースレバー ) を軽く押して用紙が奥までセットされていることを確認してください。

## 普通紙をセットする

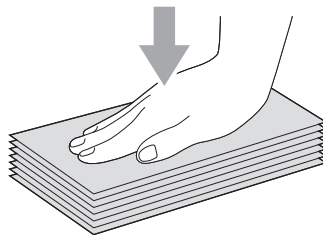
A4 サイズの普通紙は、下記のようにセットします。

## はがきをセットする

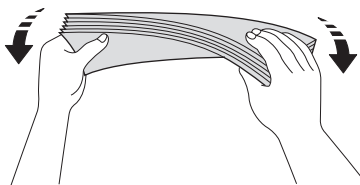
はがきは、下記のようにセットします。

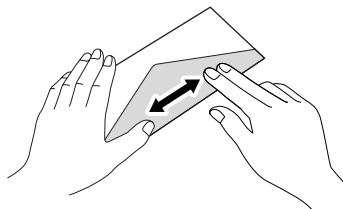
補足

- はがきや原稿をセットする向きと印刷結果は、以下のようになります。

## 封筒をセットする

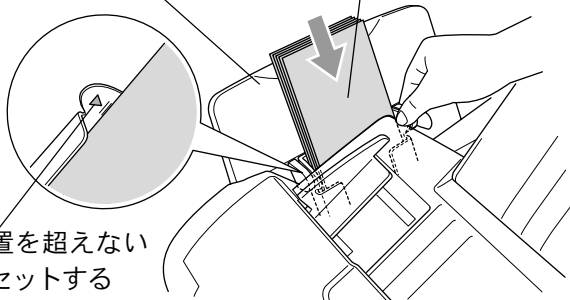
封筒は、下記のようにセットします。

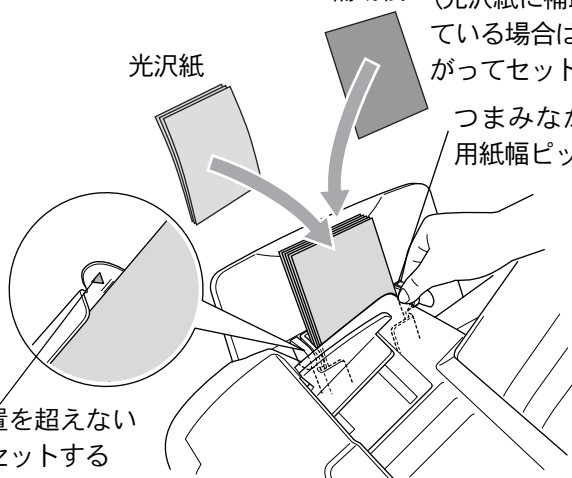
### 1 封筒の端を揃えます。

封筒の四隅を揃え、封筒を押さえて中の空気を抜いて、平らにしてください。

### 2 封筒をまっすぐにします。

封筒がそっているときは、対角線上の端を持ってゆっくり曲げ、そりを直します。

### 3 ふたの折り目を押さえます。

封筒のふたの部分がういているときは、ふたの折り目をしっかり押さえます。

## 封筒を、記録紙トレイにセットします。

記録紙ガイドを封筒の幅に合わせ、封筒を記録紙トレイにセットします。

## 光沢紙をセットする

光沢紙は、良くさばき、下記のようにセットします。光沢紙に補助紙が付属されている場合は、説明書にしたがってセットします。

● 補助紙を使っても光沢紙がうまく引き込まれないとき（光沢紙が 2 ～ 3 枚づつ送られたりするとき）は、光沢紙を 1 枚づつセットしてください。

# 使用できる記録紙

本機では下記のサイズの記録紙が使用できますが、受信したファクスは A4 サイズでのみ印刷できます。

## プリンタ

| 種類 | サイズ |
|---|---|
| 普通紙／インクジェット紙／光沢紙／ OHP フィルム | A4、US レター、B5、リーガル、A5、A6、L 判、2L 判、エグゼクティブ |
| はがき | 100mm × 148mm（官製はがき、または同等品）、148mm × 200mm（往復はがき） |
| 封筒 | 洋形 4 号（105mm × 235mm） |

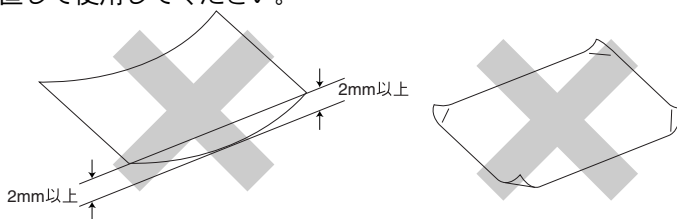
## ファクス

| 種類 | サイズ |
|---|---|
| 普通紙 | A4 |

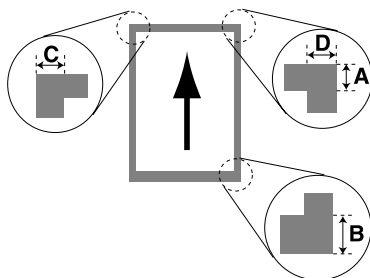
## コピー

| 種類 | サイズ |
|---|---|
| 普通紙／インクジェット紙／光沢紙／ OHP フィルム | A4、B5 |
| はがき | 100mm × 148mm（官製はがき、または同等品）、148mm × 200mm（往復はがき） |

## カールしている記録紙について

特に、はがきや光沢紙 (L 版、2L 版 ) はカールしている場合があるため、曲がりやそりを直して使用してください。

## 記録紙の印刷可能範囲について

記録紙には印刷できない部分があります。

以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D、はそれぞれ対応しています。

（単位：mm）

| 種類 | サイズ | モード | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|---|---|
| カット紙 | A4 | ファクス | 3 | 12 | 3 | 3 |
| | | コピー<br>プリンタ | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | A5 | コピー<br>プリンタ | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | A6、B5（JIS）、エグゼクティブ | プリンタ | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | レター、リーガル | プリンタ | 3 | 3 | 6 | 6 |
| フォトカード | 102 × 152 | コピー<br>プリンタ | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | 89 × 127（L 判）、<br>127 × 178（2L 判） | プリンタ | 3 | 3 | 3 | 3 |
| はがき、<br>ポストカード | 100 × 148、<br>148 × 200 | プリンタ | 3 | 3 | 3 | 3 |
| インデックスカード | 127 × 203.2 | プリンタ | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 封筒 | 洋形 4 号 | プリンタ | 10 | 20 | 3 | 3 |

補足

- 印刷できない部分の数値（表中の A、B、C、D）は、概算値ですので、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタドライバによっても値が変わってきます。
- 高品質な印字が要求される場合は、推奨紙の使用をお奨めします。
- 光沢紙の場合、印字面には直接手をふれないようにしてください。
- 特殊な記録紙をご使用になる場合は、必ず印字テストを行ってください。
- OHP フィルムをご使用になると次に印字される記録紙を汚すことがあります。重ならないように 1 枚ずつ抜き取ってください。
- インクジェット紙は表面と裏面があります。
- A4 幅を超える記録紙（レター等）の場合は、表中 C、D の数値が大きくなります。
- 記録紙のタイプに合わせて、本機の「記録紙タイプ」の設定を変更してください。（よく使う記録紙に合わせて設定しておくと便利です。）

■ 以下の記録紙は使用できません。誤ってご使用になると、故障や紙詰まりの原因となります。

- 傷がついていたり、カールやシワのある記録紙または封筒
- 特別に光沢のある記録紙または封筒
- 留め金の付いた封筒
- すでにインクジェットプリンタなどで印字された記録紙または封筒
- 内側に印刷がしてある封筒
- 著しく寸法にばらつきのある記録紙または封筒
- 表面が均一でない記録紙または封筒（エンボス紙等）
- 角が折れ曲がった記録紙
- 横目紙

# 受信モードについて

## 受信モードの種類

本機の受信モードには以下の種類があります。

- ファクス専用モード（ファクスを自動で受ける）
- 自動切替モード（ファクスを自動で受ける）
- 外付留守電モード（ファクスを自動で受ける）
- 電話モード（ファクスを手動で受ける）

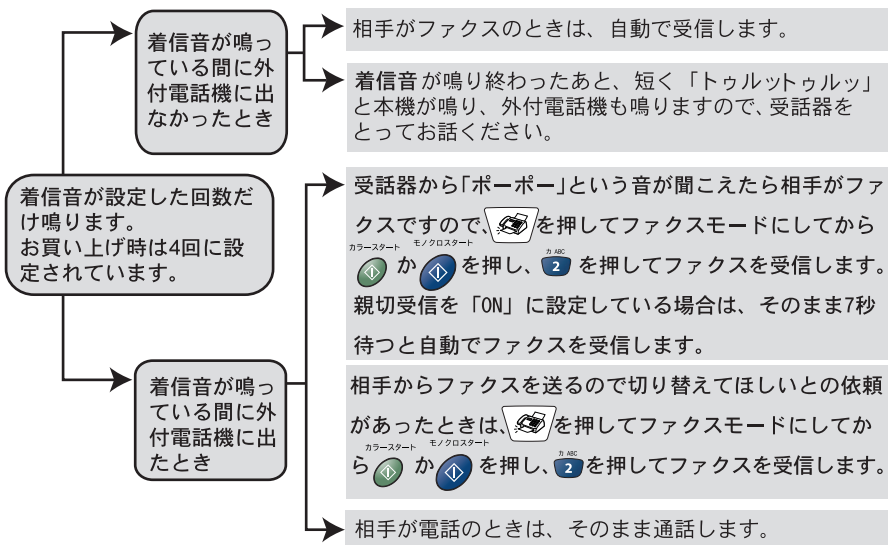
## ファクス専用モード（ファクスを自動で受ける）

本機をファクス専用として使用するときに設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。外付電話機をお使いになるときは、 ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼出回数は、0 ～ 10 回の中から選択できます。0 回に設定すると着信音を鳴らさずに自動受信（ノンコール受信）することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を 0 回か 1 回に設定してください。呼出回数の設定のしかたは P. 104 を参照してください。

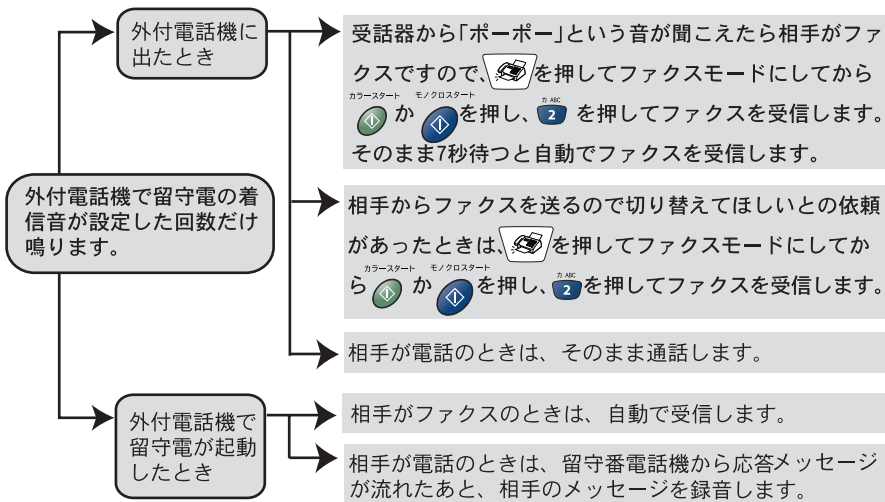
# 自動切替モード（ファクスを自動で受ける）

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは外付電話機を続けて呼び出す便利なモードです。
本機の外付電話端子（EXT.）にお使いの電話機を接続してください。

**補足**

- 呼出回数の設定のしかたは P. 104 を参照してください。
- 自動切替モードでは、本機が着信すると外付電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは カラースタート か モノクロスタート を押し、カ ABC 2 を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「Off」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して カラースタート か モノクロスタート を押し、カ ABC 2 を押してください。
- 相手が自動送信のファクスのときは着信音（7 ～ 10 回）が鳴っている間に相手が電話を切ってしまうことがあります。このようなときは着信音を 6 回以下に設定してください。P. 104
- 一部の電話は着信音が鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。

本書の使い方・目次
各部の名称とはたらき
ご使用前の準備
ご使用の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクスの応用機能
レポート・リスト
コピー
日常のお手入れ
困ったときは
付録

## 外付留守電モード（ファクスを自動で受ける）

ファクスを自動で受けたい場合、また、外付けの留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。
本機の外付電話端子（EXT.）に留守番電話機を接続して使います。留守中のファクスやメッセージに対応できる受信モードです。

補足

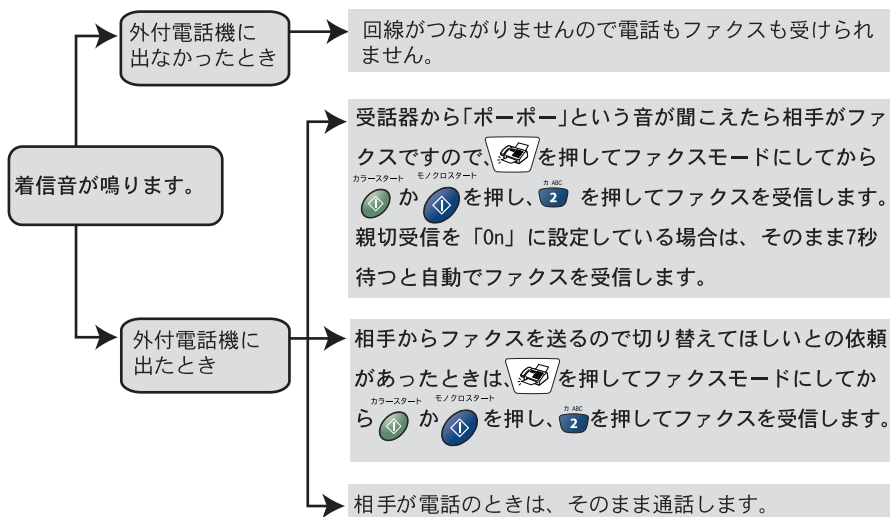
- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的に応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

注意

■ 外付留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

- 外付留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでの呼出回数は短め（1 ～ 2 回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に 4、5 秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20 秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGM を録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

# 電話モード（ファクスを手動で受ける）

主に、本機に接続した外付電話機を使う場合に設定します。本機の外付電話端子（EXT.）にお使いの電話機を接続してください。

## 補足 ファクス受信について

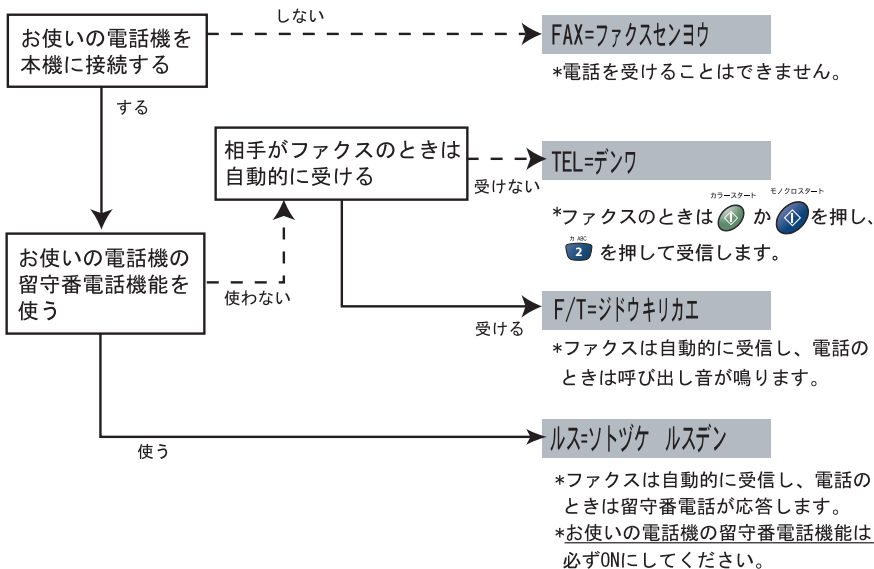
- 外付電話機で電話に出たときもファクス受信できます。P. 107
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて カラースタート か モノクロスタート を押し、カ ABC 2 を押してください。親切受信が「On」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して カラースタート か モノクロスタート を押し、カ ABC 2 を押してください。

## 補足 キャッチホン契約をされているとき

- NTT とキャッチホンまたはキャッチホン II の契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホン II サービスを利用することができます（局番なしの 116 番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホン II のご利用をお奨めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお奨めします。

# 受信モードを選ぶ

本機の使用目的に応じて、受信モードを選択します。

0（ワ） 1（ア）を押します。

1.ジュシン モード

2

で受信モードを選びます。

• 液晶ディスプレイの表示は右記のように切り替わります。

3

を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了

を押して終了します。

補足

- 選択した受信モードは、Fax モードでは液晶ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。お買い上げ時は「FAX=ファクスセンヨウ」モードに設定されています。
- 「FAX=ファクスセンヨウ」モード以外を設定した場合は、必ず外付電話機を接続してください。

3章

# ご使用前の基本設定

# 液晶ディスプレイの特徴

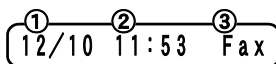
## 液晶ディスプレイについて

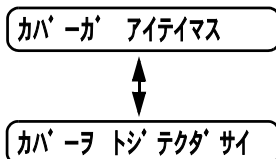
本機は、お客様が使いやすいように、液晶ディスプレイを見るだけで次に何をすれば良いか分かるようになっています。

液晶ディスプレイには、現在の設定内容や、操作方法を案内するヘルプメッセージが表示されます。それらの表示は一定の間隔で入れ替わります。

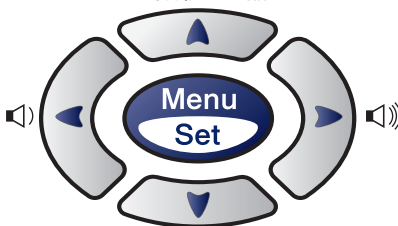
### 液晶ディスプレイの表示例

ファクスモードの場合

①　　②　　③
12/10 11:53 Fax

①：日付が表示されます。
②：現在の時刻が表示されます。
③：設定した受信モードが表示されます。

本体カバーが完全に閉じていない場合
以下のメッセージが表示されます。この場合、本体カバーを一度開け、再度閉じてください。

# 機能設定する

## ナビゲーションキーを使った基本操作

本機は、ナビゲーションキーを使った簡単な操作で、各種の設定ができます。
液晶ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、登録や設定をします。

ナビゲーションキーの外観

| ナビゲーションキー | ボタンの役割 |
| --- | --- |
| Menu Set | 各種設定をするとき、設定した機能を確定（決定）するときに使用します。<br>選択項目の設定が終わると、液晶ディスプレイには「ウケツケマシタ」と表示されます。 |
|  | メニューの選択項目をスクロールするときに使用します。 |
|  | 前のメニューに戻るときに使用します。 |
| 停止/終了 | メニューモードを終了するときに使用します。 |

## ダイヤルボタンを使った基本操作

Menu Set を押した後、ダイヤルボタンで、設定したい機能の番号を直接入力することで、本機に対する各種の設定ができます。

- 設定を途中で終了するときは、停止/終了 を押してください。
- 本書では、ダイヤルボタンを押す操作方法で説明しています。

# 機能一覧

## 初期設定機能

| メイン<br>メニュー | サブ<br>メニュー | メニュー<br>選択 | 選択項目 | 内　容 | 参照<br>ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 0. ショキ<br>セッテイ | 1. ジュシン<br>モード | ー | FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ<br>F/T=ｼﾞﾄﾞｳｷﾘｶｴ<br>ﾙｽ=ｿﾄﾂﾞｹ ﾙｽﾃﾞﾝ<br>TEL=ﾃﾞﾝﾜ | 使用目的に合わせて受信モードを設定します。 | P. 44<br>リモート |
| | 2. トケイ<br>セット | ー | ー | 液晶ディスプレイに表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。 | 「かんたん設置ガイド」<br>リモート |
| | 3. ハッシン<br>モト トウロク | ー | ファクス<br>ナマエ | ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。 | 「かんたん設置ガイド」<br>リモート |
| | 4. カイセン<br>シュベツ<br>セッテイ | ー | ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ<br>ﾀﾞｲﾔﾙ 10PPS<br>ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPS<br>ｼﾞﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ | お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。 | 「かんたん設置ガイド」<br>リモート |
| | 5. トクベ<br>ツカイセン<br>タイオウ | ー | イッパン<br>ISDN<br>PBX | 特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。 | P. 66<br>リモート |
| | 6. ヒョウジ<br>ゲンゴ<br>(LOCAL<br>LANGUAGE) | ー | ニホンゴ<br>English | 液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。<br>This setting allows you to change LCD Language to English. | P. 67 |
| | 7. ナンバー<br>ディスプレイ | ー | On<br>Off<br>ソトヅケデンワ ユウセン | 相手の番号を表示するかしないかの設定をします。 | P. 68 |

＊ 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

＊ 参照ページの欄に リモート マークが記載されている項目は、リモートセットアップ機能（パソコンからの設定）が使用できることを意味しています。リモートセットアップについては「取扱説明書～パソコン活用編～」の「3 章　リモートセットアップ」を参照してください。

## 基本設定機能

| メイン<br>メニュー | サブ<br>メニュー | メニュー<br>選択 | 選択項目 | 内　　容 | 参照<br>ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1. キホン<br>セッテイ | 1. モード<br>タイマー | ― | ０　ビョウ<br>３０　ビョウ<br>１　フン<br>２　フン<br>５　フン<br>Ｏｆｆ | ファクスモードに戻る時間を設定します。<br>「Ｏｆｆ」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。 | P. 61<br>リモート |
| | 2. キロクシ<br>タイプ | | フツウシ<br>インクジェットシ<br>コウタクシ<br>ＯＨＰ フィルム | 記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。 | P. 62<br>リモート |
| | 3. オンリョウ | 1. チャクシン<br>オンリョウ | Ｏｆｆ<br>ショウ<br>チュウ<br>ダイ | 着信時のベルの音量を設定します。 | P. 63<br>リモート |
| | | 2. ボタンカクニン　オンリョウ | Ｏｆｆ<br>ショウ<br>チュウ<br>ダイ | 操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。 | P. 64<br>リモート |
| | | 3. スピーカー<br>オンリョウ | Ｏｆｆ<br>ショウ<br>チュウ<br>ダイ | オンフック時の音量を設定します。 | P. 65<br>リモート |
| | 4. デンゲン<br>Ｏｆｆ　セッテイ | | ファクスヲ　ジュシン　スル<br>ファクスヲ　ジュシン　シナイ | 電源Ｏｆｆのときの動作を設定します。 | P. 69<br>リモート |

* 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。
* 参照ページの欄に リモート マークが記載されている項目は、リモートセットアップ機能（パソコンからの設定）が使用できることを意味しています。リモートセットアップについては「取扱説明書～パソコン活用編～」の「3 章　リモートセットアップ」を参照してください。

## ファクス機能

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 2. ファクス | 1. ジュシン セッテイ | 1. ヨビダシ カイスウ | 00<br>:<br>04<br>:<br>10<br>(0 から 10) | 「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のとき、自動受信するまでの呼出回数を設定します。 | P. 104<br>リモート |
| | | 2. サイ　ヨビダシ カイスウ | 08<br>15<br>20 | 「自動切替モード」のとき、着信音の後に鳴る呼び出しベルの回数を設定します。 | P. 105<br>リモート |
| | | 3. シンセツ ジュシン | O n<br>O f f | 本機がファクスを自動受信する前に外付電話をとってしまった場合でも、ファクススタートボタンを押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。 | P. 106<br>リモート |
| | | 4. リモート ジュシン | O n<br>O f f | 外付電話機からファクスを受信動作させるときに設定します。 | P. 107<br>リモート |
| | | 5. ジドウ シュクショウ | O n<br>O f f | A4 サイズ以上の長さの原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。 | P. 109<br>リモート |
| | | 6. ポーリング　ジュシン | ヒョウジュン<br>キミツ<br>タイマー | ポーリング通信でファクスを受信するときの設定をします。 | P. 117 |

| メインメニュー | サブメニュー | メニュー選択 | 選択項目 | 内　　容 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 2. ファクス | 2. ソウシン セッテイ | 1. ゲンコウ ノウド | ジドウ<br>ウスク<br>コク | 原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。 | P. 92 |
| | | 2. ファクス ガシツ | ヒョウジュン<br>ファイン<br>スーパーファイン<br>シャシン | 送信時の解像度の設定をします。ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。 | P. 91<br>リモート |
| | | 3. タイマー ソウシン | シテイジコク=<br>００：００ | タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。 | P. 97 |
| | | 4. トリマトメ ソウシン | Ｏｎ<br>Ｏｆｆ | 同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。 | P. 98<br>リモート |
| | | 5. リアルタイム ソウシン | Ｏｎ<br>Ｏｆｆ<br>コンカイノミ | メモリーを使わずにリアルタイムでファクスを送信するときに設定します。 | P. 94<br>リモート |
| | | 6. ポーリング ソウシン | ヒョウジュン<br>キミツ | ポーリング通信でファクスを送信するときの設定をします。 | P. 114 |
| | | 7. カイガイ ソウシン モード | Ｏｎ<br>Ｏｆｆ | 海外送信を行うときに設定します。 | P. 96 |
| | 3. デンワチョウ トウロク | 1. デンワチョウ/タンシュク | ― | 2桁の短縮番号01～40に送信先番号、名称を登録します。 | P. 83<br>リモート |
| | | 2. デンワチョウ/グループ | ― | 同時に多数のファクス送信ができるように、グループ番号を設定します。 | P. 86<br>リモート |
| | 4. レポート セッテイ | 1. ソウシン レポート | Ｏｎ<br>Ｏｎ+イメージ<br>Ｏｆｆ<br>Ｏｆｆ+イメージ | 送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。 | P. 137<br>リモート |

☞次ページへ続く

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 2. ファクス | 4. レポート セッテイ | 2. ツウシン カンリ カン カク | レポートシュツ リョク シナイ<br>50 ケン ゴト<br>6 ジカンゴト<br>12 ジカンゴト<br>24 ジカンゴト<br>2 カ ゴト<br>7 カ ゴト | 通信管理レポートの出力間隔を設定します。 | P. 138 リモート |
| | 5. オウヨウ キノウ | 1. テンソウ | Off<br>ファクス テンソウ<br>デンワ ヨビダシ | ファクスメッセージを受信したとき、「電話呼出」や「ファクス転送」するための設定をします。 | P. 123 リモート |
| | | 2. メモリー ジュシン | On<br>Off | 受信したファクスをメモリーに蓄積する／しないを設定します。（ファクス転送、リモコンアクセスするときに、On に設定します。） | P. 121 リモート |
| | | 3. アンショ ウバンゴウ | アンショウバンゴウ：---* | 外出先から本機をリモートコントロールするときの 3 桁の暗証番号を設定します。 | P. 127 リモート |
| | | 4. ファクス シュツリョ ク | ― | メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。 | P. 122 |
| | 6. ツウシン マチ カクニ ン | ― | ― | メモリー送信の待ち状態を確認し、メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。 | P. 99 |
| | 7. チャクシン キロク | ― | ― | 着信記録から電話帳に登録します。 | P. 113 |
| | 0. アンシン ツウシン モード | | ヒョウジュン<br>アンシン | 安心通信モードを設定するときに設定します。 | P. 70 リモート |

＊ 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

＊ 参照ページの欄に リモート マークが記載されている項目は、リモートセットアップ機能（パソコンからの設定）が使用できることを意味しています。リモートセットアップについては「取扱説明書～パソコン活用編～」の「3 章　リモートセットアップ」を参照してください。

## コピー機能

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 3. コピー | 1. コピー　ガシツ | – | コウガシツ<br>ヒョウジュン<br>コウソク | コピー画質を設定します。 | P. 151 リモート |
| | 2. アカルサ | – | −□□■□□+ | 明るさを調整します。 | P. 155 リモート |
| | 3. コントラスト | – | −□□■□□+ | コントラスト（色の濃度）を調整します。 | P. 164 リモート |
| | 4. カラーチョウセイ | 1. レッド | R：−□□■□□+ | 赤／緑／青の各色のバランスを調整します。 | P. 164 リモート |
| | | 2. グリーン | G：−□□■□□+ | | |
| | | 3. ブルー | B：−□□■□□+ | | |

* 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

* 参照ページの欄に リモート マークが記載されている項目は、リモートセットアップ機能（パソコンからの設定）が使用できることを意味しています。リモートセットアップについては「取扱説明書～パソコン活用編～」の「3 章　リモートセットアップ」を参照してください。

## テストプリント機能

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 4. テストプリント | − | − | − | 印刷品質に満足できないときは、この機能を使って調整します。 | P. 179 |

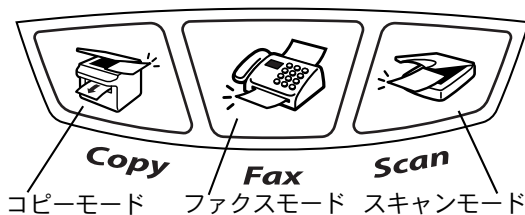
* 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

## レポート　印刷機能

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 5. レポート インサツ | 1. キノウアンナイ | ー | ー | 簡単操作リストを印刷します。 | P. 135 |
| | 2. デンワチョウ　リスト | ー | ー | 短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている内容を印刷します。 | P. 135 |
| | 3. ソウシン　レポート | ー | ー | 送信後に最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。 | P. 135 |
| | 4. ツウシン　カンリ レポート | ー | ー | 送信・受信した最新の 200 通分の結果を印刷します。 | P. 135 |
| | 5. セッテイナイヨウ リスト | ー | ー | 各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。 | P. 135 |
| | 6. ゴチュウモン　シート | ー | ー | 消耗品をファクスで注文するときのオーダーシートを印刷します。 | P. 136 |
| | 7. チャクシンリレキ リスト | ー | ー | 着信履歴を印刷します。 | P. 136 |

＊ 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

# モードについて

操作パネルのモード切り替えボタンでファクス、コピー、スキャンの各モードに切り替えることができます。

現在選択されているモードボタンは緑色に点灯します。

## モードタイマーを設定する

各モードで操作後、自動的にファクスモードに戻る時間を設定することができます。「Off」を選択すると、最後に使ったモードを維持します。

**1** Menu/Set、1、1 を押します。

1. モード タイマー

**2** ▲▼で時間を選択します。

「0 ビョウ」「30 ビョウ」「1 フン」「2 フン」「5 フン」「Off」の中から選択します。

**3** Menu/Set を押します。

**4** 停止/終了 を押して終了します。

補足

- お買い上げ時、モードタイマーは「2 フン」に設定されています。

# 基本設定を変更する

## 記録紙を選ぶ

本機にセットする記録紙を選択します。お使いの記録紙に合わせて選択してください。本機が記録紙に合った最適な方法で印刷します。
一時的に設定を変更するときは、各項目の「一時的に設定する」で記録紙を変更すると便利です。コピーの場合：P. 152

を押します。

1. キロクシ タイプ

で記録紙を選択します。

キロクシ：フツウシ

「フツウシ」、「インクジェットシ」、「コウタクシ」、「OHP フィルム」の中から選びます。

を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了

を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は、「フツウシ」に設定されています。
- 「コウタクシ」を選んだ場合は、▲▼で「コウタクシ：4 ショクインサツ」か「コウタクシ：3 ショクインサツ」を選ぶことができます。
  - コウタクシ：4 ショクインサツ：4 色のインクカートリッジ（ブラック、シアン、イエロー、マゼンタ）のすべてを使用します。光沢紙に印刷する場合、通常はこちらを選択してください。
  - コウタクシ：3 ショクインサツ：3 色のインクカートリッジ（シアン、イエロー、マゼンタ）を使用します。この場合、黒色は、3 色のインクカートリッジを混ぜ合わせて表現されます。ご使用の光沢紙でブラックインクの乾きが悪い場合にこちらを選択してください。
- 写真のような高画質な印刷をするときは「コウタクシ」を選択することでよりきれいに印刷できます。
- カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書などを印刷するときは「インクジェットシ」を選択することでよりきれいに印刷できます。

## 着信音量を調節する

着信音量を調節します。

**1** Menu/Set 1 3 1 を押します。

1. チャクシン オンリョウ

**2** ▲▼ で音量を選択します。

オンリョウ：ダイ

「Ｏｆｆ」、「ショウ」、「チュウ」、「ダイ」の中から選びます。

**3** 

ウケツケマシタ

**4** 停止/終了

を押して終了します。

**補足**

- お買い上げ時は、「チュウ」に設定されています。
- Fax モード中のみ音量の変更は、 　だけで調整することもできます。

☞次ページへ続く

## ボタン確認音量を変える〔ボタン確認 & ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」とボタン確認音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調節します。

   を押します。

2.ボタンカクニン オンリョウ

**2**

▲▼で音量を選択します。

オンリョウ:ダイ

「Off」、「ショウ」、「チュウ」、「ダイ」の中から選択します。

**3**

 を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了

 を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。

## スピーカー音量を調節する

手動でファクスを送信するとき、 受信側から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調節します。

   3 を押します。

`3. スピ ーカー オンリョウ`

2

 で音量を選択します。

`オンリョウ:ダ イ`

「Off」、「ショウ」、「チュウ」、「ダイ」の中から選択します。

 を押します。

`ウケツケマシタ`

停止/終了  を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は「チュウ」に設定されています。
- スピーカー音量は、オンフック を押してスピーカーから「ツー」という音が聞こえているとき、またはオンフック状態で相手の声が聞こえているときに、◀ ▶を押して調節することもできます。

## 特別な回線に合わせて設定する

ご使用の電話回線でファクスがうまく送受信できないときなどに、使用している回線を特定し、設定します。

 0 5 を押します。

5.トクベツカイセン タイオウ

 で回線種別を設定します。

「イッパン」、「ISDN」、「PBX」の中から選択します。

カイセン:ISDN

 を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了

 を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は「イッパン」に設定されています。
- 「PBX」に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「Off」になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度「On」にするときは、特別回線対応の設定を「イッパン」に設定してください。
- ADSL 環境では「イッパン」に設定してください。

# 液晶ディスプレイの表示言語を切り替える〔英語・日本語〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

を押します。

6.ﾋｮｳｼﾞ ｹﾞﾝｺﾞ

で言語を選択します。

ｺﾄﾊﾞ:ﾆﾎﾝｺﾞ

を押します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

停止/終了
を押して終了します。

補足

- 英語による説明を以下に示します。
  This setting allows you to change LCD language to English.
  1 Press Menu/Set 0 6.
  
  2 Press ▲/▼ to select “English“.
  3 Press Menu/Set.
  4 Press 停止/終了 to exit.
- 英語版OS用ドライバのインストール方法については、付属CD-ROMの「ENG」フォルダ内の「README」を参照してください。
  For the method of installing the English OS driver, see “README” in“ENG” folder stored on the attached CD-ROM.

## ナンバー・ディスプレイの設定をする

受信したときに相手の電話番号を外付電話または本機の液晶ディスプレイに表示させることを設定します。ナンバー・ディスプレイを On にした場合、以下の機能をご利用できます。

- 着信履歴を液晶ディスプレイで確認する
- 着信履歴リストを印刷する P. 136

 を押します。

7. ﾅﾝﾊﾞｰ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ

で「On」「Off」「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」の中から選択します。

On

- 「On」の場合、本機の液晶ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。
- 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」の場合、外付電話に相手の電話番号が表示されます。

を押します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は、「Off」に設定されています。
- ナンバー・ディスプレイを利用するには、NTT への契約が必要です。契約していない場合は「Off」にしてください。
- ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。
- 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」の場合、着信履歴は本機に残りません。

# 電源 Off 時の動作を設定する

電源 Off のときにファクスを受信したり、タイマー送信ができます。

ア タ GHI

1 4 を押します。

4.デンゲンOff セッテイ

2

▲ ▼ で動作を設定します。

ファクスヲ ジュシン シナイ

「ファクスヲ ジュシン スル」、「ファクスヲ ジュシン シナイ」の中から選びます。

3

 を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了

 を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は、「ファクスヲ ジュシン スル」に設定されています。
- 「ファクスヲ ジュシン スル」の場合は、受信モードによって、動作が異なります。

| On/Off 設定 | 受信モード | 電源 Off 時に操作可能な機能 |
| --- | --- | --- |
| ファクスヲ ジュシン シナイ | | 何も動作しません。 |
| ファクスヲ ジュシン スル | ファクス専用モード<br>自動切替モード<br>外付留守電モード | • ファクス受信<br>• 親切受信<br>• タイマー送信<br>• リモートアクセス機能を使った本機のリモートコントロール |
| | 電話モード | • 親切受信<br>• タイマー送信 |

* モノクロスタートボタンまたはカラースタートボタンでの手動ファクス受信はできません。
* タイマー送信、ファクス転送は、電源 On 時にあらかじめ設定しておく必要があります。

## 安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送受信したいときに設定します。「ヒョウジュン」→「アンシン」の順で送信時間は遅くなりますが、「ヒョウジュン」または「アンシン」に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。「ヒョウジュン」→「アンシン」の順にお試しください。

を押します。

0. アンシンツウシン モード

で「アンシン」を選択します。

ツウシン：アンシン

を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了
を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は「ヒョウジ゛ュン」に設定されています。
- IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを 4 つ）を付けておかけください。この場合は、通信料は NTT などのお客様がご契約になっている会社からの請求になります。
- ファクスの通信エラーには、多くの要素があります。
  - ・通信回線の品質
  - ・信号レベル
  - ・通信相手機の影響
  - ・屋内線の配線や接続している機器の影響

  本機側だけで通信エラーを解消できるものではありません。
- 「アンシン」に設定すると、カラーファクスの受信ができません。

4章

# ファクス送信

# ファクスを送信する前に

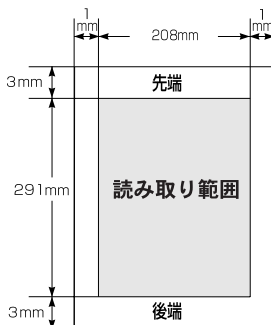
## 原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機で拡大・縮小コピーしてからセットしてください。小さすぎる原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

| | |
|---|---|
| 厚さ | ：0.08mm ～ 0.12mm<br>（ADF（自動原稿送り装置）使用時） |
| 秤量 | ：64g/$m^2$ ～ 90g/$m^2$<br>（ADF（自動原稿送り装置）使用時） |
| 最大厚み | ：30mm（原稿台ガラス使用時） |
| 最大質量 | ：2kg（原稿台ガラス使用時） |

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときはADFから送信され、ADFに原稿がないときは、原稿台ガラスから送信されます。

# 原稿の読み取り範囲

A4 サイズの原稿の読み取り範囲を次に示します。

補足

● 原稿の読み取り範囲は、概算値ですので、目安として参考にしてください。

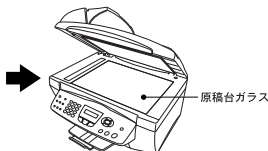
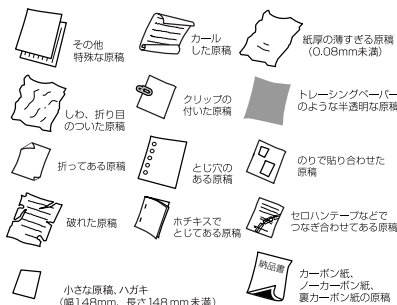
■ インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

■ 原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。

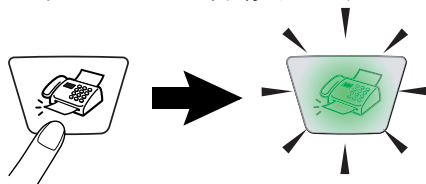
■ 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。

■ 濃い原稿と判断し、自動的にファクス送信データが薄くなる場合があります。

■ 原稿を強く押し込まないでください。原稿詰まりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

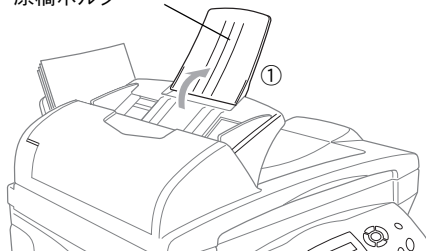
■ 以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用して送信してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。

# ファクスを送信する

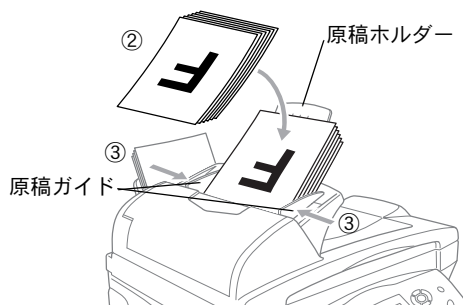
## ファクスモードにする

ファクスを送信するには［ファクス］ボタンが緑色に点灯してファクスモードになっていることを確認してください。
もし、緑色に点灯していないときは、［ファクス］ボタンを押してファクスモードにします。
ファクス以外のモードに切り替えていても、設定されているモードタイマーP. 61の時間になると、自動的にファクスモードに戻ります。

## ADF（自動原稿送り装置）から送信する〔自動送信〕

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして送信します。
原稿をセットする前に原稿が静電気等でくっついていないことを確認してください。

**1** ［ファクス］ボタンが緑色に点灯していないときは［ファクス］ボタンを押します。

**2** 原稿ホルダーを開きます。（①）

**3** 原稿を表向きにして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込んでください（②）。

原稿は一度に 20 枚までセットできます。

**4** 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます（③）。

**5** 相手先のファクス番号を入力します。

**6** モノクロスタート  か カラースタート を押します。

**補足**

- カラーファクス送信ができます。P. 90
- 送信を途中で止めたいときは P. 79 を参照してください。
- ダイヤルのしかたは P. 80 を参照してください。
- 最初のページを読み込み中に、液晶ディスプレイに「ﾒﾓﾘｰｶﾞ　ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」が表示された場合は、停止/終了 を押すと読み込みが中止されます。2 ページ目以降を読み込み中に、このメッセージが表示された場合は、モノクロスタート を押すと、読み込まれたページまでは送信します。送信を取りやめる場合は 停止/終了 を押します。
- メモリーに読み込み可能な原稿の枚数は原稿の内容に影響されます。
- 原稿台ガラスの原稿を取り除いてから、ADF（自動原稿送り装置）を使用してください。

補足

- ECM（Error Correction Mode の略称）通信とは、国際的に標準化された自動誤り訂正方式による通信モードのことです。通信中の雑音などにより、送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけを送り直すため、画像の乱れのない通信を行うことができます。
  - 送信側・受信側ともに ECM 機能を持っていないと ECM 通信は行われません。
- ECM 通信中に雑音などで影響を受けた場合は、通信時間が正常時に比べ多少長くなります。

■ ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。

■ キャリアシートにセットした原稿は、原稿台ガラスから送信してください。

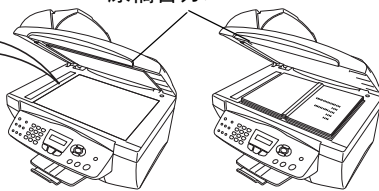
## 原稿台ガラスから送信する〔自動送信〕

原稿台ガラスからは一度に 1 枚ずつの原稿や本のページをファクス送信します。原稿サイズはレターまたは A4 です。原稿台ガラスを使うときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

 ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押します。

**2** 原稿台カバーを持ち上げます。

**3** 左側の原稿ガイドを利用して、原稿台ガラスの中央に原稿を裏向きにセットします。

**4** 原稿台カバーを閉じます。

原稿台ガラスに原稿を裏向きにセットします。

**5** 相手先のファクス番号を入力します。

**6** モノクロスタート   か カラースタート  を押します。

スキャンを開始します。

**7** 1 枚のみを送信する場合は、手順 10 へ進みます。
複数枚を送信する場合は手順 8 へ進みます。

**8**  を押します。

ツギノ ゲンコウアリマスカ?
1. ハイ　2. イイエ (ソウシン)

**9** 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、

 を押します。

スキャンを開始します（各原稿についてこれを繰り返します）。

ツギノ ゲンコウヲ　セットシテ
セットヲ オシテクダサイ

**10** 2 または モノクロスタート  か

カラースタート  を押します。

ツギノ ゲンコウアリマスカ?
1. ハイ　2. イイエ (ソウシン)

- ■ 原稿台カバーは必ず閉じてから送信してください。開いたまま送信すると画像が黒くなることがあります。
- ■ 原稿が本や厚さがあるときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また上からあまり強く押さないでください。
- ■ ADF（自動原稿送り装置）の原稿を取り除いてから、原稿台ガラスを使用してください。

## ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、オンフック を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押します。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

オンフック を押して、相手先のファクス番号を入力します。

相手先の受信音（ピー）を確認して、モノクロスタート

か カラースタート を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、「1.ソウシン 2.ジュシン」と表示されますので、ア 1 を押します。

1.ソウシン 2.ジュシン

- ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

## ファクスを送信する〔デュアルアクセス〕

ファクス送信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定をして送信ができます。液晶ディスプレイには新しいジョブ番号とメモリー残量が表示されます。

■ 本機は通常デュアルアクセスモードになっていますが、カラーファクスモードでは、デュアルアクセス機能は無効になります。リアルタイム送信 P. 94 「On」「Off」にかかわらずリアルタイムで送信されます。

## ファクス送信を途中で止める

**1** 停止/終了 を押します。

`カイジョ 1.スル 2.シナイ`

**2**  を押します。

`ウケツケマシタ`

送信前の場合は「テイシ ヲ オシテクダサイ」と表示されますので、停止/終了 を押します。

# 便利にダイヤルする

## ダイヤルのしかた

送信するときのダイヤル方法は 3 つあります。

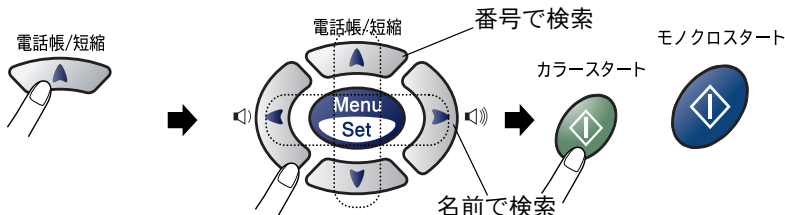
### ダイヤルボタンを使用する

以下に示すダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接入力します。最も一般的な方法です。

### 短縮ダイヤルを使用する

電話帳/短縮 を押し、記号1 ＊ トーン を押した後、01 ～ 40 の 2 桁の短縮番号を押します。短縮ダイヤルには 40 件登録できます。

### 電話帳を使用する

短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録された名称を検索し、そのままダイヤルします。液晶ディスプレイ上で名前だけで検索できます。

補足

- 短縮ダイヤルの登録のしかたは P. 83 を参照してください。
- 電話帳の使い方は P. 82 を参照してください。
- グループダイヤルの登録のしかたは P. 86 を参照してください。

## 同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

（ファクス）ボタンが緑色に点灯していないときは（ファクス）ボタンを押します。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

（再ダイヤル/ポーズ）を押します。

最後にかけた番号が表示されます。

**4**

を押します。

自動再ダイヤルについて

- 自動再ダイヤルでファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します（原稿送信のときは、原稿をそのまま置いておいてください）。自動再ダイヤルは 5 分間隔で 3 回繰り返します。
- 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先のファクス番号を確認してください。
- 自動再ダイヤルを 3 回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートが印刷されます。「ケッカ」の欄が「ハナシチュウ/オウトウナシ」であることを確認し、再度送信してください。
- 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。手動送信時は（再ダイヤル/ポーズ）を押して再ダイヤルします。
- 送信した内容が相手先に届いても、本機が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理されます。自動的に再ダイヤルはされません。

## 電話帳を使って送信する

あらかじめ、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている相手先名称を液晶ディスプレイ上で検索し、そのまま検索した相手にファクスを送信することができます。

**1** ボタンが緑色に点灯していないときはボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

**3** 電話帳/短縮 を押します。

◀▶デ゛ デ゛ンワチョウケンサク

**4** 探したい名前の最初の1文字を入力します。

エイギ゛ョウ ダ゛イ1 ▶

・「文字の入れかた」P. 199

**5** ◀ ▶ で目的の名前を表示させます。

**6** 相手先が表示されたら、モノクロスタート  か カラースタート を押します。

補足

- 入力した最初の1文字を含む50音順、アルファベット順で一番最初の相手先名称が表示されます。
- 原稿台ガラス使用時は、モノクロスタート を押すと読み取りが始まります。読み取り終了後、再度 モノクロスタート を押してください。

- 目的の名前は ▲ ▼ で登録番号順に表示させることもできます。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたは P. 135 を参照してください。
- 短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては P. 83 P. 86 を参照してください。

# 電話帳を作成する

## 短縮ダイヤルを登録する

電話番号と相手先名称を、2 桁の短縮番号 01 ～ 40（最大 40 件）に登録することができます。

 カ ABC  サ DEF  ア  を押します。

1. デ゛ンワチョウ/タンシュク

タンシュク ダ゛イヤル?＊

**2** ダイヤルボタンで登録する短縮番号を入力します。

＊05：

01 ～ 40 の中から入力します。

- すでに短縮ダイヤルが登録されているときは、名前または電話番号が表示されます。

**3**  を押します。

- 例：05 に登録する場合

**4** 相手先の電話番号またはファクス番号を入力して、Menu Set を押します。

ナマエ：

- 電話番号は 20 桁まで登録できます。カッコを登録することはできません。

**5** 相手先の名前を入力して、Menu Set を押します。

ウケツケマシタ

タンシュク ダ゛イヤル?＊

- 名前は 15 文字まで登録できます。
- 続けて登録する場合は、手順 2 ～ 5 を繰返します。
- 「文字の入れかた」P. 199

**6** 停止/終了  を押して終了します。

補足

- 短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、[＊]を押して、「＊」を入力してから番号を入力してください。
- スペースを入力するには、[▶]を押します。
- 短縮ダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- 短縮ダイヤルに登録してある電話番号は、[電話帳/短縮]を押し、[＊]を押した後、01～40の2桁の短縮番号を押します。
- 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P. 135を参照してください。

■ 電話番号を間違って登録すると、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、相手に迷惑をかけることになりますので注意してください。新しく電話番号を登録した後、電話帳リストP. 135を印刷して確認してください。

# 短縮ダイヤルを変更する

   1 を押します。

```
1. デ゛ンワチョウ/タンシュク
タンシュク ダ゛イヤル?＊
```

**2** ダイヤルボタンで登録する短縮ダイヤルを入力し、Menu Set を押します。

- 例：05 を変更する場合
  0 5 を押します。

```
＊05:タナカ ヨウコ
↕
ヘンコウ 1. スル 2. シナイ
```

**3** 1 を押します。

**4** 

Menu Set を押します。

- 例：05 に登録する場合

```
＊05:
```

**5** 相手先の電話番号またはファクス番号を入力して、Menu Set を押します。

- 電話番号は 20 桁まで登録できます。カッコを登録することはできません。

```
ナマエ:
```

**6** 相手先の名前を入力して、 を押します。

- 名前は 15 文字まで登録できます。
- 続けて登録する場合は、手順 2 ～ 6 を繰返します。
- 「文字の入れかた」P. 199

```
ウケツケマシタ
タンシュク ダ゛イヤル?＊
```

**7** 停止/終了

 を押して終了します。

補足

- 手順 3 で 1 を押した後、電話番号をクリア、または 停止/終了 を押します。
  Menu Set を押すと短縮ダイヤルが削除されます。

## グループダイヤルを登録する

短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、1 グループとして短縮ダイヤルに登録できます。グループダイヤルとして登録し、順次同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。

 2 3 2 を押します。

2.デンワチョウ/グループ
タンシュク ダイヤル?*

**2** グループダイヤルに登録したい短縮ダイヤルを入力し Menu Set を押します。

- 例：03 番に登録する場合
  0 3 を押します。

**3** ダイヤルボタンで任意のグループ番号を入力して、Menu Set を押します。

グループ ダイヤル:G01

- グループ番号は 1 〜 6 から選びます。
  例：03 番に登録する場合
  3 を押します。
- すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ヤリナオシテ クダサイ」と表示されます。
  未登録のグループ番号を選んでください。

**4** グループに登録する短縮ダイヤルを入力します。

G01:*05*09

- 電話帳/短縮 を押したあとに 2 桁の番号を入力します。
- 例：短縮ダイヤル＊ 03、＊ 09 を登録する場合
  電話帳/短縮 0 3 を押し、続けて 電話帳/短縮 0 9 を押します。

**5** 登録したい短縮ダイヤルをすべて入力したら、Menu Set を押します。

ナマエ:

**6** グループ名を入力して、を押します。

ウケツケマシタ

- グループ名は 15 文字まで登録できます。
- 「文字の入れかた」P. 199

**7** 停止/終了 を押して終了します。

補足

- 1 つのグループダイヤルには、最大 39 件まで登録できます。
- グループダイヤルは 6 グループまで作ることができます。グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を一度に指定することができます。
- 取引先別、部署別等でグループ分けすると便利です。
- グループダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- 登録したグループが分からなくなったときは電話帳リストを印刷します。P. 135 を参照してください。

■ グループダイヤルとして使用されている短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

■ グループダイヤルを登録する前に短縮ダイヤルを登録してください。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

## グループダイヤルを変更する

 2 3 2 を押します。

2.デンワチョウ/グループ

**2**

変更するグループダイヤルの短縮ダイヤルを入力します。

タンシュク ダイヤル?＊

**3**

 を押します。

G01:エイギョウ

ヘンコウ 1.スル 2.シナイ

**4**

1 を押します。

G01:＊05＊04

**5**

グループに登録する短縮ダイヤル番号を入れ直し Menu Set を押します。

変更しない項目は、Menu Set を押すと次の手順に進むことができます。

**6**

グループ名を変更する場合は、新しいグループ名を入力し Menu Set を押します。

ナマエ:エイギョウ

変更しない項目は、Menu Set を押すと次の手順に進むことができます。

停止/終了

 を押して終了します。

ウケツケマシタ

補足

- 手順 4 で 1 を押した後、短縮ダイヤル番号をクリア、または 停止/終了 を押します。すべての短縮ダイヤルを削除後 Menu Set を押すとグループダイヤルが削除されます。
- 短縮ダイヤルを 1 件ずつ削除する場合は、削除したいダイヤルの下にカーソルを合わせ、停止/終了 を押します。

# ファクスを便利に送信する

## 画質を変更する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを変更して、ファクスを送信することができます。
ここで変更した画質モードは、ファクスの送信が終わるともとに戻ります。

ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

ファクス画質 を繰り返し押して画質を選び、

を押します。

ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

- 「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」「ﾌｧｲﾝ」「ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝ」「ｼｬｼﾝ」の中から選びます。
- スーパーファインモードと写真モードはモノクロのみ対応しています。

相手先のファクス番号を入力して、

モノクロスタート か カラースタート

を押します。

ﾌｧｲﾝ

- 2 秒間、設定した画質が表示されます。
- カラー送信するときは カラースタート を押します。

**補足**

- お買い上げ時は、画質モードは「ヒョウジュン」に設定されています。
  - ヒョウジュン（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき（カラー送信可能）
  - ファイン（ファインモード）：小さな文字のとき（カラー送信可能）
  - スーパーファイン（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき（モノクロのみ）
  - シャシン（写真モード）：写真を含む原稿のとき（モノクロのみ）

補足

- 原稿台ガラスからファクスするときに複数枚の原稿がある場合は、一枚ずつ原稿台ガラスにセット後、Menu Set を押します。すべての原稿読み取り完了後、モノクロスタート か カラースタート を押します。
- ファイン、スーパーファイン、写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くかかります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

## カラーでファクスを送信する

カラーでファクスを送信することができます。

**1** ファクスボタンが緑色に点灯していないときは ファクスボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

**3** 相手先のファクス番号を入力して、カラースタート を押します。

補足

- カラーファクス送信時はメモリーに読み込まれずに送信します。
- モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけを別に送信してください。
- 原稿台ガラスからカラーファクスを送信する場合は１枚ずつ送信してください。

■ 相手先のファクシミリがモノクロの場合はカラーで送信してもモノクロで受信されます。

■ カラーファクスはモノクロに比べて送信に時間がかかります。

■ カラーファクスはメモリーを使う送信（順次同報送信、タイマー送信、取りまとめ送信、ポーリング送信、電話呼び出し機能、ファクス転送、デュアルアクセス）ができません。

## 画質を設定する〔設定内容を保持する〕

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。
ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

**1** ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

**3** 2 2 2 を押します。

**4** ▲▼で画質を選択します。

「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選びます。

ｶﾞｼﾂ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

**5** を押します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

**6** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

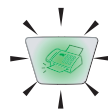
**7** 相手先のファクス番号を入力して、モノクロスタート か カラースタート を押します。

補足

- お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。

## 原稿濃度を変更する

ファクス送信するときの原稿濃度を変更します。

**1** ボタンが緑色に点灯していないときはボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

**3** を押します。

1.ゲンコウ ノウド

**4** で原稿濃度を選択します。

ゲンコウ ノウド :ジドウ

「ジドウ」「ウスク」「コク」の中から選択します。

**5** を押します。

ウケツケマシタ

**6** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ホカノ セッテイ

1.スル 2.シナイ

**7** 相手先のファクス番号を入力して、を押します。



補足

- 原稿濃度は、以下の 3 種類の中から選びます。お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。
  - ジドウ ：普通の文字の原稿が多いときに設定します。
  - ウスク ：濃い色の原稿が多い場合に設定します。
  - コク ：えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。
- ファクス送信されたあと、原稿濃度の設定は自動的に「ジドウ」に戻ります。
- 原稿濃度を濃く設定すると全体に黒っぽくなることがあります。相手先から「原稿が読みにくい」と言われたら調整してみてください。

# 同じ原稿を数ヶ所に送信する〔順次同報送信〕

同じ原稿を、複数の送信先を設定して一度に送信することができます。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、あらかじめ登録されている短縮ダイヤル、グループダイヤルから指定します（ダイヤルボタンで最大50ヶ所、短縮ボタン・グループダイヤルと合わせて最大90ヶ所まで指定できます）。

ボタンが緑色に点灯していないときは

ボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

**3** 短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索するか、またはダイヤルボタンによる直接入力で、1件目の送信先を選択します。

- 短縮ダイヤルから指定する（01番を指定するとき）

を押します。

**4** Menu Set を押します。

（短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索したときは液晶ディスプレイに送信先が表示されてから Menu Set を押します。）

**5** 液晶ディスプレイに右のように表示されてから2件目の送信先を手順3のように選択します。

**6** Menu Set を押します。

（短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索したときは液晶ディスプレイに送信先が表示されてから Menu Set を押します。）

**7** すべての送信先を入力して、モノクロスタート を押します。

☞ 次ページへ続く

**8** 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。

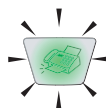
**9** 同報送信レポートを確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

補足

- 送信途中でキャンセルするには停止/終了を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合はMenu Set 2 6で送信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。P. 99
- 送信先を間違えたときは、停止/終了を押して最初から入力し直してください。
- この機能はカラーファクスでは利用できません。
- 送信できる枚数はメモリーの残量によっても制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、自動的に重複している部分が削除されます。
- 原稿読込み中に「メモリーガ イッパイデス」と表示されたら停止/終了を押して中止するかモノクロスタートを押して、読み込まれた分だけ送信してください。
- 送信途中で話中の相手先があった場合は、自動的に再ダイヤルして送信します（原稿をそのまま置いておいてください）。自動再ダイヤルは5分間隔で3回繰り返します。
  自動再ダイヤルを 3 回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートが印刷されます。「ケッカ」の欄が「ハナシチュウ／オウトウナシ」であることを確認し、再度送信してください。

## 原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

ボタンが緑色に点灯していないときはボタンを押します。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

**3**    を押します。

5.リアルタイム ソウシン

**4** ▲▼で送信のタイミングを選択します。

リアルタイム ソウシン:On

「On」、「Off」、「コンカイノミ」の中から選択します。「コンカイノミ」を選択したときは Menu Set を押して手順 5 へ進みます。「On」または「Off」を選択したときは手順 6 へ進みます。

**5** ▲▼で今回のみ「On」か「Off」を選択して Menu Set を押します。

ウケツケマシタ

**6** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ホカノ セッテイ

1.スル 2.シナイ

**7** 相手先のファクス番号を入力して、モノクロスタート  を押します。

**補足**

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 本機は通常、メモリー送信をしていますが、リアルタイム送信を「On」に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。リアルタイム送信で指定できる相手先は 1 件です。
- 原稿台ガラスからの送信の場合、原稿は 1 枚しか送信できません。
- カラーファクスでは常にリアルタイム送信を行います。

## 海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「On」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

**1**  ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

**3**    を押します。

7.ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ

**4** で「On」を選択します。

ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ:On

**5** を押します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

**6** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

**7** 相手先のファクス番号を入力して、（モノクロスタート）を押します。

**補足**

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は、手動送信で相手の「ピー」という音を聞いてから モノクロスタート を押して送信してみてください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「Off」に戻ります。
- 海外送信モードを「On」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

## 指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24 時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。
電話会社が提供しているサービスの時間帯に指定して送ることで、通信料を節約できます。

ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

を押します。

3. タイマー ソウシン

**4** 送信する時刻を 24 時間制で入力します。

- 例：午後 3 時 5 分の場合は「15:05」

シテイ ジ゛コク=15:05

**5**  を押します。

ウケツケマシタ

**6** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ホカノ セッテイ

↕

1. スル 2. シナイ

**7** 相手先のファクス番号を入力して、モノクロスタート  を押します。

補足

- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容に影響されます。
- この機能はカラーファクスでは利用できません。
- 相手が話し中や、通信エラーなどで送信できないときは、5 分おきに 3 回まで再ダイヤルします。

## メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信するタイマー時間が同じものがある場合、1 回の通信でタイマー設定された時間に送信することができます。

カ ABC 2 カ ABC 2 タ GHI 4 を押します。

4. トリマトメ ソウシン

で「On」を選択します。

トリマトメ ソウシン:On

を押します。

ウケツケマシタ

を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- この機能はカラーファクスでは利用できません。
- 取りまとめ送信のときは、同じダイヤル方法でダイヤルしてください。

# 送信待ち確認・送信待ちファクス解除

メモリー送信の待ち状況を確認できます。
メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

  を押します。

6.ツウシン マチ カクニン

で解除する内容を選択します。

確認のみのときは手順 5 へ進みます。

を押します。

#001 12:34 スズキ

カイジョ 1.スル 2.シナイ

か を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了

を押して終了します。

補足

- 送信待ちのファクスがないときには「セッテイガ サレテイマセン」と表示されます。

5章

# ファクス受信

# ファクスを受信する

## メモリー代行受信について

以下の状況になった場合、本機は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します（メモリー代行受信）。

- 記録紙がなくなったとき（ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ）
- インクがなくなったとき（ｲﾝｸｷﾞﾚ XXXX）
- 記録紙がつまったとき（ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ）
- 記録紙のサイズを間違ってセットしたとき（ｷﾛｸｼｻｲｽﾞｦ ｶｸﾆﾝ）

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリーから消去されます。

■ メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

■ 電源を抜いたときや停電のときは、メモリーに記憶された受信メモリー文書のデータは消去されます。

# 手動でファクスを受信する

着信音が鳴っている間に外付電話の受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

着信音が鳴ったら、外付電話の受話器を取ります。

2

ファクスに切り替えることを相手に伝えて モノクロスタート  を押します。

カ ABC 2 を押します。

受話器を戻します。

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについては P. 44 を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 受話器を取ったとき「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスを自動送信しているときです。モノクロスタート を押し、カ ABC 2 を押してください。親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま約 7 秒間待つと自動でファクスを受信できます。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り替わらないときがあります。そのときは モノクロスタート を押し、カ ABC 2 を押してください。
- 親切受信を「On」に設定している場合は、原稿をセットしたままで受信することができます。
- 相手が自動送信のファクスのときは、着信音（7 ～ 10 回）が鳴っている間に相手が電話を切ってしまう場合があります。このようなときは呼出回数を 6 回以下に設定してください。P. 104
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して モノクロスタート を押し、カ ABC 2 を押してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

## 呼出回数を設定する

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のときに、自動受信するまでの呼出回数を設定します。

を押します。

1. ヨビ゛ダ゛シ カイスウ

で呼出回数を選択します。

カイスウ：04

0 ～ 10 回から選びます。

を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了
を押して終了します。

**補足**

- お買い上げ時は「4 回」に設定されています。
- 呼出回数は、「0 回」に設定すると着信音を鳴らさずに自動受信（ノンコール着信）することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出回数を「0 回」か「1 回」に設定してください。
- 外付電話機を接続している場合、本機の呼出回数を「0 回」に設定しても外付電話機の着信音が 1 ～ 2 回鳴ることがあります。
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをお勧めします。
- 「ファクス専用モード」や「自動切替モード」のとき、外付電話機の着信音も、ここで設定された回数だけ着信音が鳴ります。
- 着信ベルの音量を設定するには P. 63 を参照してください。

## 再呼出回数を設定する

「自動切替モード」のときに電話がかかってくると、着信音のあとに、「トゥルッ トゥルッ」と呼出音が鳴ります。この呼出音の鳴る回数を設定します。

   を押します。

2. ｻｲ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ

で再呼出回数を選択します。

ｶｲｽｳ：08

「8」「15」「20」の中から選択します。

を押します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

停止/終了

を押して終了します。

補足

- 再呼出回数は、お買い上げ時は「8」に設定されています。
- 本機は、設定した回数だけ呼出音を鳴らしたあと、自動的に電話を切ります。

## 親切受信で受信する

相手から自動送信でファクスが送られてきた場合、本機が自動受信を開始する前に外付電話機をとってしまったときでも、何も操作しなくてもファクスを受信できる便利な機能です。

カ ABC 2 ア 1 サ DEF 3 を押します。

3. シンセツ ジュシン

で「On」を選択します。

シンセツ ジュシン：On

を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了 を押して終了します。

受信時の操作

- 親切受信を「On」に設定している場合は、外付電話機の受話器をとって「ポー、ポー」という音が聞こえたら、約７秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「ジュシン　チュウ」と表示されたら受話器を戻します。
- 親切受信を「Off」に設定している場合は、外付電話機の受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、モノクロスタート を押し、カ ABC 2 を押して受信します。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り替わらないときがあります。そのときは モノクロスタート カ ABC 2 を押してください。

補足

- お買い上げ時は、「Off」に設定してあります。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「Off」に設定してください。
- 親切受信の設定が「Off」に設定してある場合でも、外付電話機から操作をしてリモート起動でファクス受信を開始させることができます。P. 107
- 外付電話を接続したらこの機能は大変便利です。
- 本機に外付電話機を接続してファクス、電話兼用機として使用する場合に設定するのが一般的です。

## 外付電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕

本機には親切受信機能 P. 106 があるため、通常は外付電話機の受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。しかし、親切受信がうまくはたらかないか、親切受信の設定が「Ｏｆｆ」になっている場合などに本機に接続されている外付電話機から操作をしてファクス起動を開始させることができます。

外付電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「＃５１」を入力します。受話器は約５秒後に戻します。

本機がファクス受信を始めます。

- リモート起動番号とは、本機の外付電話端子（EXT.）に接続されている外付電話機から、本機をリモート受信させるときに使用するものです。お買い上げ時は「＃５１」に設定されています。
- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。

■ ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、外付電話機のトーンボタンを押してトーン（プッシユ）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

## リモート受信を設定する

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を「On」にする必要があります。また、リモート起動番号を自分の好きな番号に変更することができます。下記の手順で設定してください。

 2 1 4 を押します。

4. ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ

 で「On」を選択します。

ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ:On

 を押します。

ｷﾄﾞｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:#51

リモート起動番号が表示されます。
リモート起動番号（3 桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

 を押します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

停止/終了  を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は「#51」に設定されています。
- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。
- リモート起動番号とは、本機の外付電話端子（EXT.）に接続されている外付電話機から、本機をリモート受信させるときに使用するものです。

# 自動的に縮小印刷する

A4 の長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に A4 サイズの記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

    を押します。

5.ジドウ シュクショウ

 で「On」を選択します。

ジドウ シュクショウ:On

 を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了

 を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は「On」に設定されています。
- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約 355mm までの原稿を A4 サイズに収まるように縮小して印刷します。約 355mm を超えた原稿は縮小せずに 2 枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小を「Off」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう 1 枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小を「On」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- 送信側の原稿サイズが A3 や B4 などの場合は、送信側で縮小しますので、この機能を「OFF」にしても縮小して印刷されます。

# 6章

# ファクスの応用機能

# ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。

- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する（P. 136）

## 着信履歴を検索する

を押します。

- 最新の着信記録が表示されます。

`7. ﾁｬｸｼﾝｷﾛｸ`

で検索します。

`01) 12345678`

Menu Set を押します。

詳細情報が表示されます。

を押して終了します。

- 「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、「着信記録」は使用できません。「ﾁｬｸｼﾝｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示されます。
- 着信記録は手動では削除できません。（古い順から自動的に削除されます。）

## 着信記録を電話帳に登録する

   を押します。

`7. チャクシンキロク`

 で登録したい電話番号を選択して  を押します。

`01) 12345678`

相手先の名前を入力して  を押します。

`ナマエ:ブ゛ラザ゛ー ハナコ`

- 名前は 15 文字まで入力できます。
- 登録は未登録番号の一番若い番号にされます。
- 登録可能な件数を超えた場合は、「トウロクガイッパイデス」と表示されたあと、手順 2 に戻ります。
- 「文字の入れかた」P. 199

停止/終了  を押して終了します。

# 相手の操作で原稿を送信する

## 標準ポーリング送信する

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリのメモリーに入っている原稿を自動的に送信させることをポーリング通信といいます。
本機が送信側のときは「ポーリング送信」といいます。

ボタンが緑色に点灯していないときはボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

Menu/Set 2 2 6 を押します。

6. ﾎﾟ-ﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ

**4** ▲/▼で「ヒョウジュン」を選択して

Menu/Setを押します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

**5** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ

1. ｽﾙ 2. ｼﾅｲ

**6** モノクロスタート

を押すと原稿がメモリーに読み込まれます。

ｽﾀ-ﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

補足

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- カラーファクスはポーリング送信できません。
- ポーリング通信の場合、通話料は受信側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときは、P. 99 の「送信待ち確認・送信待ちファクス解除」で解除してください。

## 機密ポーリング送信の設定

受信側と送信側が同じ４桁のパスワードを使用して、ポーリング送信待機中の原稿が第三者に渡らないようにする「機密ポーリング送信」を行うことができます。

機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と４桁のパスワードを決めておく必要があります。

ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

を押します。

6. ポ゛ーリング゛ ソウシン

**4** ▲▼ で「キミツ」を選択して  を押します。

ポ゛ーリング゛ : XXXX

**5** ４桁のパスワードを入力して

を押します。

ウケツケマシタ

☞次ページへ続く

他の設定を続けるときは【1】を、終了するには【2】を押します。

モノクロスタート

を押すと原稿がメモリーに読み込まれます。

スタートボタンヲ オス

補足

● 相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。

# 本機の操作で相手の原稿を受信する

## 標準ポーリング受信する

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を自動的に送信させることを、ポーリング通信といいます。
本機が受信側のときは「ポーリング受信」といいます。

Menu/Set 2 1 6 を押します。

6.ポーリングジュシン

▲▼で「ヒョウジュン」を選択して

Menu/Set を押します。

ダイヤル シテクダサイ

スタートボタンヲ オス

相手先のファクス番号を入力し

か を押すと受信を開始します。

補足

- ポーリング方式のファクス情報サービスも一種のポーリング受信です。
- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

## 順次ポーリング受信する

1 回の操作で複数の送信側ファクシミリのメモリーに保存されている原稿を自動的に送信させることを、順次ポーリング受信といいます。

カ ABC 2 ア 1 ハ MNO 6 を押します。

6.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｼﾞｭｼﾝ

▲ ▼ で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択します。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

を押します。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

**4** ポーリング受信する相手先のファクス番号を短縮ダイヤル、グループダイヤルで入力します。

ダイヤルの入力毎に Menu Set を押してください。

- 短縮ダイヤルから指定する（01 番を指定するとき）

を押します。

モノクロスタート

か カラースタート を押すと順次ポーリング受信を開始します。

## 機密ポーリング受信する

受信側と送信側が同じ 4 桁のパスワードを使用して「機密ポーリング受信」を行うことができます。
機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と 4 桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信できます。

   を押します。

6.ポ゜ーリンク゛シ゛ュシン

 で「キミツ」を選択して

 を押します。

ポ゜ーリンク゛:XXXX

4桁のパスワードを入力して

 を押します。

ダ゛イヤル シテクダ゛サイ

スタートボ゛タンヲ オス

相手先のファクス番号を入力し

か
を押すと受信を開始します。

- 相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

## 時刻指定ポーリングの設定〔タイマーポーリング受信〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

   を押します。

6. ポ ーリング ジ ュシン

2

 で「タイマー」を選択して

 を押します。

シテイ ジ コク=00:00

3

指定時刻を 24 時間制で入力します。

• 例：午後 3 時 05 分の場合は「15:05」

シテイ ジ コク=15:05

4

 を押します。

ダ イヤル シテクダ サイ

スタートボ タンヲ オス

5

相手先のファクス番号を入力し 

か カラースタート を押すと受信を開始します。

指定時刻になると、自動的にポーリング受信を開始します。

補足

● 時刻指定ポーリング（タイマーポーリング受信）を解除したいときは P. 99 を参照してください。

# メモリー受信を設定する

## メモリー受信を設定する

メモリー受信を「On」に設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積するとともに印刷します。また、電話呼び出し機能P. 123・ファクス転送機能P. 123・リモコンアクセスP. 127が使用できます。

カ ABC 2 ナ JKL 5 カ ABC 2 を押します。

2.メモリー ジュシン

で「On」を選択します。

メモリー ジュシン:On

を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了
を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- メモリー受信は最大 170 ページまでできます（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します）。
- 記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「Off」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。
- メモリー受信したファクスが蓄積されているとき「Off」に設定すると「ファクス ショウキョ？ 1.スル 2.シナイ」が表示されます。記録紙がセットしてあれば、1を押すとファクスメッセージがすべて印刷された後、メモリーから内容が消去されます。
- メモリー受信を「On」に設定してもメモリー受信ができなくなったときは、受信用メモリーがいっぱいです。メモリーに入ったファクスを出力P. 122してメモリーを消去してください。お買い上げ時は「Off」に設定されています。

注意

■ メモリー受信を「On」に設定すると、カラーファクスは受信できません。

## メモリーに入ったファクスを出力する

メモリー受信が「On」に設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリーから消去します。

カ ABC 2 ナ JKL 5 タ GHI 4 を押します。

4. ファクス シュツリョク

スタートボ゛タンヲ オス

2

モノクロスタート  か カラースタート を押すと印刷を開始します。

プ゛リント チュウ

印刷終了後 停止/終了  を押します。

- メモリーに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに「データガ　アリマセン」と表示されますので 停止/終了 を押してください。

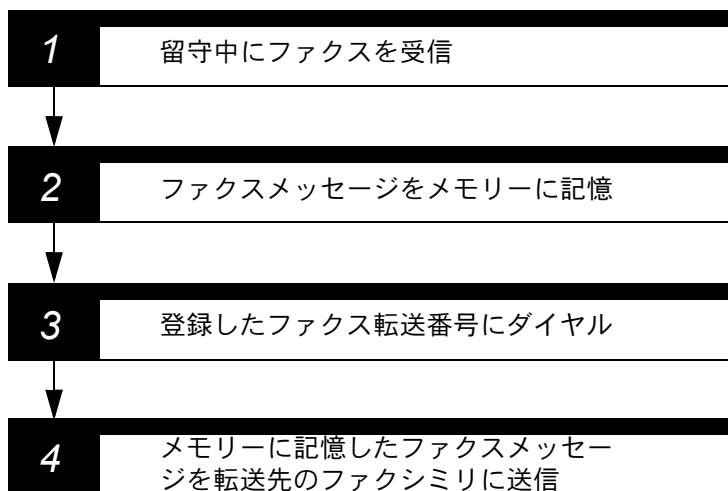
# 電話呼び出し機能とファクス転送

## 電話呼び出し機能とファクス転送について

メモリー受信を「On」に設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積することができます。ファクスメッセージがメモリーに記憶されると、外出先の電話に知らせたり（電話呼び出し機能）、ファクスメッセージを転送（ファクス転送）することができます。

## ファクス転送の流れ

受信したファクスメッセージを、他の場所のファクスに転送することができます。

注意

■ 電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

## ファクス転送を設定する

ファクスを受信すると他の場所のファクシミリへ自動的に転送する機能です。

**1** メモリー受信を「On」にします。P. 121

**2** Menu Set 2 5 1 を押します。　［1. テンソウ］

**3** ▲▼で「ファクス　テンソウ」を選択します。　［ファクス　テンソウ］

**4** Menu Set を押します。　［ファクス　テンソウ#：］

**5** 転送先番号（転送先の電話番号）を入力して Menu Set を押します。　［ウケツケマシタ］

**6** 停止/終了

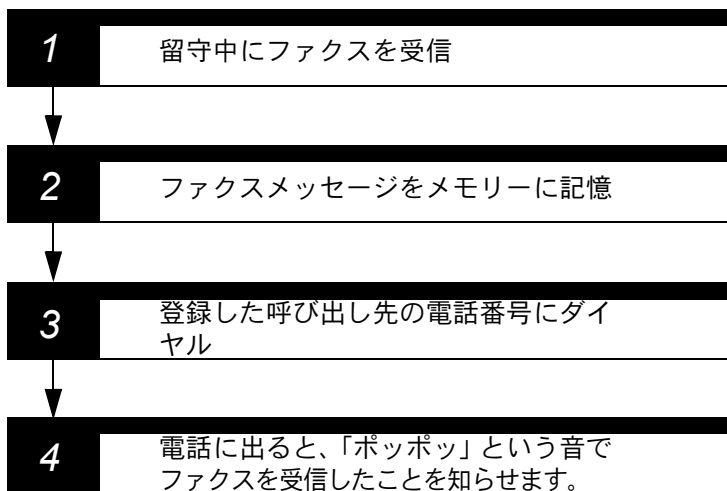
を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は「Off」設定されています。
- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。P. 132
- 転送先と市外局番が異なるときは、市外局番も入力します。
- 転送先は最大 20 桁まで入力できます。
- ファクス転送が終了すると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- メモリーにファクスを受信後、ファクス転送の設定を「ファクス　テンソウ」に設定してもファクスは転送されません。
- ファクス転送の設定を「ファクス　テンソウ」に設定した後、ファクス受信をすると、すべてのメモリーの内容が転送されます。

注意

■ ファクス転送の設定をすると、カラーファクスは受信できません。

## 電話呼び出し機能の流れ

## 電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に電話呼び出しをする機能です。

**1** メモリー受信を「On」にします。P. 121

**2** Menu/Set 2 5 1 を押します。

1. テンソウ

**3** ▲ ▼ で「デンワ　ヨビダシ」を選択します。

デ ンワ ヨビ ダ シ

**4** Menu/Set を押します。

デ ンワ ヨビ ダ シ#:

**5** 呼び出し先番号を入力して Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**6** 停止/終了

を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてメッセージを受けたことを知らせます。外出先のファクスから暗証番号を使用してファクスメッセージを取り出すことができます。
- 呼び出し先は最大 20 桁まで入力できます。

注意

■ 電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

# 外出先から本機を操作する：リモコンアクセス

## 暗証番号を設定する

外出先から本機をリモートコントロールするための暗証番号（3 桁の数字と＊）を設定します。

を押します。

3.アンショウバンゴウ

新しい暗証番号を入力します。

- 例：160 ＊に設定するとき
- 「＊」の左側の 3 桁に、ダイヤルボタンでお好みの番号に設定します。（暗証番号は「＊」を加えた 4 桁の番号になります。）

アンショウバンゴウ:160＊

を押します。

ウケツケマシタ

停止/終了

を押して終了します。

補足

- 暗証番号は「3 桁の数字」を入力してください。4 桁目の「＊」は変えることができません。

## リモコンアクセスをする

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、暗証番号やリモコンアクセスコマンドを入力することにより、外出先から本機をリモートコントロールして、ファクス転送などの操作を行うことができます。

補足

- 暗証番号は、外出先から本機をリモートコントロールするための番号であり、3桁の数字と「＊」から構成されています。また、リモコンアクセスコマンドは、外出先から本機に対する設定を変更するための番号です。

1. 外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリから本機の電話番号にダイヤルします。
2. 本機が応答し、約 4 秒間無音状態になりますので、その間に暗証番号をダイヤルボタンで入力します。
3. 「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示します。
   メモリーに蓄積されていないときは「ポー」という音はしないので、そのまま手順 4 へ進みます。
4. 次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえます。この間に、リモコンアクセスコマンドをダイヤルボタンで入力します。
5. リモコンアクセスを終了するときは、⑨⓪を入力します。

補足

- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- 1 つのコマンドの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のコマンドを入力することができます。
- 暗証番号を入力するタイミングについて以下に示します。
  - ファクス専用モードのとき
    メモリー受信の設定が「On」の場合、本機が応答すると、約 4 秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信の設定が「Off」のときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。
  - 自動切替モードのとき
    本機が応答すると約 4 秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
  - 外付留守電モードのとき
    外付留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（外付の留守番電話に応答メッセージを録音する際にあらかじめ 4 ～ 5 秒くらい無音状態を入れておいてください）。
  - 電話モードのとき
    呼出ベルが約 35 回鳴るまで待った後約 30 秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 暗証番号を自分専用の番号に変更することにより、本機への接続相手を限定することができます。変更のしかたはP. 127を参照してください。
- リモコンアクセスコマンドについてはP. 130を参照してください。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にしないでください。
- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が 1 回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコマンドを入力せずに 30 秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。

## リモコンアクセスで設定できる機能〔コマンド一覧〕

リモコンアクセスコマンドを入力することにより、本機を下記のようにリモートコントロールすることができます。

| 機　　　能 | コマンド |
|---|---|
| 電話呼び出し、ファクス転送の設定を「Off」にします。 | 951 |
| ファクス転送に設定します（番号未登録時は設定できません）。 | 952 |
| ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、# を 2 回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「On」になります。 | 954 |
| メモリー受信を「On」に設定します。 | 956 |
| メモリー受信を「Off」に設定します。 | 957 |
| メモリーが記憶したファクスメッセージを取り出します。 | 962 |
| ファクスメッセージを記憶しているかを確認します。記憶しているときは「ピー」という音が、記憶していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。 | 971 |
| 受信モードを「外付留守電モード」に変更します。 | 981 |
| 受信モードを「自動切替モード」に変更します。 | 982 |
| 受信モードを「ファクス専用モード」に変更します。 | 983 |
| リモコンアクセスを終了します。 | 90 |

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」P. 131 と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954）」P. 132 について手順を示します。

## 外出先からファクスを取り出す

1. 外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。
2. 本機の電話番号をダイヤルします。
このとき、リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してください。
3. 本機が応答したら、最初の無音 4 秒間に 3 桁の暗証番号と
(＊)を押します。
4. 「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がファクスを受信し、メモリーに記憶していることを示しています。
5. 取り出したいファクスメッセージが記憶されているときは、「ピピッ」という音が鳴り終わったときに、(9)(6)(2)を押します。
6. 続けて、外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力し、最後に(#)を 2 回押します。
7. 「ピー」という応答音が聞こえたら、受話器を置きます。
8. 本機からファクスが転送されます。

## 外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

**1** 外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。

**2** 本機の電話番号をダイヤルします。

**3** 本機が応答したら、最初の無音 4 秒間に 3 桁の暗証番号と ＊ を押します。

**4** 「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、9 5 4 を押します。

**5** 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力し、最後に # を 2 回押します。

転送番号は最大 20 桁まで入力できます。

**6** 「ピー」という応答音が聞こえたら、9 0 を押して受話器を置きます。

補足

- 「＊」や「#」は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、# を 1 回押します。# を 2 回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順 3 からの操作を行ってください。

# レポート・リスト

# レポート・リストの印刷

本機では、設定によって、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

| No | レポート・リスト | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 機能案内 | 簡単操作リストを印刷します。 |
| 2 | 電話帳（ダイヤル）リスト | 短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている内容を印刷します。 |
| 3 | 送信レポート | 送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。 |
| 4 | 通信管理レポート | 送信・受信した最新の 200 通信分の結果を印刷します。 |
| 5 | 設定内容リスト | 各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。 |
| 6 | ご注文シート | インクカートリッジなどの消耗品をファクスで注文するときのご注文シートを印刷します。 |
| 7 | 着信履歴リスト | 着信した履歴を印刷します。 |

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。

- タイマー通信レポート
  タイマー通信が終了すると印刷されます。
- ポーリングレポート
  ポーリング送信が終了すると印刷されます。
- 同報送信レポート
  順次同報送信が終了すると印刷されます。

注意

■ 電源を抜いたときや停電のときは、レポートおよびリストの内容が消去されてしまいます。ご注意ください。。

## 機能案内を印刷する

各種機能に登録・設定されている内容を確認するときに印刷します。

   を押し、モノクロスタート  を押します。

## 電話帳（ダイヤル）リストを印刷する

短縮ダイヤル・グループダイヤルに登録されている内容を、登録番号順に印刷します。

   を押し、モノクロスタート  を押します。

## 送信レポートを印刷する

送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。

   を押し、モノクロスタート  を押します。

## 通信管理レポートを印刷する

送信・受信した最新の 200 通信分の結果を印刷します。

    を押し、モノクロスタート  を押します。

## 設定内容リストを印刷する

各種機能に登録・設定されている内容を確認するときに印刷します。

     を押し、モノクロスタート  を押します。

## ご注文シートを印刷する

インクカートリッジなどの消耗品をファクスで注文するときのご注文シートを印刷します。

を押し、
モノクロスタート
を押します。

## 着信履歴リストを印刷する

着信履歴を印刷します。

を押し、
モノクロスタート
を押します。

補足

- 着信履歴リストは「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約が必要です。
- 着信履歴リストはナンバー・ディスプレイを「On」に設定されたときのみ利用できます。P. 68
- 着信履歴リストは最大 30 件まで印刷できます。

# 送信レポートの出力の設定をする

送信レポートを自動的に印刷するときの設定を変更することができます。

**1**   を押します。

1. ソウシン レポート

**2** で印刷する送信レポートの出力設定を選択します。

「On」「On+イメージ」「Off」「Off+イメージ」の中から選択します。

ソウシン：On

**3**  を押します。

ウケツケマシタ

**4** 停止/終了 を押して終了します。

補足

- 印刷する送信レポートの出力設定は、以下の 4 種類の中から選びます。お買い上げ時は「Off +イメージ」に設定されています。

| | |
|---|---|
| On： | 送信後に毎回自動的に印刷します。 |
| On+イメージ： | 「On」の動作に加えて、ファクスの 1 ページ目の画像も表示されます。 |
| Off： | 通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的にプリントします。 |
| Off+イメージ： | 「Off」の動作に加えて、ファクスの 1 ページ目の画像も表示されます。 |

- リアルタイム送信時には画像は出力されません。

## 通信管理レポートの出力間隔を設定する

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

 2 4 2 を押します。

`2.ツウシン カンリ カンカク`

**2**

▲▼で間隔を設定し、を押します。

「ﾚﾎﾟｰﾄｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ」「50 ｹﾝ ｺﾞﾄ」「6 ｼﾞ ｶﾝｺﾞﾄ」「12 ｼﾞ ｶﾝｺﾞﾄ」「24 ｼﾞ ｶﾝｺﾞﾄ」「2 ｶ ｺﾞﾄ」(2日ごと)「7 ｶ ｺﾞﾄ」(7日ごと)の中から選択します。

`24 ｼﾞ ｶﾝｺﾞﾄ`

開始時間を入力し、を押します。

`ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ:00:00`

`ｳｹﾂｹﾏｼﾀ`

停止/終了

を押して終了します。

補足

- お買い上げ時は、「50 ｹﾝ ｺﾞﾄ」に設定されています。
- 「ﾚﾎﾟｰﾄｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ」に設定したときは、必要なときにMenu/Set 5 4を押すとプリントすることができます。このとき通信管理レポート内容はクリアされません。
- 「ﾚﾎﾟｰﾄｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ」以外に設定したときは開始時間を基準にプリントします。このとき通信管理レポートの内容はメモリーからクリアされます。
- 手順2で「7日ごと」を設定した場合、Menu/Setを押した後に曜日の設定になります。

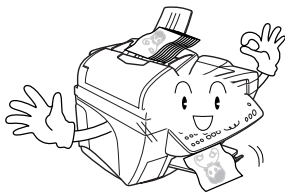
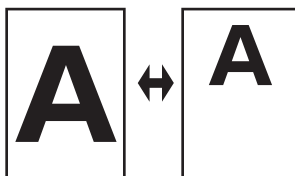
# 8章

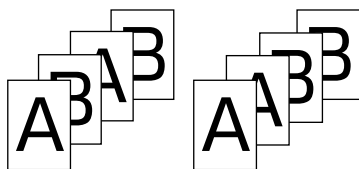
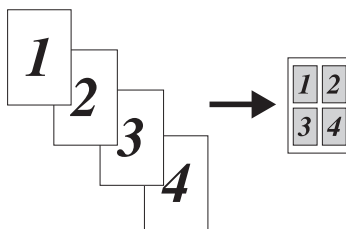
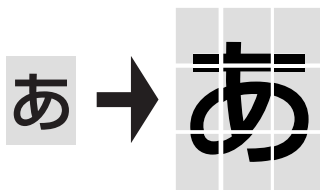
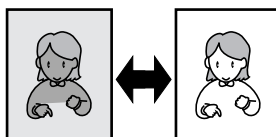
# コピー

# コピーをする前に

## コピー機能について

本機には以下のコピー機能が備わっています。利用目的に合わせてお使いください。

たくさんの文書を連続コピーできます。（ADF：自動原稿送り装置）P. 144

拡大・縮小コピーができます。P. 150

ソートコピー・スタックコピーができます。P. 157

ソートコピー　スタックコピー

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙にまとめてコピーできます。（2 in 1、4 in 1）P. 159

ポスターサイズにコピーできます。P. 159

明るさを調整してコピーできます。P. 155

画質をきれいにコピーできます。P. 151 P. 152

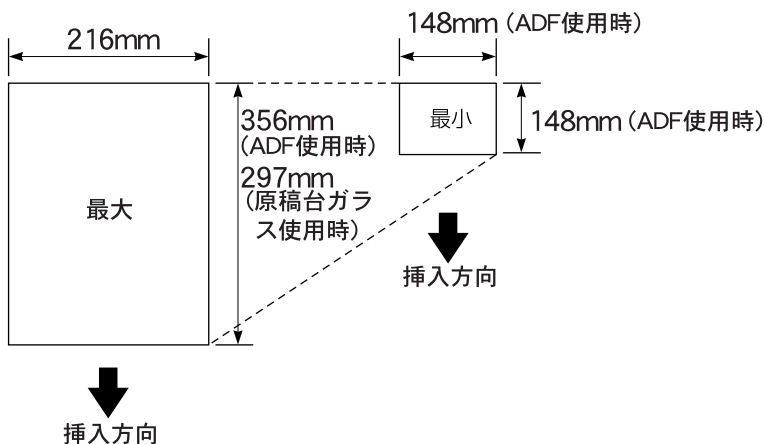
色を調整できます。
（カラー調整）P. 164

| | |
|---|---|
| 赤 | R:− □■□□□ + |
| 緑 | G:− □□□■□ + |
| 青 | B:− □■□□□ + |

補足

- 原稿を ADF（自動原稿送り装置）、または原稿台ガラスにセットしてコピーします。
- 特に濃い、または薄い文字の原稿をコピーするときは、原稿濃度を変更してからコピーしてください。P. 155 P. 164
- コピー（特にカラーの場合）を使用する場合は、記録紙の選択が品質に大きな影響を与えます。推奨紙をお使いください。記録紙の詳細は P. 36 を参照してください。
- 通常、コピー用紙は A4 をお使いください。
- 原稿がはがきの場合、ADF（自動原稿送り装置）からコピーすることはできません。

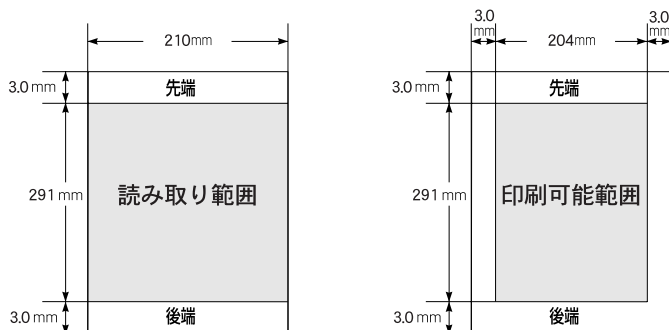
## 原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機で拡大・縮小コピーしてからセットしてください。小さすぎる原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

| | |
|---|---|
| 厚さ | ：0.08mm ～ 0.12mm<br>（ADF（自動原稿送り装置）使用時） |
| 秤量 | ：64g/m$^2$ ～ 90g/m$^2$<br>（ADF（自動原稿送り装置）使用時） |
| 最大厚み | ：30mm（原稿台ガラス使用時） |
| 最大質量 | ：2kg（原稿台ガラス使用時） |

補足

- 原稿の種類や形状に応じて、ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスのどちらでコピーするかを選択してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿があるときは ADF からコピーされます。ADF に原稿がないときは原稿台ガラスからコピーされます。
- 原稿サイズは概算値ですので、目安としてお使いください。
- 原稿がはがきの場合、ADF（自動原稿送り装置）からコピーすることはできません。

# コピー範囲

コピー倍率が 100%の場合の A4（210 × 297mm）サイズのコピーの読み取り範囲、印刷可能範囲を次に示します。

- コピー時の読み取り範囲の最大幅は 210mm ですが、印刷可能範囲の最大幅が 204mm のため、コピー倍率が 100% の場合の A4 サイズの印刷可能範囲は 204mm × 291mm となります。なお、各数値は概算値です。目安として参考にしてください。

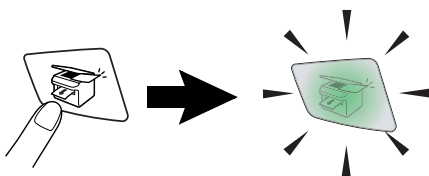
注意

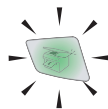
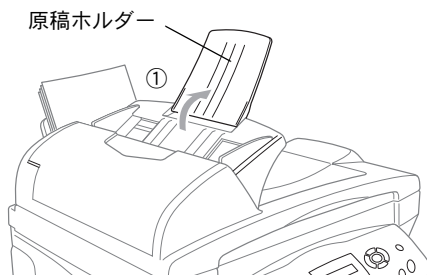
■ 法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

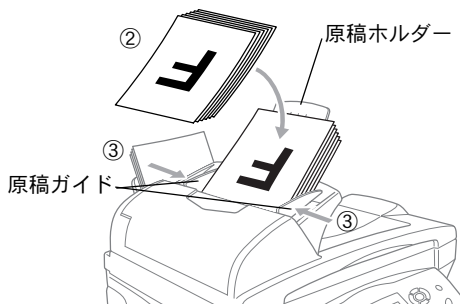
- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手や官製ハガキ
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

# コピーをする

## コピーモードにする

コピーをするにはボタンが緑色に点灯してコピーモードになっていることを確認してください。
もし、緑色に点灯していないときは、ボタンを押してコピーモードにします。コピーをしないと、設定されているモードタイマーP. 61時間後、自動的にファクスモードに戻ります。

## ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーする

**1** ボタンが緑色に点灯していないときはボタンを押します。

**2** 原稿ホルダーをを開きます。（①）

**3** 原稿を表向きにして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込んでください（②）。

原稿は一度に 20 枚までセットできます。

**4** 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます（③）。

**5** コピーしたい部数を入力します。

1 部だけコピーする場合は、部数を入力せずに手順 6 に進んでください。

**6** カラースタート  か モノクロスタート を押すと、コピーが開始されます。

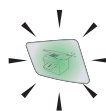
補足

- ADF（自動原稿送り装置）に複数の原稿をセットすることで、連続してコピーすることができます。
- コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまったときは P. 171 を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは 停止/終了 を押してください。
- 原稿台ガラスは常にきれいにしておきましょう。汚れていると、きれいなコピーができません。
- ADF（自動原稿送り装置）からコピーするときは、原稿台ガラスには原稿を置かないでください。

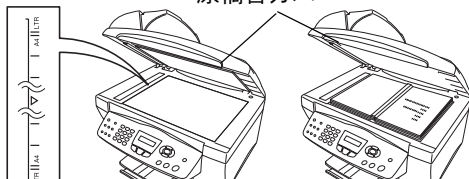
■ ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。

■ キャリアシートにセットした原稿は、原稿台ガラスからコピーしてください。

# 原稿台ガラスからコピーする

**1**  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押します。

**2** 原稿台カバーを持ち上げます。

**3** 左側の原稿ガイドを利用して、原稿台ガラスの中央に原稿を裏向きにセットします。

**4** 原稿台カバーを閉じます。

原稿台ガラスに原稿を裏向きにセットします。

**5** コピーしたい部数を入力します。

1 部だけコピーする場合は、部数を入力せずに手順 6 に進んでください。

**6** カラースタート か モノクロスタート を押すと、コピーが開始されます。

補足

- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- 原稿台ガラスは常にきれいにしておきましょう。汚れていると、きれいなコピーができません。
- コピー枚数の取り消しは 停止/終了 を押してください。
- 原稿台ガラスからコピーするときは、ADF（自動原稿送り装置）には原稿を置かないでください。

## 「メモリーガ　イッパイデス」と表示されたときは

コピー中に本機内部のメモリーがいっぱいになると、液晶ディスプレイに次の内容が表示されます。

ﾒﾓﾘｰｶﾞ　ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ

このときは 停止/終了  を押すとキャンセルされます。

ただし、印刷していない文書がメモリーに残っているときは、キャンセルする前に印刷してください。

### コピーで使用できるメモリーを増やすには

以下のいずれかの方法でコピー時に使用できるメモリーを増やすことができます。

- ファクスのメモリー受信機能を「Ｏｆｆ」に設定します。P. 121
- メモリーに受信したファクスを印刷します。P. 122

補足

● 「メモリーガ　イッパイデス」のメッセージが表示されたとき、メモリーを確保するためにまず受信したファクスを印刷すれば、コピーすることができます。

## コピーの設定：一時的に設定する

次のボタンを使用することで、コピーに関する設定内容を一時的に変更することができます。

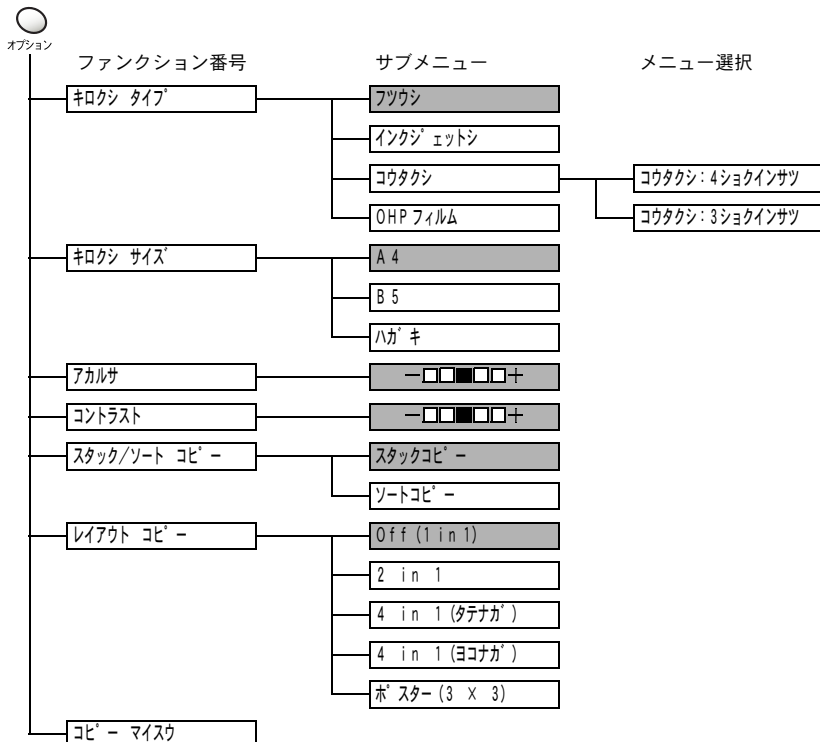
拡大/縮小：コピーの倍率を設定します。

コピー画質：コピーの画質を設定します。

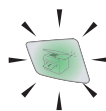
オプション：記録紙のタイプやコピーの明るさなどを設定します。

上記のボタンによる設定は一時的なものであり、コピーが終了してから 60 秒後にクリアされます。

オプション で設定できる内容について以下に示します。

補足

- 拡大/縮小 か コピー画質 で一時設定した場合は、サブメニューで設定／選択後、Menu Set を押すと、液晶ディスプレイには「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ オス」が 2 秒間表示され、待機画面に戻ります。60 秒間は一時設定を保持します。
- オプション の場合は、サブメニューで設定／選択後、Menu Set を押すと、液晶ディスプレイには「ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ オス」が 2 秒間表示され、設定項目を選択する画面に戻ります。

  続けて、他の設定をする場合は、▲▼で設定する項目を選択します。設定を終了する場合は カラースタート か モノクロスタート を押して、コピーを開始してください。
- よく使う設定を変更する場合は P. 162 を参照してください。

# 拡大・縮小コピーをする

倍率を変えてコピーすることができます。

ボタンが緑色に点灯していないときは、ボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

**3** 拡大/縮小を押し ▲▼ で倍率を選択します。

50%

倍率は以下の中から選択します。

- 46% A4→ハガキ
- 50%
- 77% Lバンヨコ→ハガキ
- 86% A4→B5
- 100%
- 113% Lバンタテ→ハガキ
- 115% B5→A4
- 200%
- カスタム（25−400%）

L判サイズ（89mm × 127mm）は日本の写真プリントの標準的サイズ（サービスプリントL）です。

「カスタム（25−400%）」を選択した場合はダイヤルボタンで入力します。

を押します。

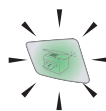
カラースタート  か モノクロスタート  を押すと、コピーが開始されます。

補足

- 原稿によっては一部が欠ける場合があります。

# コピーの画質を変更する

画質を変えてコピーすることができます。

**1** ボタンが緑色に点灯していないときはボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

**3** （コピー画質）を押しでコピーの画質を選択します。

コウソク

「コウソク」「ヒョウジ゛ュン」「コウカ゛シツ」の中から選択します。

**4** Menu Set を押します。

**5** （カラースタート）か（モノクロスタート）を押すと、コピーが開始されます。

補足

- お買い上げ時は「ヒョウジ゛ュン」に設定されています。
- コピーの画質は次の 3 つから選択できます。

| 画　質 | 内　容 |
|---|---|
| ヒョウジ゛ュン | 通常のコピーに適したモードです。 |
| コウソク | コピー速度が速く、またインクの消費を抑えたモードです。 |
| コウカ゛シツ | 写真のような繊細な画像をコピーするときに使用します。コピー速度は遅めですが、高い解像度でコピーします。 |

## コピー枚数を設定する

コピー枚数を 1 ～ 99 部まで設定できます。

 ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットして (オプション) を押します。

 で「コピ゜ ー マイスウ」を選択して Menu Set を押します。

コピ゜ ー マイスウ

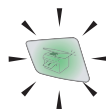
コピー枚数を入力して Menu Set を押します。

カラースタート  か モノクロスタート を押すと、コピーが開始されます。

● コピー枚数の設定は、原稿をセットしたのち、直接、部数を入力することもできます。

## 記録紙を変更する

使用する記録紙に合わせて 4 種類の設定ができます。
お使いの記録紙に合わせて選択してください。
本機が記録紙に合った最適な方法でコピーします。

 ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットして (オプション) を押します。

**3** で「キロクシ タイプ゜」を選択します。

| キロクシ タイプ゜ ▲▼ |
|---|

**4** Menu Set を押し で記録紙を選択します。

| フツウシ ▲▼ |
|---|

「フツウシ」、「インクジ゛ェットシ」、「コウタクシ」、「OHP フィルム」の中から選びます。

**5** Menu Set を押します。

**6** カラースタート  か モノクロスタート を押すと、コピーが開始されます。

補足

- 「コウタクシ」を選んだ場合は、で「コウタクシ：4 ショクインサツ」か「コウタクシ：3 ショクインサツ」をさらに選ぶことができます。

  コウタクシ：4 ショクインサツ：4 色のインクカートリッジ（ブラック、シアン、イエロー、マゼンタ）のすべてを使用します。光沢紙に印刷する場合、通常はこちらを選択してください。

  コウタクシ：3 ショクインサツ：3 色のインクカートリッジ（シアン、イエロー、マゼンタ）を使用します。この場合、黒色は、3 色のインクカートリッジを混ぜ合わせて表現されます。ご使用の光沢紙でブラックインクの乾きが悪い場合にこちらを選択してください。
- 記録紙についての詳細はP. 36を参照してください。
- カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書などをコピーするときは、「インクジ゛ェットシ」を選択することでよりきれいにコピーできます。
- 写真のような高画質なものをコピーする場合は、「コウタクシ」を選択することでよりきれいにコピーできます。

## 記録紙のサイズを変更する

使用する記録紙のサイズを設定します。

ボタンが緑色に点灯していないときは（コピー）ボタンを押します。

2

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットして（オプション）を押します。

で「キロクシ　サイズ゛」を選択します。

| キロクシ　サイズ゛ |
|---|

を押し▲▼で記録紙のサイズを選択します。

「A4」「B5」「ハカ゛キ」の中から選びます。

| A 4 |
|---|

を押します。

カラースタート か モノクロスタート  を押すと、コピーが開始されます。

## コピーの明るさを調整する

コピーの明るさを変えることができます。

 ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押します。

**2**

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットして（オプション）を押します。

 で「アカルサ」を選択します。

**4**

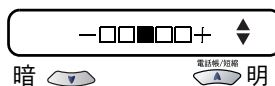
 を押し ▲▼ で明るさを調整します。

−□□■□□+

暗  電話帳/短縮 ▲ 明

**5**

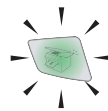
 を押します。


**6**

カラースタート  か モノクロスタート を押すと、コピーが開始されます。

## コントラスト（色の濃度）を調整する

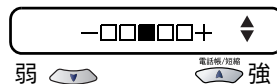
コピーのコントラストを変えることができます。

ボタンが緑色に点灯していないときはボタンを押します。

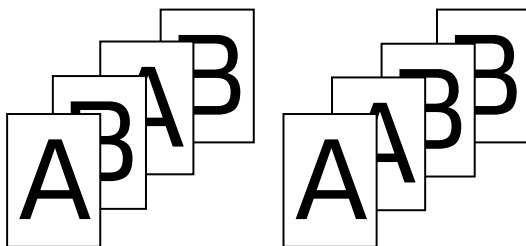
2

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットして オプション を押します。

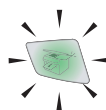
で「コントラスト」を選択します。

コントラスト

を押し でコントラストを調整します。

を押します。

カラースタート  か モノクロスタート  を押すと、コピーが開始されます。

# スタックコピーかソートコピーかを設定する

複数のコピーを仕分けしてコピーするか（ソートコピー）、そのまま枚数分を順にコピーするか（スタックコピー）を設定します。

**1**  ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

**3** コピー枚数を入力します。

**4** （オプション）を押します。

**5** ▲▼で「スタック/ソート　コピー」を選択して、（Menu Set）を押します。

スタック/ソート　コピー

**6** ▲▼で「スタックコピー」または「ソートコピー」を選択して、（Menu Set）を押します。

スタックコピー

☞ 次ページへ続く

か
を押すと、設定した内容でコピーが開始されます。

補足

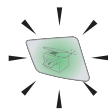
- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- コピー枚数を間違えて入力した場合は、停止/終了を押して手順 2 からやり直してください。
- 1 枚の原稿がメモリーに入り切らないときは、複数部コピーはできません。1 枚コピーを繰り返してください。
- コピー中に記録紙がなくなったときは、記録紙をセットして カラースタート か モノクロスタート を押せば、コピーは続けられます。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまったときは P. 171 を参照してください。

■ 原稿の読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは 停止/終了 を押してコピーを停止させて、キャンセルするか、カラースタート か モノクロスタート を 1 回押して、メモリーに読み込まれた原稿のみコピーします。残りの原稿はもう一度コピーし直してください。

■ メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリーの残量に注意してください。

# レイアウトコピー

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚にコピーしたり、写真をポスターサイズにコピーすることができます。

 ボタンが緑色に点灯していないときは  ボタンを押します。

**2** ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

**3** コピー枚数を入力します。

1 部のときは枚数を入力しないで次の手順に進んでください。

**4** オプション を押します。

**5** ▲▼ で「レイアウト　コピー」を選択します。

レイアウト　コピー

**6**  を押し ▲▼ で希望するレイアウトを選択します。

2　in　1

「Off（1　in　1）」「2　in　1」
「4　in　1（タテナガ）」「4　in　1（ヨコナガ）」
「ポスター（3　×　3）」の中から選びます。

**7**  を押します。

**8** カラースタート  か モノクロスタート  を押します。

- ADF（自動原稿送り装置）からコピーする場合は、コピーが開始されます。
- 原稿ガラスからコピーする場合は、次の手順に進んでください。

☞ 次ページへ続く

## 9

を押します。

ﾂｷﾞ ﾉ ｹﾞﾝｺｳｱﾘﾏｽｶ?
1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ

## 10

原稿台ガラスに次の原稿をセットして、Menu Set を押します。

スキャンを開始します（各原稿についてこれを繰り返します）。

ﾂｷﾞ ﾉｹﾞﾝｺｳｦ ｾｯﾄｼﾃ
ｾｯﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

## 11

すべての原稿がスキャンできたら、2 または カラースタート か モノクロスタート を押します。

コピーが開始されます。

ﾂｷﾞ ﾉ ｹﾞﾝｺｳｱﾘﾏｽｶ?
1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ

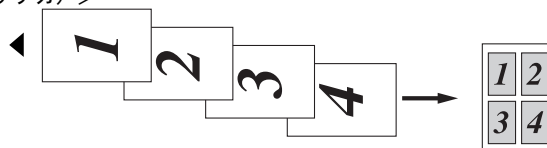
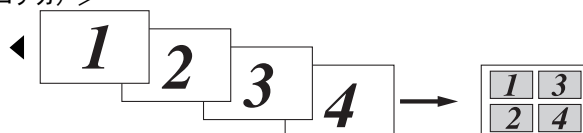
補足

● レイアウトコピーの選択項目として、「2 in 1」、「4 in 1 (ﾀﾃﾅｶﾞ)」、「4 in 1 (ﾖｺﾅｶﾞ)」、「ﾎﾟｽﾀｰ (3 × 3)」の 4 種類があります。以下にそれぞれのイメージを示します。

＜ **2 in 1** ＞

＜ **4 in 1**（タテナガ）＞

＜ **4 in 1**（ヨコナガ）＞

補足

<ポスター（3 × 3）>

● ポスターコピーは 1 枚の原稿を 9 分割して拡大し、それぞれを 9 枚の記録紙にコピーをします。つなぎ合わせると元原稿の 9 倍サイズのコピーを作成できます。ポスターコピーをする場合は、記録紙トレイに記録紙が 9 枚以上あることを確認してください。

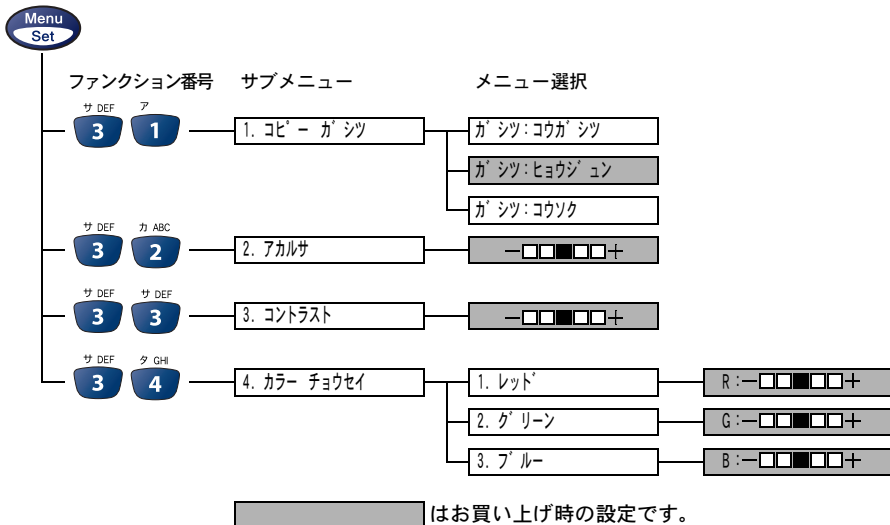
注意

■ 記録紙サイズは「A4」を選択してください。

■ ポスターコピーをする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

## コピーの設定：設定内容を保持する

お買い上げ時の本機の設定を変更することができます。変更された内容は、次にコピーをするときにも有効です。

一時的に設定内容を変更する場合はP. 148を参照してください。。

## 画質を変更する

「画質」を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

を押します。

1. コピー ガシツ

で画質を選択し、を押します。

「コウガシツ」、「ヒョウジュン」、「コウソク」の中から選択します。

停止/終了 を押して終了します。

- 画質は、お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。

## 明るさを変更する

「明るさ」を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

を押します。

2. アカルサ

で明るさを調整し、Menu/Set を押します。

停止/終了 を押して終了します。

補足

- 電話帳/短縮 を押すと、より明るくなります。

暗   電話帳/短縮 明

## コントラスト（色の濃度）を調整する

「コントラスト」を調整します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

**1** Menu/Set 3 3 を押します。

3. コントラスト

**2** ▲/▼ でコントラストを調整し、Menu/Set を押します。

**3** 停止/終了 を押して終了します。

補足

- 電話帳/短縮▲を押すと、よりコントラストが強くなります。

弱 ▼ −□□■□□＋ 電話帳/短縮▲ 強

## カラーを調整する

レッド（赤）、グリーン（緑）、ブルー（青）各色のバランスを調整します。ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

**1** Menu/Set 3 4 を押します。

4. カラー チョウセイ

**2** ▲/▼ で調整したいカラーを選択し、Menu/Set を押します。

「1. レッド」「2. グリーン」「3. ブルー」の中から選びます。

**3** ▲/▼ でカラーバランスを選択し、Menu/Set を押します。

**4** 停止/終了 を押して終了します。

補足

- 「レッド（赤）」を選んだ場合を例にして説明します。電話帳/短縮▲を押すと赤味が増します。

少 ▼ R：−□□■□□＋ 電話帳/短縮▲ 多

9章

# 日常のお手入れ

# インクカートリッジの交換

## インクカートリッジ交換のメッセージ

本機はインクカートリッジのインク残量を光学センサーにより自動的に検知し、残量が少なくなると液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。
インクカートリッジが残り少なくなると、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ﾏﾓﾅｸｲﾝｸｷﾞﾚ ﾌﾞﾗｯｸ

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

一度この表示になるとインクカートリッジを交換しないとプリントやコピーができなくなります。液晶ディスプレイの表示に従って正しい順序でインクを交換してください。

補足

- インクが残り少なくなると文字のカスレ等が発生しやすくなります。「ﾏﾓﾅｸｲﾝｸｷﾞﾚ」のメッセージが表示されたらできるだけ早くカートリッジを交換してください。
- 液晶ディスプレイにはどの色がなくなったか表示されます。
- 一般的なご使用の場合、黒かイエローが 1 番早くなくなります。ただし印字内容にもよります。
- お近くでインクカートリッジが手に入らないときは巻末のご注文シートをご利用ください。

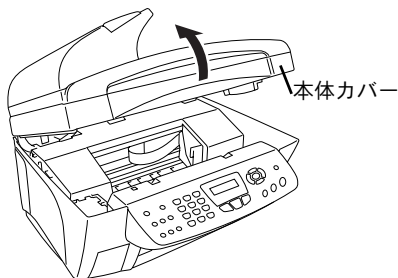
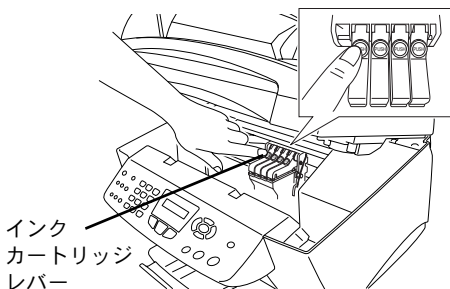
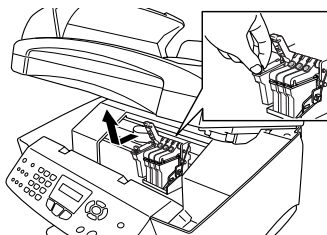
# インクカートリッジ交換のしかた

**1** インクカートリッジ を押します。

**2** ▲ ▼ で「インクコウカン」を選択します。

インクコウカン

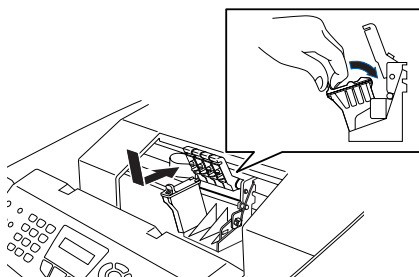
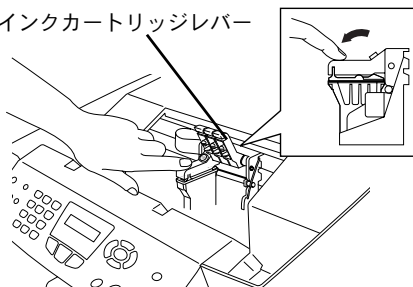
**3**  を押します。

**4** ロックする位置まで、本体カバーを開きます。

**5** 空になったインクカートリッジのレバーのPUSH 部分を押して開きます。

**6** インクを取り出します。

☞ 次ページへ続く

**7** 液晶ディスプレイに表示された色の交換用のインクカートリッジを袋から取り出し、インクカートリッジの底から、ゆっくりと密封テープを矢印の方向にはがします。

このとき、テープは自分と反対側の方向に向けてください。
インクがこぼれたり、手や衣服に付かないように、密封テープは慎重にはがしてください。また、カートリッジのインク開口部やはがしたテープには手を触れないでください。

**8** インクカートリッジをインクカートリッジ取り付け位置にゆっくりと取り付けます。

色ごとにインクカートリッジをセットする位置が決まっています。

**9** インクカートリッジレバーを「カチッ」と音がするまで押し下げます。

**10** 本体カバーをゆっくり閉じます。

**11** 液晶ディスプレイにブラック（シアン / イエロー / マゼンタ）インクカートリッジを外したかを確認するメッセージが表示されます。

- ブラック→シアン→イエロー→マゼンタの順に４色とも確認メッセージが表示されます。
- 外した場合は 1 を押し、手順 12 へ進みます。
- 外していない場合は 2 を押し、手順 13 へ進みます。

インク ヲ ハズ゛シマシタカ

フ゛ラック 1.ハイ 2.イイエ

**12** 液晶ディスプレイにブラック（シアン / イエロー / マゼンタ）インクカートリッジを交換したかを確認するメッセージが表示されます。

- 交換した場合は 1 を押し、手順 13 へ進みます。
- 交換していない場合は 2 を押し、手順 14 へ進みます。

インク ヲ コウカンシマシタカ

フ゛ラック 1.ハイ 2.イイエ

**13** 手順 11、12 と同様に各色について順に確認メッセージが表示されます。４色とも確認が終了したら手順 14 へ進みます。

**14** クリーニングが始まります。クリーニングが終了すると使用できるようになります。

クリーニンク゛チュウ

オマチクタ゛サイ

補足

- 「ｲﾝｸｷﾞﾚ ﾌﾞﾗｯｸ」「ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示された場合は、手順 4 からスタートしてください。
- カートリッジレバーの色に合わせてインクカートリッジを取り付けます。
- インクカートリッジの密封テープをはがすとき、インクカートリッジを振らないでください。インクがこぼれることがあります。
- 間違った色のインクカートリッジを取り付けた場合、正しい色のインクカートリッジを取り付けて、使用前に数度クリーニングを実行してください。
- カートリッジの取り付けについての詳細は「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- 必要なとき以外はインクカートリッジを取り出さないでください。インク品質を損なうことがあります。さらに本機がカートリッジのインク残量を把握できなくなります。
- インクカートリッジは開封後、6 か月以内に使い切ってください。また、開封前の物は品質保証期限までにご使用ください。
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。インクヘッドに障害を与える可能性があります。また、保証の対象外となります。
- 新品のカートリッジに交換した場合は、手順 12 で交換した各色のインクドットカウンターをリセットします。ここで 1 を押さないとインクの残量を正しく表示できません。交換しない場合は、必ず 2 を押してください。2 を押さないと、交換していない色のインクドットカウンターがリセットされてしまいます。
- 指定のブラザーインクカートリッジのみご使用ください。
  ブラザー指定以外のインクカートリッジの使用による損傷は保証の対象外になります。

## 警告

誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

# 紙づまりについて

## 紙づまりのときのメッセージ

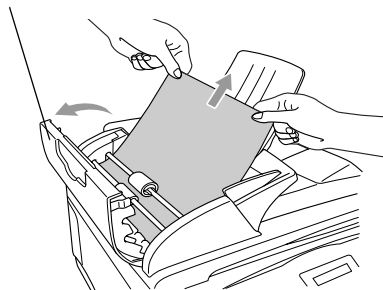
紙づまりのときは、ブザーが鳴り、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

| | |
|---|---|
| 原稿がつまったとき | ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ<br>↕<br>ｹﾞﾝｺｳｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ |
| 記録紙がつまったとき | ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ<br>↕<br>ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｷﾛｸｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ |

## ADF（自動原稿送り装置）の入り口で原稿がつまったときは

**1** 送り込まれていない原稿を取ります。

**2** ADF（自動原稿送り装置）カバーを開きます。

**3** つまった原稿を右側に引いて取り除きます。

**4** ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じます。

**5** 停止/終了 を押して終了します。

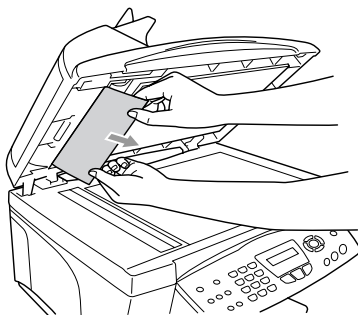
## ADF（自動原稿送り装置）内で原稿がつまったときは

**1** ADF（自動原稿送り装置）からつまっていない原稿を取ります。

**2** 原稿台カバーを開きます。

**3** つまった原稿を右側に引き出します。

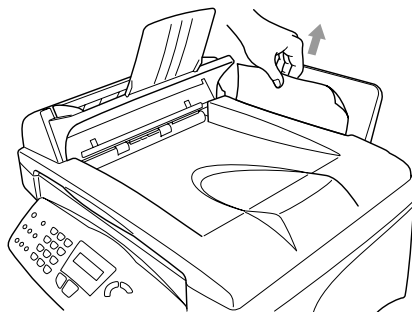
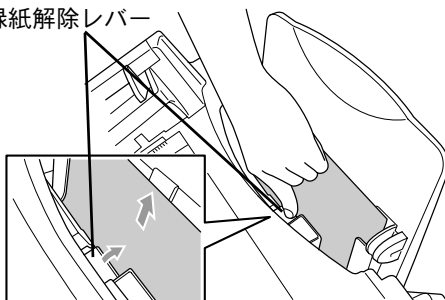
**4** 原稿台カバーを閉じます。

**5** 停止/終了 を押して終了します。

## 記録紙トレイに記録紙がつまったときは

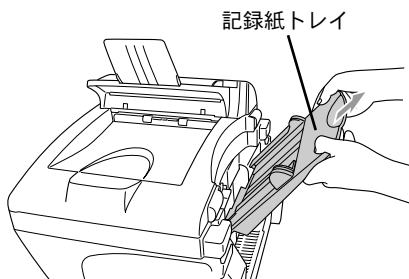
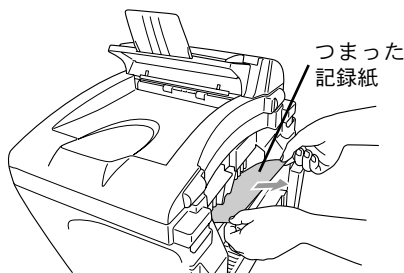
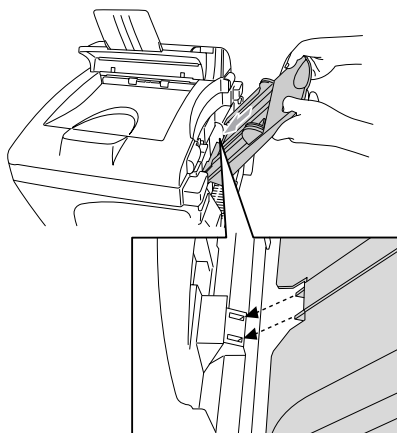
**1** 記録紙トレイに残った記録紙を取り除きます。

**2** つまった記録紙をつまみ、記録紙トレイから引き出します。

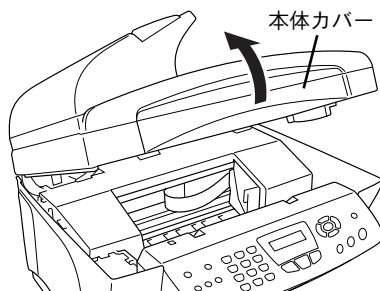
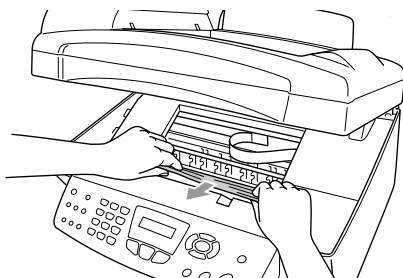
**3** 本体カバーを開閉します。

補足

- つまった紙を取り除くのが困難な場合は、記録紙解除レバーを押しながら用紙を引き出してください。

- 記録紙つまりが繰り返し起こる場合は、記録紙の上下の向きを反対にして、再試行してみてください。

## 記録紙トレイ内に記録紙がつまったときは

**1** 記録紙トレイを取り外します。

**2** つまった記録紙を取り除きます。

3 記録紙トレイをもとに戻します。

4 本体カバーを開閉します。

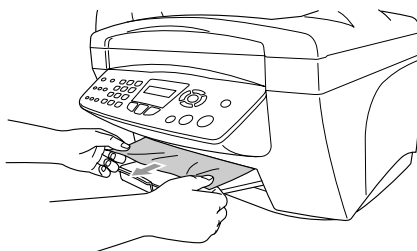
## 内部で記録紙がつまったときは

1 ロックする位置まで、本体カバーを開きます。

2 つまった記録紙を引き出します。

**3** 本体カバーをゆっくり閉じます。

補足

- 記録紙がプリントヘッドの下でつまった場合は、一度電源コードを電源プラグから抜いて、差し直してください。プリントヘッドが移動して、記録紙が引き出しやすくなります。
- 記録紙つまりが繰り返し発生するときは、装置内に破れた記録紙などが残っていないか確認してください。

## 内部の前面側で記録紙がつまったときは

**1** つまった記録紙を手前に引き出します。

**2** 本体カバーを開閉します。

# 本体の掃除

注意

■ 操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

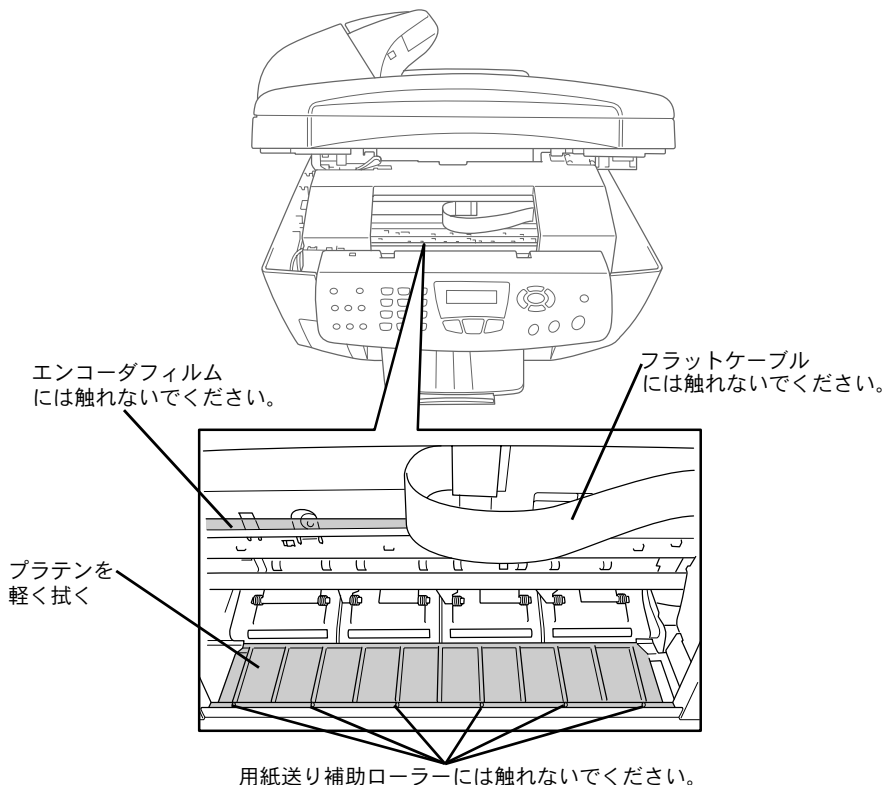
## キャビネット内部のお手入れ

記録紙の裏面が汚れる場合には、プラテンを固く絞った布できれいに拭きます。

エンコーダフィルム
には触れないでください。

フラットケーブル
には触れないでください。

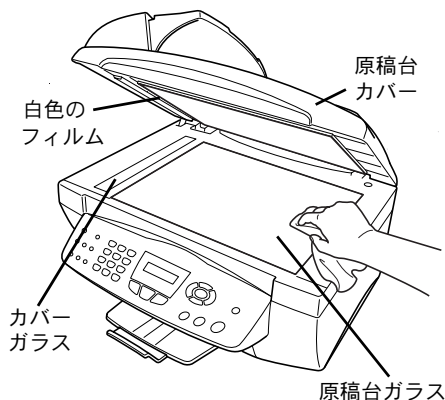
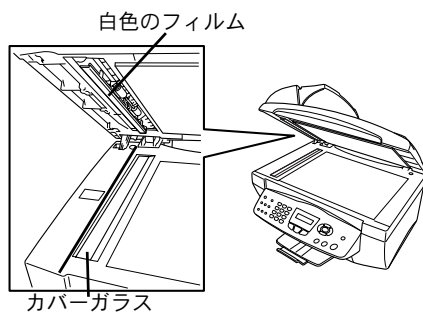
プラテンを
軽く拭く

用紙送り補助ローラーには触れないでください。

■ 用紙送り補助ローラー、フラットケーブルおよびエンコーダフィルムには絶対にさわらないでください。

■ 内部のお手入れをするときは、必ず電源コードをコンセントから抜き取ってから行ってください。

# 原稿台ガラス（読み取り部）のお手入れ

いつもきれいな画質を得るために読み取り部の清掃を行ってください。読み取り部が汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、読み取り部を清掃してください。

本機の電源コードを抜いて、原稿台カバーを上げます。

2 柔らかい布に OA クリーナーを浸して、原稿台ガラス、原稿押さえ（白色のフィルム)、カバーガラスをきれいに拭きます。

原稿台カバーを閉じます。

補足
- 無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーなどをご使用ください。

# 印字品質を調整する

## プリントヘッドをクリーニングする

プリントの画質に問題があるときは、ヘッドクリーニングをお奨めします。

**1** インクカートリッジ を押します。

**2** ▲▼で「ﾍｯﾄﾞ　ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ」を選択し、Menu Set を押します。

ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ▲▼

**3** ▲▼でクリーニングしたい色を選択します。

ﾌﾞﾗｯｸ/ｼｱﾝ ▲▼

**4** Menu Set を押します。

ヘッドクリーニングが開始されます。

補足

- ヘッドクリーニングは、プリントした画像に横縞が目立つときなどにご利用ください。
- ヘッドクリーニングは、2 色のみクリーニングすると、約 1 分 20 秒かかります。全色クリーニングすると約 2 分かかります。
- 一度に 2 色（ブラック / シアン、イエロー / マゼンタ）、または 4 色同時にクリーニングできます。
- ブラック、シアン、イエロー、マゼンタ 4 色同時にクリーニングする場合は、手順 3 で「ｾﾞﾝｼｮｸ」を選択します。
- 1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しないときは再度行ってください。
- ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口「0120-143410」へご連絡ください。
- ヘッドクリーニングを行うと、ある程度インクが消耗します。

■ プリントヘッドは手で拭かないでください。

# 印字品質のチェックと印刷ズレを補正する

印字品質が良くない場合は、テスト印刷をして印字品質を確認できます。テスト印刷を行うと、印刷品質チェックシートが印刷されます。
印刷品質チェックシートを見ながら、ステップ A とステップ B でそれぞれ印刷品質のチェックと印刷ズレの補正を行います。

  を押します。

カラースタート  か モノクロスタート  を押します。

**3** チェック方法は「かんたん設置ガイド」の「印刷品質をチェックします」を参照してください。

# インクカートリッジの残量をチェックする

インクカートリッジのインク残量をチェックすることができます。

**1** インクカートリッジ を押します。

▲▼で「ｲﾝｸ ｻﾞﾝﾘｮｳ」を選択し、 を押します。

```
ｲﾝｸ ｻﾞﾝﾘｮｳ
```

▲▼で確認したい色を選択します。

```
Bk：－□□□■□□□＋
```

液晶ディスプレイにインクカートリッジの残量が表示されます。

**4** 停止/終了  を押します。

補足

- パソコンからもインク残量をチェックすることができます。「パソコン活用編」の「リモートセットアップ」を参照してください。

本書の使い方・目次 / 各部の名称とはたらき / ご使用前の準備 / ご使用前の基本設定 / ファクス送信 / ファクス受信 / ファクスの応用機能 / レポート・リスト / コピー / 日常のお手入れ / 困ったときは / 付録

10章

# 困ったときには

# 困ったときには

## こんなときには

本機をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。それでも問題が解決しないときは

お客様相談窓口
(コールセンター) 0120-143410

へご連絡ください。

## エラーメッセージ

本機や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに処置方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された処置方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口0120-143410 へ連絡してください。

| 液晶ディスプレイ表示 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| ｱｲﾃｻｷ ｶｸﾆﾝ | ファクス信号に応答しません。<br>ポーリング先が応答しません。<br>ポーリング設定が間違っています。<br>パスワードが間違っています。 | 相手先を確認してください。<br>ポーリングのパスワードを確認してください。<br>P. 115 P. 119 |
| ｲﾝｸｷﾞﾚ（ｼｱﾝ、ｲｴﾛｰ、<br>ﾏｾﾞﾝﾀ、ﾌﾞﾗｯｸ）<br>ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ | インクがありません。 | 液晶ディスプレイに表示されている色のインクカートリッジを交換してください。P. 166 |
| ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ | インクカートリッジが装着されていません。 | インクカートリッジを装着してください。<br>「かんたん設置ガイド」参照。 |
| ｶｲｾﾝｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 電話機コードが接続されていません（または接続するのが遅かった）。<br>ADSL の IP フォンに接続されています。<br>PBX に接続されています。<br>マンションアダプタ回線に接続されています。 | 電話回線に接続しないで使用する場合は、「ｼﾞﾄﾞｳｾｯﾃｲ」以外に設定してください。 |
| ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ<br>ｶﾊﾞｰ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ | 本体カバーが完全に閉じていません。 | 本体カバーを一度開け、再度閉じてください。 |
| ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ | 機械内部で記録紙などがつまりました。 | 本体カバーを開け、記録紙を取り除き、本体カバーを閉じてください。<br>P. 174 |
| ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ<br>ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｷﾛｸｼｦ<br>ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ | 記録紙がつまりました。 | 本体カバーを開けてつまった記録紙を取り除いてください。P. 174 |
| ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ<br>ｷﾛｸｼｦｾｯﾄｼﾃ ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ<br>ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 記録紙がないか、正しくセットされていません。 | 記録紙を補給するか、正しくセットして、［モノクロスタート］ボタンを押してください。 |

☞次ページへ続く

| 液晶ディスプレイ表示 | 原　　因 | 処　　置 |
|---|---|---|
| ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ ｦ ｶｸﾆﾝ<br>A4 ｻｲｽﾞ ﾉ ｷﾛｸｼｦｾｯﾄｼﾃ<br>ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 記録紙に A4 サイズ以外の記録紙がセットされています。 | A4 サイズの記録紙をセットして［モノクロスタート］ボタンを押してください。 |
| ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾁｭｳ<br>ｵﾏﾁｸﾀ?ｻｲ | プリントヘッドのクリーニング中です。 | そのまましばらくお待ちください。 |
| ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ<br>ｹﾞﾝｺｳｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ<br>ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 原稿送りが適正に行われませんでした。 | 原稿を取り除いて、停止ボタンを押してください。 |
| ｼﾂｵﾝｶﾞ ﾀｶｽｷﾞﾏｽ<br>ｼﾂｵﾝｦ ｻｹﾞﾃｸﾀﾞｻｲ | 室温が高くなっています。 | 室温を下げてお使いください。 |
| ｼﾂｵﾝｶﾞ ﾋｸｽｷﾞﾏｽ<br>ｼﾂｵﾝｦ ｱｹﾞﾃｸﾀﾞｻｲ | 室温が低くなっています。 | 室温を上げてお使いください。 |
| ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ | 自動で回線種別が設定できませんでした。 | 手動で回線種別を設定してください。「かんたん設置ガイド」参照 |
| ｿｳﾁ ｶｸﾆﾝ<br>ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦﾇｲﾃ<br>ｺｰﾙｾﾝﾀｰﾏﾃﾞ ｺﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ | 本機に何らかの機械的な異常が発生しました。 | お客様相談窓口 0120-143410 へ連絡してください。 |
| ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ | 電話回線の状態が悪い可能性があります。 | 少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。 |
| | 相手が、ポーリングモードを設定していなかった可能性があります。 | 相手先のポーリング設定を確認してください。<br>P. 115 P. 119 |
| ﾃﾞｰﾀｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ | パソコンから本機に印刷データを送っている途中でケーブルが抜けました。<br>パソコン側がハングアップしました。 | ［停止 / 終了］ボタンを押してください。（印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。）<br>パソコンでプリンタドライバに残っている印刷データをキャンセルしてください。 |
| | パソコン側が印刷をいったん停止したままになっています。 | パソコン側で印刷を再開してください。 |
| ﾃﾞﾝﾜｷ ｺｰﾄﾞ ｦ<br>ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 電話機コードが正しく接続されていません。 | 電話機コードを正しく接続してください。「かんたん設置ガイド」参照。 |
| ﾊﾅｼﾁｭｳ / ｵｳﾄｳﾅｼ | 相手先が話し中か、応答がありませんでした。 | 少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。 |

| 液晶ディスプレイ表示 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾖｳﾁｭｳ | 本機のプリンタが、動作中です。 | プリント操作が終了してから再度操作してください。 |
| ﾏﾓﾅｸｲﾝｸｷﾞﾚ（ｼｱﾝ､ ｲｴﾛｰ､<br>ﾏｾﾞﾝﾀ､ ﾌﾞﾗｯｸ） | 1 個以上のインクカートリッジのインクが、残り少なくなっています。本機はカラーファクスの受信を中止します。本機のハンドシェイク機能が、カラーの場合は白黒で送るよう、要求します。送信側に切替機能があれば、カラーファクスは白黒のファクスとして受信機に記憶されます。 | 新しいインクカートリッジを購入してください。 |
| ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ | メモリーがいっぱいです。 | メモリー内部の記録をプリントするか、メモリーの内容を消去してください。P. 99 P. 122 |
| ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ<br>ﾄﾘｹｼ:ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ<br>ｺﾋﾟｰ:ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦｵｽ | メモリーがいっぱいです。 | コピーする原稿を分けてコピーするか、[停止 / 終了] ボタンを押し、コピーを中止してください。 |
| ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ<br>ｿｳｼﾝ:ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝ<br>ﾄﾘｹｼ:ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ | メモリーがいっぱいです。 | [モノクロスタート] ボタンを押して、読み込んだ分だけ送信するか、[停止 / 終了] ボタンを押してファクスを中止してください。 |
| ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ<br>ﾄﾘｹｼ:ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ | メモリーがいっぱいです。 | [停止 / 終了] ボタンを押し、コピーを中止してください。 |

## Q&A

本機をご使用中に起こる可能性のある問題の解決方法を説明しています。何か問題が起こったら、関連する項目を見つけて、適切な処理を行ってください。

| 項　目 | 問　題 | 処　置 |
|---|---|---|
| 本機のセットアップ | 本機が印刷をしない。 | 本機の電源が入っていますか。 |
| | | インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。 |
| | | プリンタケーブルが正しく接続されていますか。 |
| USB を標準搭載した Power-Macintosh® で MacOS8.6 以上（MacOS9 対応）に接続してご使用の方へ | Brother Ink がセレクタに表示されない。 | 本機に電源が入っているか確認してください。 |
| | | USB インターフェースが正しく接続されているか確認してください。 |
| | | プリンタドライバが正しくインストールされているか確認してください。「かんたん設置ガイド」参照。 |
| | 使用しているアプリケーションから印刷できない。 | 供給されている Macintosh® のプリンタドライバがシステムフォルダに正しくインストールされているか、セレクタで選択されているかを確認してください。 |
| スキャン | スキャン中に TWAIN エラーが表示される。 | ブラザー TWAIN ドライバが選択されていることを確認してください。Presto!® PageManager® で [ ファイル ] - [TWAIN 対応機器の選択 ] の選択をして、ブラザー TWAIN ドライバを選択し、「選択」をクリックしてください。 |
| ソフトウェア | 「MFC 接続エラー」か「MFC はビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。 | 本機の電源が入っていない場合は、電源を入れてください。USB ケーブルをパソコンに直接接続していない場合は、USB ケーブルは他の周辺機器（ZIP ドライブ、外付け CD-ROM、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。 |
| | ＢＲＵＳＢ：ＵＳＢＸＸＸＸＸ：への書き込みエラーが表示される。 | 本機の液晶ディスプレイでインクギレのメッセージが表示されているか確認してください。 |
| | MFC/DCP ドライバをインストール後、本機を接続せずにパソコンを起動すると、起動するごとに「MFC 接続エラー」が表示される。 | このメッセージを無視して［キャンセル］を選択してください。このメッセージを表示させないようにするには、添付の CD-ROM の「¥tool¥warnOff.REG」ファイルをダブルクリックしてください。ただし、この操作を行うと、本機の操作パネルの［スキャン］ボタンは機能しなくなります。もとに戻すには、添付 CD-ROM の「¥tool¥warnOn.REG」ファイルをダブルクリックしてください。 |

| 項　目 | 問　題 | 処　　置 |
| --- | --- | --- |
| プリンタ | 「2ﾍﾟｰｼﾞ」印刷がうまく印刷できない。 | アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタドライバの設定を確認してください。 P. 14 P. 36 P. 38 |
| | アドビ・イラストレーターをご使用時にうまく印刷できない。 | 印刷解像度を低く設定してみてください。 |
| | 印刷された画像に規則的に横縞（バンディング）が現れる。 | プリンタドライバの基本設定タブの [ 印刷品質 ] にある設定ボタンで双方向ダイアログを開き、[ 双方向印刷 ] を解除してみてください。 P. 19 |
| | ATM フォント使用時に、一部の文字が消えたり同じ場所に重なって印刷される。 | Windows® 98/98SE/Me をご使用の場合は、[ スタート ] メニューから [ プリンタ /MFC-3420J] を選択し、プロパティを開きます。詳細タブの中からスプール設定を開き、スプールデータ形式を「RAW」に設定してみてください。 |
| | 「ペイント」を使用して印刷できない。 | 液晶ディスプレイを 256 色に設定してみてください。 |
| | マイクロソフト「エクセル」または「パワーポイント」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまく印刷できない。 | プリンタドライバの [ 拡張機能 ] タブで [ イメージタイプ ] の設定を「写真」にしてみてください。 P. 22 |
| | 印刷速度が極端に遅い。 | プリンタドライバの [ 拡張機能 ] タブで [ 画質強調 ] の設定を「解除」にしてみてください。 P. 25 |
| | [ 画質強調 ] が有効に機能しない。 | 印刷するデータがフルカラーでない可能性があります。フルカラー以外では [ 画質強調 ] は機能しません。この機能をご利用になるには少なくとも 24 ビットカラー以上をご使用ください。 |
| 印刷品質 | 文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。 | コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブル、または電話機コードを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口0120-143410 にご連絡ください。 |

| 項　目 | 問　題 | 処　　置 |
|---|---|---|
| 印刷品質 | 印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。 | インクカートリッジが新しいものかどうか確認してください。<br>カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。<br>外装箱に有効期限が印字されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。 |
| | | 普通紙をお使いの場合は、推奨紙をご利用いただくと解決する場合もあります。<br>P. 36 |
| | | 本機の使用環境温度内でご利用ください。<br>P. 198 |
| | インクがにじむ。 | 普通紙をお使いの場合は、推奨紙をご利用いただくと解決する場合もあります。<br>P. 36 |
| | 印字面に白い筋が入る。 | ヘッドクリーニングを行ってください。<br>P. 178 |
| | 汚れがある、または記録紙の裏側に汚れがある。 | プラテンが汚れていないか確認してください。軽い汚れの場合は使用中にだんだんうすくなってきますが、堅く絞った布でプラテンを清掃します。P. 176 |
| | 垂直方向に黒い筋が入る。 | 送信相手先の読み取り装置に汚れがある場合に起こります。違う相手先に送信を依頼して全く同じ状態が起こらなければ（黒線の現れる場所の違いも確認してください。）最初の送信先に依頼して問題を解決してもらってください。<br>コピーをしたときに黒い筋が入っていた場合は、読み取り部の掃除を行ってください。P. 177 |
| | カラーで受信したはずのファクスがモノクロでしかプリントされない。 | カラー用のカートリッジを交換します。<br>カラーインクカートリッジが空かほとんど空である可能性があります。P. 167 |

# 故障かな？と思ったら

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| 原稿 | 原稿が送り込まれていかない。（ADF（自動原稿送り装置）使用時） | 原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。 | 原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。 |
| | | ADF（自動原稿送り装置）カバーは確実に閉まっていますか。 | ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。 |
| | | 原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。 | 推奨する厚さの原稿を使用してください。P. 72 P. 142 |
| | | 原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。 | 原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。P. 76 P. 146 |
| | | 原稿が小さすぎませんか。 | 小さすぎる原稿は原稿台ガラスにセットしてください。P. 72 P. 142 |
| | | 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。 | カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。P. 171 |
| | 原稿が斜めになってしまう。（ADF（自動原稿送り装置）使用時） | 原稿ガイドを原稿に合わせていますか。 | 確実に原稿ガイドを原稿に合わせてください。P. 74 P. 144 |
| | | 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。 | カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。P. 171 |
| 送信および受信 | スタートボタンを押しても送信または受信しない。 | 電話機コードを正しく接続していますか。 | 電話機コードを正しく接続してください。「かんたん設置ガイド」参照。 |
| | | 原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。 | 原稿をもう一度取り出し、セットし直してください。 |
| | | 外付電話機が通話中ではありませんか。 | 外付電話の受話器を確認してください。 |
| | | 回線種別は正しく設定されていますか。 | 回線種別を確認してください。「かんたん設置ガイド」参照。 |
| | | ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合） | ターミナルアダプタの設定を確認してください。 |
| | 特定の相手にのみファクスを送受信できない。 | 安心通信モードを確認してください。 | 安心通信モードを「ﾂｳｼﾞｮｳ」に設定してください。「ﾂｳｼﾞｮｳ」でも送受信できない場合は、「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。P. 70 |

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| 送信および受信 | IP 網を使ってファクスを送受信できない。 | 安心通信モードを確認してください。 | 安心通信モードを「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」に設定してください。「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」でも送受信できない場合は、「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。 P. 70 送信の場合で、それでもうまく送信できない場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを 4 つ）を付けてダイヤルしてください。 |
| | 送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。 | きれいにコピーがとれますか。 | コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 P. 177 |
| | | 相手先に異常がありませんか。 | 別のファクスから相手先に送信してください。 |
| | | 画質モードは適切ですか。 | 画質を変更して送信してください。P. 89 |
| | | キャッチホンが途中で入っていませんか。 | 「キャッチホン II」のサービスに変更し、「キャッチホン II」の呼出回数を 0 回に設定してください。「キャッチホン II」の詳しい内容は NTT の 116 番におたずねください。 |
| | | ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。 | ブランチ接続（並列接続）しないでください。 |
| | 送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。 | 本機の読み取り部分が汚れているか、または受信側のプリンタのヘッドが汚れている可能性があります。 | 読み取り部の清掃を行って送信してください。P. 177 それでも現象が変わらなければ、相手のファクスの状態を調べてもらってください。 |
| 受信 | リモート受信できない。 | リモート受信の設定は「On」になっていますか。 | リモート受信設定を「On」にしてください。P. 108 |
| | | リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。 | リモート起動番号を正しく設定してください。P. 108 |
| | | メモリーがいっぱいになっていませんか。 | メモリー内部の記録をプリントするか、メモリーの内容を消去してください。 P. 99 P. 122 |

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| 受信 | 受信しても、記録紙が出てこない。 | 記録紙は正しくセットされていますか。 | 記録紙を正しくセットしてください。「かんたん設置ガイド」参照。 |
| | | 記録紙がつまっていませんか。 | 本機内部を確認してください。 P. 174 |
| | | 記録紙がなくなっていませんか。 | 記録紙トレイを確認してください。「かんたん設置ガイド」参照。 |
| | | 本体カバーは確実に閉まっていますか。 | リリースレバーを押し、もう一度閉め直してください。 |
| | | インクの残量は十分ですか。 | 液晶ディスプレイを確認してください。 |
| | 2 枚に分かれて印刷される。 | 送信側の原稿が A4 より長いことが考えられます。 | 自動縮小の設定を「0n」にしてください。P. 109 |
| | カラーファクスが受信できない。 | 安心通信モードが「ｱﾝｼﾝ」に設定されていませんか。 | 安心通信モードを「ﾂｳｼﾞｮｳ」に設定してください。P. 70 |
| ナンバー・ディスプレイ | 電話番号が表示されない。 | ブランチ接続（並列接続）していませんか。 | ブランチ接続（並列接続）はおやめください。 |
| | | 本機の設定が正しくされていますか。 | 本機の設定内容を確認してください。P. 68 |
| 印刷 | 印刷ページの端や中央がかすむ。 | 本機が平らで、水平な場所に置かれているか確認してください。問題が改善されない場合は、操作パネル上のインクカートリッジボタンを押してヘッドクリーニングを数回します。もう一度印刷し直しても、印刷の質が良くならない場合は、インクカートリッジを交換してください。P. 167 | インクカートリッジを交換してもまだプリントの質に問題がある場合、お客様相談窓口 ☎0120-143410 にご連絡ください。 |
| | 印刷の質が悪い。 | プリントヘッドのクリーニングを数回します。P. 178 | それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。 |

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| ＊ISDN回線 | 電話を受けても本機の着信音が鳴らない（電話をかけた側は、呼び出し続けている）。 | 電話回線が接続されているか確認してください。 | 確実に本機に接続してください。「かんたん設置ガイド」参照。 |
| | | 電源が入っているか確認してください。 | 電源コードを接続してください。 |
| | | ターミナルアダプタ の設定を確認してください。 | 何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。<br>電話番号が 1 つの場合は、Port A に本機を接続し、Port B に電話を接続した場合、Port A/B 両方の端末で着信音が鳴ります。<br>電話でファクスを受けてしまった場合は、Port A から B へ内線転送してください。 |
| | | 契約回線番号およびダイヤルイン番号、i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。 | それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカまたは最寄りの NTT におたずねください。 |
| | 1 ～ 2 回おきにしか本機が接続されているアナログポートに、着信しない。 | 「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。 | 「着信優先」または「応答平均化」を解除します。 |

*　ターミナルアダプタとダイヤルアップルーターの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| ＊ISDN回線 | 電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。 | 本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。 | 本機を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。 |
| | | | 契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合<br>• サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。<br>• HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。<br>• 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。 |
| | | | ダイヤルイン番号またはｉ・ナンバー情報のアナログポートに本機を接続している場合<br>• ダイヤルイン番号またはｉ・ナンバー情報を登録してください。<br>• サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。<br>• HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。<br>• 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。 |
| | 電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。 | 相手側ターミナルアダプタの設定を確認してください。 | 相手も ISDN 回線の場合、相手側ターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。<br>この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本機を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいことになります。 |
| | | ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認してください。 | 異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。 |
| | 契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。 | ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートのグローバル着信を確認してください。 | ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。 |

* ターミナルアダプタとダイヤルアップルーターの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| *ISDN回線 | 特定の相手とファクス通信できない。 | 別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。 | それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口0120-143410へご連絡ください。 |
| | NTTのナンバー・ディスプレイの契約をしているのに番号が表示されない。 | 本機を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。 | ターミナルアダプタのアナログポートから番号情報が送出されるように設定してください。 |
| | ファクス送受信ができない（電話はかけることも、受けることもできる）。 | ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。異常があった場合はNTT故障係（113）へご連絡ください。 | 回線に異常がなければ、お客様相談窓口0120-143410へご連絡ください。 |
| その他 | 電源が入らない。 | 電源コードは確実に差し込まれていますか。 | 電源コードを確実に差し込んでください。 |

* ターミナルアダプタとダイヤルアップルーターの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| ADSL環境 | ADSLにする前と比較して自分の声が響く、または相手の声が聞きずらい。 | ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。 | ADSL回線のスプリッタを交換すると改善する場合があります。<br>ブラザー推奨品：NTT東日本/西日本製 |
| | 通話中に雑音が入るまたは音量が小さくなった。 | 他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。 | ブランチ接続（並列接続）をしないでください。<br>ラインセパレータを使用すると改善する場合があります。ラインセパレータはパソコンショップでお買い求めください。 |
| | ファクス通信でエラー発生が多くなった。 | | |
| | 特定の相手との通信ができない。 | IPフォンを使用した通信ではありませんか。<br>IP網を使用した専用線の通信ではありませんか。 | ご利用のプロバイダへファクス通信が保証されていることを確認してください。 |
| PBX | 着信音は鳴るがファクス受信できない。 | 着信音の鳴動パターンが単独回線の場合と異なっていませんか。 | 本機をPBXの内線電話として使用している場合は、「特別回線対応」で「PBX」を選択してください。P. 66 |

# 付録

# 本機の仕様

## ファクシミリ

| | |
|---|---|
| 互換性 | ITU-T グループ 6(G3) |
| 圧縮方式 | MH/MR/MMR/JPEG |
| 通信速度 | 14400/12000/9600/7200/4800/2400bps<br>（自動フォールバック付き） |
| 直流抵抗値 | 209Ω |
| 原稿サイズ幅 | 最大：216mm　ADF（自動原稿送り装置）、原稿台ガラス<br>最小：148mm　ADF（自動原稿送り装置） |
| 原稿サイズ長さ | 最大：356mm　ADF（自動原稿送り装置）、<br>297mm　原稿台ガラス<br>最小：148mm　ADF（自動原稿送り装置） |
| 有効読み取り幅 | 208mm |
| 原稿セット枚数 | 20 枚（$80g/m^2$） |
| 記録紙トレイ枚数 | 100 枚（$80g/m^2$） |
| 記録紙サイズ | A4（幅 210mm ×長さ 297mm） |
| 電送時間 | 約 6 秒 *1 |
| グレースケール | 256 階調 |
| 液晶ディスプレイ表示 | 16 桁× 1 行 |
| 読み取り方式 | CIS 方式 |
| 代行受信枚数 | 最大 170 枚（8MB）*2 |
| 走査線密度 | 主走査：8 ドット /mm<br>副走査（モノクロ）<br>：3.85 本 /mm（標準）<br>7.7 本 /mm（ファイン / 写真）<br>15.4 本 /mm（S. ファイン）<br>副走査（カラー）<br>：7.7 本 /mm（標準）<br>7.7 本 /mm( ファイン)<br>* 写真と S. ファインはなし |
| ポーリングタイプ | 標準 / 機密 / 時間指定 |
| 適用回線 | 一般電話回線 |
| メモリー記憶枚数 *3 | 約 200 枚 |

*1: A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。
*2: A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.38 本 /mm）で蓄積した場合（MMR 圧縮時）。
*3: メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

## プリンタ・スキャナ

| | |
|---|---|
| 対応パソコン | IBM PC/AT 互換機<br>Apple 社製 Macintosh® の USB ポート搭載機 |
| 対応 OS | Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP<br>Mac OS® 8.6 ～ 9.2、Mac OS® X 10.1 ～ 10.2.1 以降（プリンタ）<br>Mac OS® 8.6 ～ 9.2、Mac OS® X 10.2.1 以降（スキャナ） |
| インターフェース | USB1.1/2.0 |
| 印刷方式 | インクジェット |
| 印刷解像度 | 4800 × 1200 dpi 相当 *1　600 × 300 dpi<br>1200 × 1200 dpi　600 × 150 dpi<br>600 × 600 dpi |
| 印刷速度 | モノクロ 14 枚 / 分　カラー 12 枚 / 分 *2<br>（高速モード、普通紙、当社基準 A4 原稿） |
| スキャン中間調 | 256 階調 |
| スキャン速度 | 読み取り速度<br>カラー　：3.9 msec/line<br>モノクロ：2.1 msec/line<br>（300 × 300dpi 時　転送速度を含まず） |
| スキャナ解像度 | 光学解像度<br>600（主走査）× 2400（副走査）dpi<br>ソフトウェア補間解像度<br>9600（主走査）× 9600（副走査）dpi |

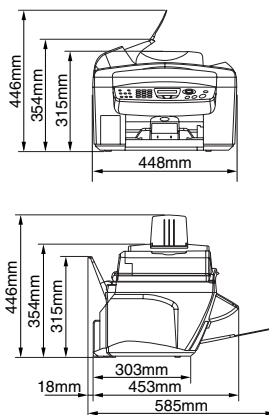
*1: ブラザー独自の液滴階調システムにより、4800×1200dpiクラスの画像を実現します。
*2: 実際の印刷速度は、原稿の内容によって異なります。
給紙時間を除きます。

## コピー

| | |
|---|---|
| コピー速度 | モノクロ 12 枚 / 分　カラー 10 枚 / 分 *3<br>（高速モード、普通紙、当社基準 A4 原稿） |
| 拡大縮小 | 25 ～ 400％ |
| 印刷解像度 | 1200（主走査）× 1200（副走査）dpi |

*3: 実際の印刷速度は、原稿の内容によって異なります。
給紙時間を除きます。

# 電源と使用環境

| | |
|---|---|
| 使用環境 | 温度：10 ～ 35 ℃<br>湿度：20 ～ 80％（結露なきこと） |
| 電源 | AC100Ｖ ± 10V　　50/60Hz |
| 消費電力 | 待機時：8Wh 以下<br>動作時：24Wh 以下<br>OFF モード時：4.5Wh 以下 *1 |
| 稼働音 | 待機時：35dB 以下　　　動作時：48dB 以下 |
| メモリ容量 | 8MB |
| 外形寸法 | |
| 質量 | 約 10.0kg（カートリッジ、トレイを除く） |

*1: 電源ボタンが OFF でも電源プラグがコンセントに接続されているときは、4.5W 以下の電力が消費されます。消費電力を 0W にするためには、電源ボタンで本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

# 文字の入れかた

短縮ダイヤル・グループダイヤル・電話帳の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

## 文字配列

ダイヤルボタンの数字ボタンには、下記の表のように、押す回数に応じてカタカナ、アルファベット、数字が割り当てられています。また、記号ボタンには各種の記号などが割り当てられています。

| ダイヤルボタン ＼ 押す回数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア 1 | ア | イ | ウ | エ | オ | ァ | ィ | ゥ | ェ | ォ | 1 | | | | | | |
| カ ABC 2 | カ | キ | ク | ケ | コ | A | B | C | 2 | | | | | | | | |
| サ DEF 3 | サ | シ | ス | セ | ソ | D | E | F | 3 | | | | | | | | |
| タ GHI 4 | タ | チ | ツ | テ | ト | ッ | G | H | I | 4 | | | | | | | |
| ナ JKL 5 | ナ | ニ | ヌ | ネ | ノ | J | K | L | 5 | | | | | | | | |
| ハ MNO 6 | ハ | ヒ | フ | ヘ | ホ | M | N | O | 6 | | | | | | | | |
| マ PQRS 7 | マ | ミ | ム | メ | モ | P | Q | R | S | 7 | | | | | | | |
| ヤ TUV 8 | ヤ | ユ | ヨ | ャ | ュ | ョ | T | U | V | 8 | | | | | | | |
| ラ WXYZ 9 | ラ | リ | ル | レ | ロ | W | X | Y | Z | 9 | | | | | | | |
| ワ 0 | ワ | ヲ | ン | ゛ | ゜ | ー | 0 | | | | | | | | | | |
| 記号1 * トーン | スペース | ! | ” | # | $ | % | & | ’ | ( | ) | * | + | , | ー | . | ／ | € |
| 記号2 # | : | ; | < | = | > | ? | @ | [ | ] | ^ | _ | | | | | | |

## 基本的な文字入力のしかた

文字を入力するときは、次のような手順で入力します。例えば、発信元データの「ナマエ」の項目に「スズキ　ケイコ」という名前を入力するときは、「文字配列」を見ながら以下の手順で入力します。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | サ DEF 3 を 3 回押します。 | ﾅﾏｴ:ｽ |
| 2 | ▷を押してカーソルを右へ移動します。 | ﾅﾏｴ:ｽ_ |
| 3 | サ DEF 3 を 3 回、ワ 0 を 4 回押します。 | ﾅﾏｴ:ｽｽﾞ_ |
| 4 | カ ABC 2 を 2 回押します。 | ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ |
| 5 | ▷を 2 回押します。 | ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ _ |
| 6 | カ ABC 2 を 4 回、ア 1 を 2 回、カ ABC 2 を 5 回押します。 | ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ |

補足

- 間違えて入力した場合は、◁ ▷を押して、修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、文字を挿入できませんので挿入する箇所までカーソルを移動し、正しい文字を上書きしてください。
- 同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは、▷を押してカーソルを移動させて、文字を入力します。移動させないと文字が上書きされてしまいます。
- 文字と文字の間に空白を入れるときは、▷を 2 回押します。

# 用語集

## あ

● アイコン
画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。

● アプリケーションソフトウェア
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● インクジェット
専用のインクを印刷ヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印字する方式です。

● インターフェース
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● ウィザード
Windows® 98/Me などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● オプション機能
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

## か

● 回線種別
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● 画質強調
解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかにプリントする機能です。

● 機密ポーリング
受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。

● キャリアシート
新聞・雑誌の小さい切り抜きや、メモ書き、破れた原稿、反っている原稿などの状態の悪い原稿をはさんで、ADF（自動原稿送り装置）で使用しますが、機種によって使用できない場合もあります。

● 原稿台ガラス
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

● 公衆回線
一般の電話回線です。

## さ

● 順次同報送信
同じ原稿を複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。

● 親切受信
ファクスを着信したときに間違えて外付電話を取ってしまったときでも自動的に本機がファクス受信を行う機能です。

● スキャン E メール
専用キーを押すだけで読み取って原稿を自動的に E メールに添付する機能です。

● スタックコピー
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1 枚目を希望枚数分、2 枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。

● スプリッタ
ADSL という通信サービスを利用するときに必要な機器のひとつ。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりする機能を備えています。

● ソートコピー
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿 1 部すべてコピーした後、再度 1 ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

## た

● タスクバー
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● 液晶ディスプレイ
本機の液晶表示パネルです。

● デバイス
ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● デュアルアクセス
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● 電話呼び出し機能
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

● 取りまとめ送信
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

## な

● ナンバー・ディスプレイ
「ナンバー・ディスプレイ」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。
ご利用になるには別途NTTへのお申し込みが必要です。
ご利用には、ナンバー・ディスプレイ対応の通信機器が必要です。

## は

● ハーフトーンパターン
色を表現するインクの様相で、本機ではよりなめらかに見せるフォトと、よりシャープに見せるクラスタから選択できます。

● ファクス転送
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

● プリンタドライバ
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

● ポーリング通信
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● ポスター
1 枚の原稿を 9 分割して拡大し、それぞれを 9 枚の記録紙にコピーします。

## ま

● メモリー送信
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー代行受信
記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

## ら

● リアルタイム送信
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リモート受信
本機に接続された外付電話機から本機を操作し、ファクス受信させる機能です。

● リモートセットアップ
本機に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス
外出先から本機をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）
パソコンやシステムでアクセスするときに行う操作です。

## 数字

● 2 in 1

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 3 極 -2 極変換アダプタ

電源コードでアース線つき（3 極コード）のものを 2 極のコンセントに差し込むときに使うアダプタです。

● 4 in 1

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

## A to Z

● ADF

自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本機に送ります。

● ADSL

通常の電話回線（アナログ回線）で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。

Microsoft Excelなどの表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM 通信

Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

● IP フォン

インターネットを利用した印刷方式で、多くのプロバイダで行っている格安な電話サービスの総称です。

一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。

● ISDN

NTT が行っている電話線のサービスです。デジタルの回線で 1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● MFC/DCP ドライバ

本機に付属されているソフトウェア。プリンタドライバやスキャナ機能などを持っています。

● OCR 機能

画像ファイルをテキストファイルに変換する機能です。

● OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PC/AT 互換機

IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● PC-FAX

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● Presto!® PageManager®

書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。

● TWAIN
イメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● USB ケーブル
Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Vcards(vcf 形式 )
電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA
Windows Imaging Acquisition の略でイメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● Windows® 98/98SE/Me/2000/XP
Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 98 年、00 年（＝ Millennium edition)、98SE は 99 年、XP は 01 年に発売されました。

# 索　引

〈キリトリ線〉

# リモコン　アクセス

暗証番号

＊

あなたの暗証番号を
記入してください。

**リモコンアクセスの使用方法**

1.プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2.ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。

3.「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4.次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5.90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意 ：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 〈キリトリ線〉 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

**リモコンアクセスコマンド**

| 操作内容 | | ボタン操作 |
|---|---|---|
| 電話呼び出し、ファクス転送の設定変更 | OFF | 951 |
| | ファクス転送 | 952（※1） |
| ファクス転送番号の登録・変更 | | 954 |
| メモリー受信の設定 | ON | 956 |
| | OFF | 957 |
| ファクスの取り出し | ファクスの取り出し | 962+ダイヤル入力+## |
| 受信状況のチェック（※2） | ファクス | 971 |



| 操作内容 | | ボタン操作 |
|---|---|---|
| 受信モードの変更 | 外付留守電 | 981 |
| | 自動切替 | 982 |
| | ファクス | 983 |
| 終了 | | 90 |

※1： 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。

# ご注文シート

・消耗品はお近くの家電量販店でも取扱いがございますが、弊社にてインターネット、電話、FAXによるご注文も承っております。
・FAXにてご注文される場合は下記オーダーシートにご記入の上、お申し込み下さい。
・配送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上の場合は全国無料です。
5,000円未満の場合は500円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
・配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

**〈代引き〉‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ご注文後2～3営業日後の商品発送**
※ 配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。

**〈お振込（銀行・郵便）〉‥‥‥‥ご入金確認後2～3営業日後の商品発送**
※ 代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙等からお振り込み下さい）
※ 振込手数料はお客様負担となります。

**〈クレジットカード〉‥‥‥‥‥‥カード番号確認後2～3営業日後の商品発送**
※ カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせて頂きます。

**【ご注文先】**

ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ
インターネット：http://www.brother.co.jp/direct/
FAX：052–825–0311
電話番号：0120–118–825(土・日・祝日、長期休暇を除く9時～17時)
振込先：口座名義：ブラザー販売株式会社
銀行：三井住友銀行　上前津(カミマエヅ)支店　普通　6428357
郵便：振り込み番号　00860-1-27600

〈キリトリ線〉

お客様ご住所〒

お名前　　TEL　　FAX

お支払い方法　銀行前振込・郵便前振込・代引き・カード
カード種類　①VISA ②JCB ③UC ④DINERS ⑤CF ⑥Master ⑦JACCS

カードNo.

カード名義人名　　有効期限　年　月

| 品　名 | 単価（税込） | ご注文数 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| インクカートリッジ 黒 (LC08BK) | ¥2,100 | | |
| インクカートリッジ シアン (LC08C) | ¥1,260 | | |
| インクカートリッジ マゼンタ (LC08M) | ¥1,260 | | |
| インクカートリッジ イエロー (LC08Y) | ¥1,260 | | |
| | 送　料 | | |
| | 合　計 | | |

※配送量および消費税は変更の可能性があります。
（消費税：２００４年２月現在）

# アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。
その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

お客様相談窓口（コールセンター）0120-143410
受付時間　9：00～18：00（土曜日のみ17：00まで）
営業日　　月曜日～土曜日
（日・祝日および当社休日はお休みとさせていただきます）

## 【添付ソフトウェアPresto!®PageManager®）お問い合わせ窓口】

ニューソフトジャパン株式会社
ニューソフトカスタマーサポートセンター
TEL：03-5472-7008
FAX：03-5472-7009
受付時間　午前10：00～12：00
　　　　　午後1：00～5：00
（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート　電子メール：support@newsoft.co.jp
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

## 【消耗部品のご注文】

ブラザー販売（株）情報機器事業部　ダイレクトクラブ
〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町15-1
TEL：（052）824-3410
FAX：（052）825-0311
インターネット：http://www.brother.co.jp/direct/

- 消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
- 万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。
- なお、ご注文の際は、取扱説明書の「ご注文シート」にてFAXなどの方法でご注文願います。
（本機のリストプリント機能のご注文シートをご利用いただき、FAXなどの方法でご注文いただくこともできます。）
- 本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造締め切り後５年です。

brother

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。
現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が
本製品に適切でないおそれがあります。
海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only.
We can not recommend using them overseas
because it may violate the Telecommunications Regulations of
that country and the power requirements of your fax machine
may not be compatible with the power available in foreign countries.
Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

**お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。**

Version②